

第五十一回帝國議會
衆議院

關稅定率法中改正法律案(政府提出)委員會會議錄(速記)第十一回

會議

大正十五年二月十六日(火曜日)午前十時二十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 加藤政之助君

理事 永田善三郎君

理事 吉津 度君

理事 岩切 重雄君

橋本 喜造君

神部 爲藏君

工藤 鐵男君

堤 康次郎君

松本 眞平君

山本 泰太郎君

長田 桃藏君

山内 範造君

沼田 嘉一郎君

佐々木 平次郎君

倉元 要一君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 武内 作平君

大藏省主稅局長 黒田 英雄君

大藏技師 矢部 規矩治君

商工省工務局長 宮内 國太郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

内務技師 松尾 仁君

農林技師 窪田 圓平君

商工技師 平野 久保君

商工技師 笹尾 正一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

○加藤委員長 關稅定率法中改正法律

案ノ委員會ヲ開キマス、前日ニ引續イ

テ第六類ノ質問ヲ開始致シマス——太

田信治郎君

○太田委員 百六十五ノ曹達灰ノコト

ニ付テ、關東州ノ移入關稅ノ改正案ガ

前年アリマシテ、關東州ノ曹達灰ハ無

稅デ移入サレテ居ルノデアリマス、所

デ其關東州ノ曹達灰ト内地ノ曹達灰ト

ノ價ノ關係ニ付テ、關東州ニ於テ生産

ヲスル所ノ曹達灰ガ内地ヘ移入セラレ

ル、ソレハ無稅デ移入セラレルノデア

リマスガ、此關東州ノ曹達灰ガ安イ課

稅ノ下ニ移入セラレルノデアリマスレ

バ、値ノ上ニ於テ内地ノ曹達灰ノ産業

保護ト云フコトガ無クナル譯デアリマ

ス、又關稅ニ依テ内地ノ産業保護ヲ致

シマスレバ、是ガ爲ニ間接的ニ關東州

ノ曹達灰ノ値マデモ引上ゲラレテ保護

セラレルコトニナルデアリマセウガ、

値ノ點ニ付テ關東州ノ曹達灰ガ廉價ニ

内地ニ移入セラレルトスレバ、折角關

稅ニ於テ曹達灰ノ生産ノ發達ヲ保護シ

テ見タ所デ無意味ニナリハシナイカ、

ソレカラ量ノ點カラ云ツテ、若シ關東州

ニ於ケル所ノ曹達灰ノ生産ガ多量ニ

アツテ、ソレガ無稅デ移入セラレル爲ニ、

内地ノ生産ノ不足ヲ補填スルコトガ出

來ルトスレバ、關東州ハ我ガ勢力範圍

ノ土地デアルガ、其土地ノ曹達灰ノ事

業ガ發展ヲスルト云フコトニナリマス

カラ、左様ナ結果ト致シマシテ、量ハ内

地ニ於テ生産ガ不足デアツテモ、關東州

ノ曹達灰ヲ以テ之ヲ補填スルコトガ出

來ルノデアリマス、又關東州ノ曹達灰

ノ生産量ガ僅少デアツテ、サウシテ内地

ノ生産ニ對シ、格別ノ影響ガ及バナイ

モノトスレバ、内地ノ曹達灰ノ將來一

層發達助長スルコトヲ心懸ケナケレバ

ナラヌコトト思ヒマス、關東州ニ於ケ

ル曹達灰ト内地ノ曹達灰トノ關係ガド

ウ云フ風ニナルデアリマセウカ、一應

此點ヲ伺ヒタイ

○平野商工技師 此曹達灰ノ自給ニ付

キマシテハ、數年以前カラ政府當局ト

致シマシテモ調査致シテ居リマス、但

シ此事業ヲ内地ニ興シテ宜シイカ、或

ハ鹽ノ原產地デアリマス所ノ關東州デ

興ス方ガ宜シイカト云フコトニ付キマ

シテハ、色々説モゴザイマシテ、未ダ判

然ト何レガ優ツテ居ルト云フコトニ付

テハ確タル定見ガナイノデアリマス、

隨テ只今内地デヤツテ居リマス曹達灰

ノ事業ト云フモノヲ一層守リ立テテ

行ツテ、サウシテ將來日本ノ自給計畫ニ

資スルガ宜シイカト云フコトニ付テ

ハ、マダ疑問ニ屬スル問題デアリマス、

隨テ昨年關東州ノ特惠關稅ヲ制定致シ

マス際ニ、將來ノ事ヲ考ヘマシテ、關東

州ト内地トヲ一體ト見マシテ、最モ便

宜ノ地點ニ曹達灰工業ノ起ルコトヲ希

望致シマシタ所カラ、之ヲ無稅ト致シ

タノデアリマス、只今ノ所關東州ニ於

テマダ曹達灰工業ト云フモノハ興ツテ

居リマセヌ、其曹達灰工業ヲ興シマス

時期ニ付キマシテハ、只今カラ數箇年

ノ實驗ヲ經マシテ相當ノ技術ガ進ミマ

シテカラ、専門家トソレカラ關東州邊

リノ官憲トガ色々研究致シマシテ、サ

ウシテ其結果ト致シマシテ、或ハ近ク

關東州等ニ於テ曹達灰工業ノ計畫ガ立

ツカモ分リマセヌガ、只今ノ所ハマダ

未定ニナツテ居リマス、商工省トシテ

ハ、ソレナラバ内地曹達灰工業ヲ保護

シ大キクシテ行クカト云フコトニ付キ

マシテモ、マダ決定致シテ居リマセヌ、

何レ其關東州ニ於ケル計畫ノ經過ヲ見

マシテ、最モ適シタ、最モ安ク出來ル地

點ヲ擇ンデ、是カラ先キノ自給計畫ヲ

立テタイト思ツテ目下折角研究中デア

リマス、ソレニ付キマシテ内地ト關東

州トガ競争ニナルト云フヤウナ問題ハ

生ジナイ積リデアリマス、若モ關東州

ニ興ス方ガ利益デアルト云フコトニナ

リマスレバ、只今内地ニ在ル曹達灰工業ト云フモノヲ一ツノ試験工業トシテ置き、或ル時期ニソレヲ大規模ニシテ關東州ニ移スト云フコトニ或ハナルカモ知レマセヌ、ソレデ税額ハ只今百斤三十五錢デアリマスガ、是ハ外國品ニ對抗スル上ニ於テデ、關東州デ事業ヲヤルコトニ致シマシテモ、尙ホ必要ナモノト認メマシタノデ、今回之ヲ据置ニシタ次第デゴザイマス

○太田委員 要スルニ曹達灰ハ關東州ニ於テ之ヲ生産スルコトガ有利デアルヤ否ヤ、又内地ニ於テ此産業ノ發達ヲ助長セシムベキ方法ヲ執ルガ有利デアるかト云フコトニ付テ考慮中デアル、此點ハ私モ御同感デアリマス、何レニ優劣ガアルカ直ニ確然ト判明スルコトハ出來ナイト思ヒマス、併ナガラ曹達灰ト云フモノハ、内地ニ於テ需要スル所ノ最も多イモノハ硝子工業ノ原料ニナツテ居ル、其硝子工業ノ原料トシテ、殆ド曹達灰ノ需要ノ七八割ト云フモノハ硝子ノ原料ニナルデアリマス、而シテ此硝子ノ方ヲ見マスルト云フト、硝子工業ノ發達ハ年々著シイ發達ヲ致シテ參リマシテ、最近ニ於キマシテモ千五百萬圓ノ輸出ヲ繼續シテ居ル、十三年モ千五百萬圓以上、十四年モ千五百萬圓以上輸出シテ居ル、尙ホ是ハ益輸出ノ見込ガアリ、相當需要先ガアルノデアアル、又之ニ對シテ供給ノ力モアル、唯是ニ於テ價格ヲ低廉ニシテ益

此輸出ヲ盛ニシナケレバナラヌト云フ其點カラ行キマス、是ガ原料ニナル所ノ最も必要ナル曹達灰ト云フモノガ、安ク手ニ入ルカ入ラナイカト云フコトハ、此硝子工業ニ大ナル關係ヲ持ッノデアアル、ソレ故ニ私ハ昨年ノ關東州ノ生産物ヲ内地ニ移入スル、其移入關稅ヲ免除スルト云ツタトキニ、關東州ニ於テ硝子ノ産業ヲ興ス、サウスルト曹達灰ヲ安ク生産出來テ、硝子モ安ク生産ガ出來、ソレヲ内地ニ移入スルト云フコトデアッタガ、ソレハ内地ノ硝子工業ヲ壓迫シハシナイカト云フコトヲ申シタノデアアル、ソレヨリ關東州ニ於テ製造シタモノハ寧ろ海外ニ販路ヲ求メタ方ガ宜カラウト云フコトヲ申シタノデアリマスガ、是ガ内地ニ於テ生産スル硝子ノ産額ハ二千萬圓以上ニナツテ居リマシテ、而シテ此工業ニ從事シテ居ル職工、勞役者ハ先ヅ概算一萬人以上ノ者ガ掛ツテ居ノデアリマス、ソレデ而モ千五百萬圓ガ海外ニ輸出セラレテ居ル、内地ノ生産額ハ私今詳シイ統計ヲ持ッテ居リマセヌガ、海外ニ輸出スルモノガ千五百萬圓以上ト云フコトガ數字ノ上ニ現レテ居ルトスレバ、内地ノ産額ヲ全部加ヘマシタナラバ、二千萬圓以上デアルト思フ、サウ致シマス、此二千萬圓以上ノ此産額ト云フモノハ、實ニ重要ナル工業デアアル、其重要ナル工業ノ原料タル曹達灰ガ低廉ニ手ニ入ルカ入ラナイカト云フコトハ、直ニ

此重要ナル産業ニ重大ナル影響ガアルノデアアル、一面カラ云ヘバ此曹達灰ノ需要供給ヲ全カラシムルト共ニ、自給自足ヲ圖ルト云フコトガ、重要産業ニ要スル品物デアアルカラ必要デアルト云フコトノ見解ハ御尤デアリマス、御尤デアリマスケレドモ、ソシナラ其曹達灰ガ自給自足ガ出來ル見込ガアツテ、而シテ之ヲ自給自足スルニハ、三十五錢ノ關稅ヲ課シテ置キサヘスレバ、此曹達灰事業ガ發達シテ、サウシテ數年ナラズシテ自給自足ヲシテ安イ物ヲ提供スルコトガ出來ルカト云ヘバ、是ガ確實ナル見込ノ下ニ此關稅ヲ課スルト云フコトデアレバ宜シイト私ハ思フ、ケレドモ前段御話ニナリマシタ通り、ドウモ其點ニ付テハ私ハ確實ナル御見込モ御立チニナラヌト思フ、吾モ亦立タヌノデアアル、ソコデサウ致シマス、内地ノ曹達灰ヲ製造シテ居ル所ノ者ノ意見ヲ聽イテ見ルト、是ハ現在ノ三十五錢ノ關稅デハ引合ハナイ、引合ハナイ所以ハ何デアアルカト云フト、曹達灰ノ原料ノ殆ド四割ト云フモノハ鹽デアアル、其鹽ガ高イト云フコトガ一番曹達灰ヲ造ルニ於テノ缺點デアアル、尤モ曹達灰ヲ造ルニハ石灰モ要ル石灰モ要リマセウ、又「アンモニア」モ要ルガ、大體ニ於テ最も主トシテ必要ナルモノハ鹽デアアル、石灰ナドモ相當要スルケレドモ、「アンモニア」ナドハ極ク少量ナモノデアアル、而シテ此多量ヲ要スル鹽ニ

付テハ、日本ニ於テハ專賣法ト云フモノガアル爲ニ、日本ノ鹽價ハ總テ高イノデアアル、海外カラ安イ鹽ガ自由ニ曹達灰業者ノニ入ルト云フコトニナリマシタナラバ、寧ろ其方面デ補助セラレルト云フコトガ、私ハ曹達灰ノ自給自給ヲ圖リ、之ヲ發達サセル上ニ於テ宜クハナイカ、元來原料ガナケレバ製品ガ出來ナイノデアアルカラ、我國ハ此原料ニ乏シイノデアアルカラシテ、ドウシテモ是ハ海外カラ安イ原料ヲ買入レテ、サウシテ之ニ加工シテ、製品ニシテソレヲ自由ニ海外ニ輸出スルト云フコトニ依テ、我國ノ工業ガ發達スル、是ハドウモ是ヨリ外方法ハナイト思フ、ソレニハ此原料タル曹達灰ハ先ヅ之ヲ海外カラ無稅ニシテ安ク買入レテ、而シテ内地ノ曹達灰工業ヲ發達サセマスル上ニ付テハ、寧ろ之ヲ要スル所ノ鹽ニ付テ考ヘ、特ニ鹽價ヲ引下ゲテ之ヲ保護スルトカ、或ハ左様ナコトガ若シ出來ナクテモ、内地ノ方ノ關稅ニ依テ或一定ノ期間ダケ之ヲ保護スルト云フコトニスレバ、自給自給ガ出來得ルト云フモノナラ、假令一年ナリ二年ナリ三年ナリ、硝子工業ノ發達、輸出貿易ニ付テモ、又内地生産ノ曹達工業ニ付テモ、多少忍ンデモ之ヲ自給自給シタ方ガ宜シイ、斯様ナ方針ノ下ニ行クナラバ、私ハ大ニ宜シイト思フガ、一方ニ於テ生産工業タル所ノ硝子工業ノ方ニモ、又曹達灰ノ方ニモ、ドツチノ爲ニモナラ

ナイ、三十五錢ノ關稅ヲ掛ケタ所ガ、果シテ是ガ曹達灰ガ自足自給ガ出來ルマデニ生産ガ多クナッテ行クカト云ヘバ、是ハ分ラナイ、サウスルト云フト此三十五錢ト云フモノガ全ク無意味ノモノニナリハシナイカ、ソレヨリ三十五錢ノ移入關稅ヲ廢シテ、他ノ方法ニ依テ曹達灰ノ自足自給ヲ圖ルベキ方法ヲ御講ジニナル御考ハナイモノデアリマセウカ、若シソレガ出來ナイトスレバ、曹達灰ヲ或ル方法デ保護シテヤレバ、自足自給ノ出來ルト云フ方法ノ御研究ノ進マナイ間ハ、寧ろ海外カラ輸入スル方ガ宜シイデハナイカト思フ、ソレヲ兎ニ角海外カラ輸入スルコトナク、内地ノ生産ガ引合ハナイト云フノヲ保護シテ行カウ、併シ其保護ニ依テ此事業ガ將來發達シテ行クモノデアルカドウカト云フ見込ガ十分立タナイ、立タナイニモ拘ラズ先ヅ是ダケシテ置イタナラバ助カルデアラウ、斯様ナ事デアルト云フト、ソレハ中和性ヲ帶ビテ居ルモノデ、洵ニ毒ニモナラナケレバ藥ニモナラナイト云フ形ニナリハシナイデアリマセウカ、又此三十五錢ガ適當デアルト云フコトモ考ヘモノデアアル、吾等ハ之ニ依テ先刻申シマシタ通り、何等自足自給ノ見込ハ立タナイノデアアル、ソレ故ニ見込立ツマデノ間ハ是ハ無稅デ置イタラドウデアラウカ、兎ニ角之ヲ材料トスル硝子工業ニ一萬以上ノ職工ガ掛ッテ居ッテ仕事ヲシテ居ルト

スレバ、相當大ナル産業デアアル、之ニ關係シテ此工業ニ依テ飯ヲ食ッテ居ル者ハ恐ラクハ三四萬人ニナルデアラウ、是ダケノ人間ニ職ヲ與ヘルト云フ上カラ云ツテモ、斯様ナ事業ノ發達シテ海外ヘ益輸出ヲ増進スルト云フコトハ、最モ必要ナルコトデアルト思フ、其意味ニ於テ曹達灰ノ如キ中間原料ハ、成ベク安ク供給スルト云フコトデナケレバ、貿易ヲ發達シ産業ノ振興ヲ圖リ、併セテ國際勘定ノ調節ヲ圖ルト云フコトニナラナイト思フノデアアル、先ヅ斯ウ云フ方針デ私共ハ行キタイト思ヒマスルガ、併ナガラ此三十五錢ノ案ガ直ニ善イ惡イト云フコトヲ申上ゲルノデハナイガ、サウ云フ將來ノ事ヲ御考ニナッテ、モウ少シ御研究下サツタナラバ、寧ろ此場合ニハ此三十五錢ト云フモノハ撤廢爲サル方ガ適當デハナイカト思フガ、唯是ハ曹達灰業者ヲ助ケテ居ラシヤルト云フコトデゴザイマスルカ、之ヲ御伺シタイト思ヒマス

○宮内政府委員 只今太田君カラ詳細ニ曹達灰ニ關スル御意見ガゴザイマシタ、御尤デゴザイマス、曹達灰ノ關稅ヲ只今三十五錢ニ現行ノ據置クト云フコトハ、如何ニモ中和性ヲ帶ビテ居ルノデアルト云フ御説デゴザイマスガ、昨日モ申上ゲマシタ通り曹達灰ニ付キマシテハ原料鹽ノ問題ガアリマスノデ、ソレハ別トシテモ曹達灰ノ製造方法ニ付テ苦心ヲ拂ッテ居ルト云フコト

ヲ申上ゲマシタノデアリマス、近キ將來ニ於テ事業ノ見込ナシトスルナラバ、關稅ヲ撤廢シテハドウカト云フ御話デアリマスガ、私ハ左様ニ考ヘテ居リマセヌ、一面原料鹽ノ輸入ニ付キマシテモ、太田君ハ悲觀サレテ居ルガ如キ口吻ヲ漏サレマシタガ、悲觀ハシテ居リマセヌ、我ガ勢力範圍内ニ於キマシテ事業ノ發達ヲ圖ルヤウニ努力致シタイト考ヘルノミナラズ、現ニ努力シツツアルノデアリマス、ソレカラ其製造ノ方法ニ付キマシテモ、是ガ立行クヤウニ——御話ノ如ク今日ニ於キマシテハ旭硝子ノ工場ニ於キマシテハ三十五錢ノ關稅デハ立行カナイカ知レマセヌガ、之ヲ存置シテモ、原料鹽ナリ製造方法ニ付テ別途ノ方法ヲ講ジナケレバナラヌコトハ御話ノ通りデアリマス、其點ハ努力ヲシテ居リマス、其具體的ノ案ニ付テハ明確ニ申上ゲルコトノ出來ル時期ニ達シテ居ナイコトハ遺憾トスルノデアリマスガ、其事ニ付テハ努力ヲシテ居リマス、ソレカラ今日現ニ製造シテ居ル曹達灰ニ付テ關稅ヲ撤廢スルト云フコトハ、一面産業ノ氣勢ヲ殺グコトニナルト云フ御話デアリマスガ、是ハ中和性ノモノデモ何デモナク、政府ハ一面ニサウ云フ努力ヲ拂ヒ、又一面ニ關稅ヲ存置シテ我ガ曹達灰工業ノ獨立ヲ期シタイノデアリマス、硝子ノ工業ニ付テハ御説ノ通りデアリマス、重要ナルガ故ニ尙更關稅ヲ存置シテ曹

達灰工業ノ確立ヲ期シタイト云フ考デアリマス

○太田委員 私ハ内地ノ曹達灰工業ヲ悲觀シテ、又見込ガナイヤウナコトヲ申上ゲタ如ク政府委員カラ御話ガアリマシタガ、其點ハ御考違ヒデアラウト思ヒマス、私ハサウ云フヤウニ申シタノデアリマセヌ、内地曹達灰ノ見込ガナイノデハナイ、自給自足ノ方法トシテ別途ノ方法デ助成シタ方ガ宜クハナイカ、鹽專賣ノヤウナ方法ノ下ニヤレバ日本ノ食鹽ハ安クナル氣遣ヒハナリマシタナラバ、鹽田業者ハ差支ヘル、ソレデアリマスカラ鹽ハ當分ノ間ハ現在ノ方法ニ依ルヨリ仕方ガナイ、サウナルト云フト、ソレヲ百ニ對シテ四十以上ヲ要スル曹達灰工業ガ好結果ヲ得ルコトハ困難ノ立場ニ在ル、故ニ關東州ニ於テ生産ヲシタ方ガ安ク付クト云フヤウナコトモ一ツノ方法デアリマセウガ、現在關東州ノ製鹽ハ微々タルモノデアアル、内地ニ於テハ旭硝子ノ説ニ依ルト三十五錢デハ引合ハナイ、二割位ノ關稅デナケレバ採算ガ出來ナイ、曹達灰業者ヲ助クル爲ニ硝子ノ輸出ヲ犠牲ニスルノハ間違ッテ居ル、片一方ハ生産費ヲ安クスレバ三萬圓ノ輸出ハ何デモナイ、鹽ノ方デ援助シテヤレバ曹達灰業者モ成立チ、硝子業者モ成立ツノデアアル、硝子業者ニハ或ル期間中輸出關稅ヲ免除シテ置ケバ宜シイ、サ

ウシテ見ルト云フト、其間ニ中和性ガアリハシナイカ、曹達灰ノ輸入先ハ英國カラ這入ッテ來ルモノガ九十「パーセント」位這入ッテ來ルノデアリマスガ、食鹽ノ安イ英國ト高イ日本ト曹達灰ノ競争ヲスルノハ困難デアル、此意味ヲ申上ゲタノデアリマスカラ、改正案ノ審議ヲ進メル上ニ於テ、政府委員モ今一應御熟考ヲ願ヒタイノデアリマス

○加藤委員長 此際私ハ理事ニ要求致シマスガ、私ノ方ノ理事ガ昨日缺席デアリマシタノデ、代理ヲ太田君ニ御依頼シマシテ、各派ノ理事ト御相談ヲ願ッタノデスガ、其結果ヲ太田君カラ御報告ヲ願ヒマス

○太田委員 昨昨日理事ノ代理ト致シマシテ、各派ノ理事ト御交渉致シマシタ、議事ノ進行ニ付テ成ベク促進スルコトヲ攻究致シマシタ結果トシテ、第一ニ質問ハ申込順ニ依ルコト、申込ノ節ハ類別ノ中ノ番號ヲ附ケルコト、例ヘバ百六十五ト云フ番號ノ申込ノ方ハ、百六十五ノトキニ續イテ述ベラレハ、若シ通告ヲナサツテモ其時御出ニナラナカッタ場合、又ハ其日ニ申込ヲシテ居ラレナイ方ニハ、最終ノ日ニ總括シテ質問ヲ爲サルコト、サウシテ其日ハ跡戻リヲシテ質問ヲ繰返サナイト云フコトニ申合ヲ致シマシタ、ソレカラモ一ツハ午後繼續致ス場合、一時カラ五時マデ打通シニ繼續致スト云フコトハ、頗ル困難デアリマスカラ、其間ニ

於テ適當ナ時間ニ十五分ナリ二十分ナリ、委員長カラ御宣告ヲ願ッテ其間ニ休憩スル、斯様ニ申合セヲ致シマシタ、其段御承知ヲ願ヒマス

○加藤委員長 只今太田君ノ御話ノ通リノ申合セデアリマシタカラ、爾來ソレヲ勵行致シマスカラ皆サン御承諾ヲ願ヒマス

「賛成」ト呼フ者アリ

○岡田委員 一寸伺ヒマスガ、曹達灰ノ如キハ獎勵ノ爲ニ補助金デモ出シテ研究サスト云フコトガ宜イデハナイカト考ヘルガ、サウ云フ風ニ御取計ヒニナル腹案ハアリマセヌカ、此生産ヲ獎勵スル爲ニ輸入税ヲ掛ケル、税ヲ掛ケルト全體ノモノハ不利益ニナル、税ヲ掛ケヌト一向生産ガ促進セラレヌカラ、是ハ必要デアル、デアルカラ税ヲ掛ケル、ソレヲ保護法ヲ以テ研究生産ヲ促進サシテ、後ニ無税ニスルト云フナラバ、全體ノ上ニ宜ササウニ考ヘラレマスガ、如何デアリマセウカ

○矢部政府委員 其問題ニ付テハ只今御尋ガアリマシタヤウナ機關ヲ設ケテ頻ニ研究ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、之ニ收支ノ計算等モシテ到底關稅ヲ以テ保護スルコトハ出來ナイ、日本内地ニ於テ關稅ヲ以テスルノガ安全デアル、併シソレダケ關稅ヲ高メルカト、之ヲ原料トスル事業ニ影響ヲ及ボス、隨テ他ノ方法ニ依ラナケレバナラヌト云フコトニナツテ居ル、而シテ何故

關稅ヲ撤廢シナイカ、之ニ付テハ先程工務局長カラモ御話シタ如ク、マダ其ノ方法ニ付テハ的確ナ方法ガナイ、即チ今攻究中ニ在リマス、尙ホ當局カラモ御話シタ如ク、關東州デ之ヲヤルノガ宜イカ、内地デヤルノガ宜イカ、ソレ等モ研究シテ居リマス、現在英國ノ曹達灰ガ何百萬圓モ這入ッテ居ルノデ、ソレニ對抗スルコトハ無理デアルガ、一方日本ノ勢力範圍ニ於テ相當ニ原料ガアル、之ヲ以テヤルナラバドウデアラウカト云フコトデ、昨年關東州ノ方ノ物産ニ對シテ、特定ノ關稅ヲ設ケテ、曹達灰ニ付テハ無税デ入レルコトニ致シマシタ、若シ之ヲ撤廢スルナラバ、我勢力範圍カラ來ル曹達灰モ、他ノ所カラ來ル曹達灰モ、同一ノ條件ノ下ニ這入ッテ來ルト云フコトニナツテ、對抗ガ出來ナイ、關稅ヲ撤廢スルニ付テハ相當考慮シタ上デ、撤廢ガ出來ナイモノト考ヘテ居リマス

○岩切委員 曹達灰ノ問題デアリマスガ、日本ニ澤山出來ナイ、外國カラモ十一萬噸モ輸入シテ居ル、我國デハ僅カ七千噸シカ出來ナイ、是ハ硝子業ノ非常ニ困ル問題デアル、倭日本デ造ラウトスルト高イカラ出來ナイ、ドウシテモ無税ニシテ硝子工業ヲ發達セセタイト云フノガ、當業者ノ熱烈ナル希望デアリマス、其通りデ政府トシテモ「デレンマ」ニ陥ッテ居ル、造ラウトシテモ

出來ナイ、保護シャウトスレバ硝子工業者ガ困ル、之ヲ切抜ケルニハ曹達灰モ國產トシテ——國家トシテノ立場カラ保護シナケレバナラヌ、ソレハ極メテ困難デ製造ガ出來ナイノデアリマスカラ、ドウシテモ今岡田君ノ言ハレルヤウナ方法カ、サモナケレバ戻稅ヲヤルヨリ外ハナイ、是ガ出來ナイト云フコトナラバ全廢シャウト云フ意味ガ出ル、ソレヲ調和スルニハ戻稅ノ問題ヲ完全ニスルコトヲ當局トシテハ唯考ヘルトカ、必ズ將來ニ見込ガ立ツトカ云フコトデハ、決シテ完全ニハ行カナイト思ヒマスガ、此戻稅ガ行カナイ、硝子デアルカラ査定ガ十分ニ出來ナイ、制度ガアツテモ完全ニ行カナイ、之ヲ調和シテ行クニハ、稅率ヲ置イテ無税ニハシナイ、ソレナラバ戻稅ノ方針ヲ徹底スルヤウニ考ヘナケレバナラヌガ、ソレニ付テ伺ヒタイト思ヒマス

○平野商工技師 一寸御參考マデニ申上ゲマスガ、只今ノ曹達灰ノ三十五錢ト申スノハ、括弧シテ一割二分弱トシテアリマス、併シ是ハ基準期間ニ對スル一割二分弱ナノデ、只今輸入セラレテ居ルモノニ對シテ六分乃至七分位ナ非常ニ低率ナノデアリマス、デ私共モ硝子工業ノ重要ナル所以ハ能ク承知シテ居リマスガ、此三十五錢ノ關稅ガ日本ノ硝子工業ニ惡影響ヲ及ボスモノトハ認メテ居リマセヌ、隨テ戻稅ト云フヤウナ制度ハ實際ゴザイマスガ、何故

出來ナイ、保護シャウトスレバ硝子工業者ガ困ル、之ヲ切抜ケルニハ曹達灰モ國產トシテ——國家トシテノ立場カラ保護シナケレバナラヌ、ソレハ極メテ困難デ製造ガ出來ナイノデアリマスカラ、ドウシテモ今岡田君ノ言ハレルヤウナ方法カ、サモナケレバ戻稅ヲヤルヨリ外ハナイ、是ガ出來ナイト云フコトナラバ全廢シャウト云フ意味ガ出ル、ソレヲ調和スルニハ戻稅ノ問題ヲ完全ニスルコトヲ當局トシテハ唯考ヘルトカ、必ズ將來ニ見込ガ立ツトカ云フコトデハ、決シテ完全ニハ行カナイト思ヒマスガ、此戻稅ガ行カナイ、硝子デアルカラ査定ガ十分ニ出來ナイ、制度ガアツテモ完全ニ行カナイ、之ヲ調和シテ行クニハ、稅率ヲ置イテ無税ニハシナイ、ソレナラバ戻稅ノ方針ヲ徹底スルヤウニ考ヘナケレバナラヌガ、ソレニ付テ伺ヒタイト思ヒマス

ソレガ活用セラレテ居ナイカト申セ
バ税ガ餘リニ僅カデ、戻シタ所ガ硝子
工業ニ大シタ利益ノナイ結果デアッテ、
其税ガ適當ダラウト考ヘテ居リマス、
税ガ相當高クテ、硝子ノ上ニ非常ナ影
響ヲ及ボスヤウナコトガアッタナラバ、
仰セノヤウナコトガ必要デナイカト考
ヘマス

○岩切委員 若シ此一割二分ト云フモ
ノハ極メテ僅少デ、硝子工業ニ何等關
係ガナイモノナラバ、曹達工業ニモ關
係ガナイヤウニ思ヒマスガ

○平野商工技師 曹達灰ハ極メテ安イ
モノデアリマスガ、之ヲ運搬スルニハ
相當運賃ガ掛カル、只今日本ニ來テ居
ル曹達灰ハ、英吉利カラ參リマス爲ニ
運賃ガ非常ニ掛カルノデアリマス、假
ヘバ一噸ニ付テ約二十圓位掛カル、サ
ウスルト假ヘバ關東州邊リノ食鹽ノ値
段ト英吉利ニ於ケル食鹽ノ値段ト比較
スルト、凡ソ運賃位ノ差ガアレバ、詰リ
英吉利ノ曹達灰ノ生産費ト關東州ニ於
ケル曹達灰ノ生産費ニ對シテ、此運賃
ト云フモノガ「ハンデキャップ」ニナッ
テ、稍々突合フコトニナリマス、三十五
錢ノ關稅ト云フモノガ外國品ニ對シテ
有力ニ働クモノデアリマス、約一噸ニ
付キ六圓バカリニナリマス、其關稅ト
云フモノガ可ナリ有力ニ働クコトニナ
リマス、關東州ノヤウナ場合ヲ取リマ
スト、サウ云フコトニナリマス

○岩切委員 戻税ノコトデスガ、此死

ンダ法律ヲ活用スル途ハナイノデアリ
マスガ

○矢部政府委員 御答致シマスガ、戻
税ガ死ンダ法律デアアル、之ヲ活用サレ
ル途ハナイカト云フ御尋デアリマス
ガ、之ニ付キマシテハ、昨日御説明申上
ゲタト覺エテ居リマスガ、硝子器百斤
ニ付テ八錢四厘、硝子板ニ付テハ四「ミ
リ」以下ノ厚ミニ付テハ百平方米ニ付
キ四十五錢、ソレ以上ノモノニハ百平
方米ニ付テ七十五錢ヲ拂戻シテ居リマ
ス、之ニ付キマシテハ當業者カラ常ニ
苦情ガアルノデアリマス、是ハ安イモ
ノデアアルカラ、荷物ヲ開カズニ検査ス
ルヤウニシテ吳レト云フコトヲ常ニ申
出テ居ルノデアリマス、大藏省ニ於キ
マシテモ之ニ付キマシテハ極ク簡單
ニ、昨日モ御話致シマシタ通り致シテ
居ルノデアリマス、之ヲ嚴重ニ致シマ
スレバ、工場ニ運ビ入レマシテ稅務官
吏ガ出張シテ検査ヲスル、製品ガ出來
上リマシタモノト突合セテ、ソレガ正
當ナリヤ否ヤヲ査定ヲシナケレバナラ
ヌノデアリマス、其査定ニ依リマシテ
戻税ヲ受クルト云フ仕組ニ致シマスレ
バ、解カズシテ宜カラウト思ヒマスガ、
成ベクサウ云フ方法ニ致シテ居リマ
ス、出來ルダケ検査ハ省略シテ居ルノ
デアリマス、更ニ簡便ノ方法ヲ色々攻
究シテ居リマスガ、兎ニ角極メテ簡便
ニヤッテ居ル積リデアリマス

○岩切委員 酒石酸、枸橼酸ト云フモ

ノニモ課税サレテ居リマスガ、是ハ無
税デ宜シカラウト思ヒマス、是デ製造
スル清涼飲料ニ課税スルト云フ案カ一
方ニ出テ居ルノデアリマス、大體清涼
飲料ト云フモノハ奢侈的ノモノデア
ト言ハレマスガ、今日ニ於キマシテハ
下級ノ者ノ飲料トシテ衛生上必要ナル
モノノ一ツニナッテ居リマス、社會政策
的ノ立場カラ、此清涼飲料ニ課税スル
ノハ兎角ノ議論ガアルト思ヒマス、此
兎角ノ議論ノアル清涼飲料ニ課税シ、
又其原料デアアル酒石酸、枸橼酸ニ重課
スルト云フコトハ、二重課税ニナルヤ
ウナ傾キニナリハセンカ、ソレヲ御伺
致シマス

○黒田政府委員 枸橼酸、酒石酸ニ付
テハ御尋ノ通り枸橼酸ハ我國ニ於テモ
製造ガアルノデアリマシテ、一時發達
致シマシテ生産モ多クッタノデアリマ
ス、近來大分悲境ニ在ルト云フヤウナ
狀況ニアルノデアリマス、而シテ是ハ
御尋ノ通り清涼飲料ノ原料ニモ使ヒマ
スシ、又一方ニ醫藥用又ハ醫療用、其他
色々ノモノニ使ハレルノデアリマシ
テ、内地ニ於テ——各地ニ於テ主トシテ
暖地ニ於テ夏密柑等ヨリ製造スルト云
フ風デ、相當出來ルノデアリマス、之ヲ
適當ニ保護致シマシタナラバ、内地ノ
生産ヲ助長スルト云フ考カラ致シマシ
テ、枸橼酸ニ付キマシテハ多少保護ヲ
致シタノデアリマス、ソレカラ枸橼酸
ト酒石酸トハ用途大體同ジヤウニ使ハ

レルモノデアアルノデアリマスカラ、枸
橼酸ト同ジヤウニ致サナケレバナラ
ヌ、ノデアリマスカラ、酒石酸モソレニ
準ジマシタ率ニシテアルノデアリマ
ス、サウ云フ目的ヲ以テ稅率ハ定メテ
アルノデアリマス、其結果之ヲ用キマ
ス、清涼飲料ノ負擔ガ増シテ來ルノデ
アラウ、清涼飲料ハ今後新ニ課税サレ
タノデアリマスガ、更ニ此稅率ガ上ル
ト云フコトハ、二重ノ負擔デハナイカ
ト云フ御尋デアリマスガ、清涼飲料ニ
課税致シマシタコトハ、是ハ稅制整理
ノ方デ屢御質問ニ應ジテ御答ヲ申シテ
居ル次第デアリマスカラ、茲ニ詳シク
ハ繰返サンノデアリマスガ、只今ハ生
活必需品、必需品ト云フ意味デ御話ガ
アリマシタガ、政府ハソレ程ニハ考ヘ
テ居ラナイノデアリマス、是等ノ原料
ノ外ニ砂糖等モアリマスケレドモ、ソ
レ等モアリマスケレドモ、ソレ等ノ點
モ考慮致シマシテ、適當ニ盛ツタノデア
リマス、今回ノ引上ガドレ位影響シマ
スカト申シマス、枸橼酸ニ付キマシ
テ——清涼飲料ノ「サイド」類ニ影響
シマス程度ハ極メテ微々タルモノデア
リマシテ、一本ノ罐ニ付キマシテ僅カ七
毛位ノ影響ニ過ギナイヤウニ考ヘマ
ス、大ナル影響ト申ス程デモナイト考
ヘルノデアリマス、而シテ内地ノ産業
ヲ之ニ依テ助長シ得ルト云フコトニナ
リマスナラバ、ソレ位ノ引上ハ清涼飲
料ノ方ニ打撃ト云フコトハ勿論ナイ、

大シタ影響ハ無イト考ヘル次第デアリマス

○加藤委員長 松本直平君、百三十九ニ付テ御質問ヲ願マス

○松本委員 極ク簡單ナ質問デアリマス、白檀ノ中ニ「サンタラムアブム」ト云フノガ無税ニナツテ居リマスガ、是ハ一體ドンナモノデスカ、ソレヲ伺ッテ、其上デ更ニ……

○矢部政府委員 百三十九號ノ白檀ノ中ノ「サンタラムアブム」ト申シマスノハ白檀ノ一種デアリマス、白檀ニハ色ミゴザイマシテ、書畫骨董ヲ保存スル爲ニ使フノモアリ、藥品ヲ取ルノモアリ、色ミ種類ガアリマス「サンタラムアブム」ト申シマスノハ、是ハ蒸餾ヲ致シマシテ揮發油ヲ取ル、其揮發油ハ痲疾ニ對シマシテ特效ガアル、其製藥ヲ獎勵スル爲ニ無税ニ致シテアルノデアリマス

○加藤委員長 長田君、百五十四
○長田委員 百五十四ト百九十三、百九十四、百九十六、ソレニ關聯シテ居リマスカラ序デニ御尋スルコトヲ御許シ願ヒマス、此關聯セル四項ハ木材乾餾事業ニ關係致シテ居リマスノデ、木材乾餾ハ一時非常ニ旺盛デアリマシタガ、大戰後漸次衰微シテ參リマシタ、此木材乾餾ニ依テ得ル所ノ醋酸或ハ醋酸石灰「アゼトン」「メチール」此事業ヲ保護サレ、バ、副產物トシテ木炭ガ非常ニ廉價ニ消費者ニ供給サレルノデアリ

マス、此事業ガ保護サレテ盛ニナレバナル程、副產物ノ木炭ハ安クナルト云フ結論ヲ生ジテ來ル、今回醋酸ニ對シテハ矢張同一ノ税額ヲ御盛リニナリマシタ、又醋酸石灰モ「アゼトン」モ同様デ「メチール」ハ反對ニ無税ニナツテ居リマスガ、是等一貫シタル木材乾餾工業ヲ保護シテ、内地ノ斯業家ヲ發達セシメ、輸入ヲ防遏スルト云フ御考ハ無イノデアリマセウカ、殊ニ「アゼトン」ノ如キハ軍需品トシテ需要ガ當然アルモノト思ヒマスガ、税ヲ御盛リニナル場合ニ於テ、是等ノ御考慮ハ無カッタノデアリマスカ

○窪田農林技師 昨日モ申上ゲマシタ醋酸石灰ハ、木炭製造ノ際出テ來ル煙ヲ冷シテ採リマスカラ、木炭製造ノ副業トシテ相當價值アルモノト考ヘテ居リマス、隨テ此稅ヲ考慮スル場合ニモ、此點ニ付テ十分考慮シ、尙ホ歐洲戰爭當時ニ於テ「アゼトン」ノ大切ナルコトハ其當時著シキモノガアッタノデアリマス、而シテ最も多ク生産スル亞米利加ノ木材乾餾事業ニ因ル醋酸石灰ハ、總テ歐洲戰爭ノ方ニ向ケラレテ、需要ガ非常ニ多クカッタ爲ニ、殆ド日本ニ來ナカッタノデアリマス、ソレデ日本トシテモ相當必要デアッタ爲ニ、其價格ガ隨分高マツテ來マシタ結果盛ニナツタノデアリマシテ、歐洲戰爭ガ濟ムト同時ニ亞米利加ノ方デハ今後ドノ位戰爭ガ續クカ分ラヌト云フ爲ニ、「ストック」シテ

居ッタ物ガ必要ガナクナッタ爲ニ「ダンピング」式ニ日本ヘ澤山持ッテ參ッタ、ソレガ爲ニ競争ガ出來ナクテ段々日本ノ木材乾餾事業ガ衰微シテ來マシタ、其盛ナトキニハ鐵ノ釜デ乾餾スル木材乾餾事業ガ發達シタノデアリマスケレドモ、サウ云フモノガ先ヅ倒レ、ソレカラ木炭製造ノ副業的ノモノガ尙ホ暫ラク餘喘ヲ保ッテ居リマシタガ、段々景氣ガ惡クナッタ爲ニ、是モ漸次衰ヘマシテ、現在ハ纔ニ和歌山縣ニ少シ行ハレテ居ルダケデアリマシテ、之ヲ保護シテ盛ンナラシメル程度マデニ關稅ヲ上ゲテ行クコトニシタナラバ、餘程高イ稅率ヲ盛ラナケレバナラヌノデアリマス、サウ云フコトニシマス、食料ノ方ニ使フ酢ノ原料トシテハ幾分高クナツテモ忍ブコトガ出來ナイコトハアリマセ「ケレドモ、染料ニ用キル場合餘リ高クナルト、染色業ノ方ニ影響ヲ及ボスノデアリマシテ、而モ此醋酸ハ最近ニ獨逸ニ於テ化學的合成ニ依テ出來テ參リマシタ、米國ノ醋酸石灰デサヘ脅威ヲ感ジテ、或ハ休息ミ或ハ仕事ヲ廢メ、今ノ所苦心悲慘シテ居ルヤウナ際ニ、獨逸ノ化學合成物ガ成功シナイデモ、米國ノヤウナ木材ノ安イ處デ、大規模ニ醋酸石灰ヲ採ヘルコトニ對シテ、日本ガ高イ原料ヲ用キテ木材製造ノ副業的ニ採收スル醋酸石灰、而モ米國品カラ見ルト性質モ劣ッテ居ル、之ヲ自給自足ノ域ニ達セシメルト云フ迄ニ關稅ダケデ保護

シテ行クト云フコトハ、非常ニ困難デアリ、且ツ他ノ業ヲ脅威スル所ガ大デアリマスカラ、目下ノ所デハ醋酸石灰事業ハ世界的ニ安定シテ居リマセヌカラ、當分ノ間現在ノ所ニ置キマシテ、其狀態ノ安定ヲ待ッテ、更ニ考慮シタイト考ヘテ居ルノデアリマス「アゼトン」ニ付キマシテハ勿論軍事上ニ必要ナ物デアリマスケレドモ、是モ他ノ方法デ出來ルヤウニナリツ、アルサウデアリマス、又我國ノ軍事上カラ行キマシテモ、海軍デ稍用キラレルノデ、陸軍デハ餘リ用キヌト云フ話モ聞イテ居リマスカラ、而モ一旦事ガ有ル場合ニハ、日本ハ木炭ヲ非常ニ製造シテ居リマスカラ、其排出スル煙ヲ利用スルコトハ、化學ガモウ少シ進ンダナラバ、直グエライ設備ヲ要セズ出來ルノデアリマシテ、一旦有事ノ際ニハ、サウ心配シナイデモ宜クハナイカト思ッテ居リマス

○長田委員 御説明ヲ伺ヒマス、米國ノ豐富ナ木材ト、化學ノ進歩ニ伴フ工業ノ發達ニ依テ、連モ日本内地ノ副產物的ニヤツテ居ルモノト競争ノシヤウガナイカラト云フ、殆ド自暴自棄ノヤウナ御話デ、關稅ニ依テ保護スルコトニナレバ非常ニ高率ナ關稅ヲ課サナケレバナラヌカラ、連モ駄目ダト云フ御話ニ承ッタノデアリマスガ、私ハドウモ餘リニ冷淡ダト思ヒマス、「コンスタート」ノ日本ニ在ル所ノ現在ノ二ツノ工場——數十會社ガアッタガ、亡ビテシ

シテ行クト云フコトハ、非常ニ困難デアリ、且ツ他ノ業ヲ脅威スル所ガ大デアリマスカラ、目下ノ所デハ醋酸石灰事業ハ世界的ニ安定シテ居リマセヌカラ、當分ノ間現在ノ所ニ置キマシテ、其狀態ノ安定ヲ待ッテ、更ニ考慮シタイト考ヘテ居ルノデアリマス「アゼトン」ニ付キマシテハ勿論軍事上ニ必要ナ物デアリマスケレドモ、是モ他ノ方法デ出來ルヤウニナリツ、アルサウデアリマス、又我國ノ軍事上カラ行キマシテモ、海軍デ稍用キラレルノデ、陸軍デハ餘リ用キヌト云フ話モ聞イテ居リマスカラ、而モ一旦事ガ有ル場合ニハ、日本ハ木炭ヲ非常ニ製造シテ居リマスカラ、其排出スル煙ヲ利用スルコトハ、化學ガモウ少シ進ンダナラバ、直グエライ設備ヲ要セズ出來ルノデアリマシテ、一旦有事ノ際ニハ、サウ心配シナイデモ宜クハナイカト思ッテ居リマス

○長田委員 御説明ヲ伺ヒマス、米國ノ豐富ナ木材ト、化學ノ進歩ニ伴フ工業ノ發達ニ依テ、連モ日本内地ノ副產物的ニヤツテ居ルモノト競争ノシヤウガナイカラト云フ、殆ド自暴自棄ノヤウナ御話デ、關稅ニ依テ保護スルコトニナレバ非常ニ高率ナ關稅ヲ課サナケレバナラヌカラ、連モ駄目ダト云フ御話ニ承ッタノデアリマスガ、私ハドウモ餘リニ冷淡ダト思ヒマス、「コンスタート」ノ日本ニ在ル所ノ現在ノ二ツノ工場——數十會社ガアッタガ、亡ビテシ

マツテ現ニ二ツシカ残ツテ居ラヌ、此工場ヲモ維持シテ之ヲ保護スル必要アリト云フコトデ、一圓五十錢ノモノヲ四圓五十錢マデ引上ゲルト云フ程、此工業ノ保護ニ御熱心ナ御考ガアリナガラ、此木材乾餾事業ニハ、著シイ冷淡ナル御説明デ、其根柢ニ大矛盾ガアルト思ヒマス、醋酸石灰ノ如キハ、大正十三年ノ輸入ハ百七十萬圓ニ達シテ居リマス、アセトンハ十二萬圓、メチールハ五十九萬圓、醋酸ハ二萬四千圓ト云フノデ、矢張合計二百萬圓以上ニ達シテ居ルト云フコトデアッテ、今御話ノ通リ關稅ノミニ依テ保護ヲ遊バスト云フコトヲ御期待ニナツテ居ルガ、矢張林產物ノ保護ニ對シテモ農林省ハ積極的ニ保護シテ、消極的ニハ關稅ニ依テ保護スルト云フコトガ一貫セル關稅改正ノ趣旨ト思ヒマス、是ハ私共敢テ理窟ヲ言フ譯デハアリマセヌガ、御考慮ヲ仰ギタイト思ヒマス、殊ニ日本ノ雜木林ニ對シテハ、煙ヲ無駄ニ使ツテ、木炭ヲ燒クト云フコトニナリマスカラ、其木炭ガ市場ニ割高ニ供給サレルノデアリマス、前年モ木炭ノ高イコトニ依テ、消費者ガ同盟シテ騒イダコトハ、農林省ハ御承知ト思ヒマス、斯カル場合ニ無駄ニ使フ所ノ煙ヲ利用シテ、相當化學生産品ニ使フト云フコトハ當然デアリマス、ドウカ此點ニハ十分御考慮ヲ切望シテ置キマス

○加藤委員長 森君——百四十九
○森委員 百四十九、黃燐、赤燐、ハ大體燐寸ノ原料ト思ヒマスガ、戰時中我國ノ黃燐赤燐事業ハ非常ニ發達致シマシテ、相當輸出ニモナツタコト思ヒマス、然ル所戰後外國ノ資本金及「トラス」ノ關係カラ、極端ナル安イ價格ヲ以テ、日本ノ此事業ヲ壓迫サレマシテ、日本ノ事業者ハ殆ど外國ノ資本ニ依テ今日經營シテ居ル、此狀態ニ陷リマシタコトハ、我國ノ此事業ニ對スル保護ガ單ニ燐寸ノ原料デアアル、是ハ燐寸ガ重要ナル輸出工業デアアルカラ、之ヲ保護スルガ爲ニ、此原料ヲ全部無稅ニスルト云フコトカラ出發シマシテ、ソレガ爲ニ此燐寸ノ原料タル所ノ黃燐、赤燐ハ無稅デアリマシタ爲ニ、其仕事ガ戰後ニ於テ殆ど獨立ノ出來ナイ狀態ニナツタ、外國ノ資本金ハ黃燐、赤燐ノ工場ヲ買收若クハ借入レノ契約ヲ致シマシテ、現ニ日本ノ此仕事ハ外國ノ資本ニ依テ經營サレテ居ル、其結果ト致シマシテ、日本デ出來ル生産額ノ倍額若クハ三倍ノ價格ヲ以テ、日本ノ燐寸業者ニ供給セラルルト思ヒマス、就キマシテハ日本デ十分ニ原料モアリ、又生産費ノ大部分ヲ占メル所ノ電力モ澤山アリマスノデ、茲ニ相當ノ課稅ヲ致シマシテ、此事業ヲ保護シ、而シテ事業ノ安定ヲ圖リマシタナラバ、日本デ此仕事ガ立派ニ獨立ノ計ガ樹立スル、サウシテ此燐寸事業ニ向ッテハ、其安定ヲ期シ得ラレルコトト私共考ヘマス、就キ

マシテハ此赤燐、黃燐ニ向ヒマシテ相當ノ保護關稅ヲ附スルノ御考ガアルカナイカト云フコトヲ御尋致シマス
○宮内政府委員 只今御質問ノ此燐寸ノ原料デアアリマス黃燐赤燐ニ付テノ御話ハ、大體御尤デゴザイマス、此點ニ付キマシテハ當局ニ於キマシテモ餘程研究ヲ致シタノデアリマスルガ、只今之ヲ製造致シテ居リマス工場ニ於テモ、實ハ利益ヲ擧ゲテ居リマス、一面ニ非常ニ重要ナル輸出品ノ燐寸ノ原料ト云フ點モアリマスノデ、先ヅ只今ハ据置ニシテ、サウシテ産業ノ方ニ別ニ影響ハナイ、斯様ニ考ヘテ居リマスルト同時ニ、輸出ノ燐寸ニ付テ不況ニナツテ居リマスコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、或ハ支那ニ於キマシテモ、南洋ニ於キマシテモ、各方面ニ於キマシテノ燐寸ノ活躍ニ依リマシテ、我ガ燐寸業ガ影響ヲ被ツテ居リマス、ソレヲ考ヘマシテ据置ガ適當デアラウト考ヘテ居リマス
○森委員 此燐寸事業ヲ保護スル意味ニ於キマシテ、燐寸事業ノ安定ヲ圖ル上ニ於テ、相當保護シテ内地ニ於キマシテ此事業ガ發達スルコトガ、寧ろ燐寸業ノ爲ニ有利デハナイカ、而シテ此黃燐、赤燐ノ事業ハ立派ニ内地デ獨立スルコトガ出來ルト思ヒマスガ、此點ヲ今一應伺ヒタイ

○宮内政府委員 將來内地ニ於キマシテ獨立ガ出來ルカドウカト云フコトデゴザイマスガ、ソレハ獨立ヲサセルヤウニシ、又獨立ガ出來ルモノデアルト考ヘテ居リマスガ、現狀ニ於キマシテハ儲カッテ居ルノデアリマシテ、關稅ヲ以テ保護スベキ時代デハナイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、併ナガラ將來ニ於キマシテ採算上不利益デアアル、ドウモイカスト云フヤウナコトガ出來テ參リマシタナラバ、其時ニ考慮スル、斯様ニ考ヘテ居リマス
○森委員 儲カッテ居リマススト云フケレドモ、實際ハ外國ノ資本ガ日本ニ這入ッテ居ルノデ、殆ど外國ノ事業デアアル、日本内地ノ經營デナイト私共考ヘラレマスガ、此點ハ如何デスカ
○平野商工技師 只今燐ヲ製造致シマス外國系ノ會社ガ一軒、日本ノ系統ノ會社ガ一軒、二軒アリマス、何レモ相當ノ利益ヲ擧ゲテ居リマス、私共御説ニ非常ニ御同感デアリマス、只今儲カッテ居ナイヤウナ話ガゴザイマシタカラ、相當考慮シタイト考ヘテ居リマス、何分ニモ相當會社デモ利益ヲ擧ゲテ居リマス爲ニ、稅ノ盛方ガナカッタガ、將來ニ於キマシテ只今ノ事情ガ變化スルヤウナコトガゴザイマシタナラバ、其時ニ於テ考ヘタイト思ヒマス
○森委員 其儲カッテ居ル儲カニテ居ラヌト云フコトガ、私共考ヘマスレバ、日本ノ工業ガ發達シマスレバ必ズ外國ノ資本ガ壓迫スル、日本ノ生産費ガ價ハヌ程度ニ競争ヲスル、ソレガ爲ニ日本

ノ内地ノ經營デアッタモノガ、外國人ニ其經營ヲ委ネテ、外國ノ經營ニ依テ初メテ價格ヲトゲテ、而シテ此事業ガ引合フ、斯ウ云フ形ニナツテ居ルト思ヒマスルガ、之ハ今少シク當局ニ於キマシテ徹底的ニ御調査ノ上ニ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

○沼田委員 曹達灰ニ付テハ既ニ質問ガアリマシタガ、併シ最後ニ政府委員ガ御答ニナツタ戻税ニ付テ、今少シ承リタイト思フ、十四年度ニ於キマスル所ノ板硝子、硝子全部ニ付テ千五百萬バカリニナツテ居ルガ、尙ホ此硝子ノ輸出ト云フモノハ、前途マダ十分ナ販路ガアルノデアリマスルガ、之ニ對シマシテハ商工省ニ於カレテモ相當御考慮ニナツテ居リ、尙ホ品質ノ改善等ニ付テモ相當御指導ナサツテ居ル事實モ私共ハ承ツテ居ルノデアリマス、ソレアルガ爲ニ當業者ハ特ニ硝子ヲ造ル坵塙ノ製造ナンカモ、御互ニ金ヲ出シテサウシテ大阪ナンカヘソレヲ拵ヘテヤラウト云フコトニナツテ居リマスノデ、是ノ重大デアルコトハ申スマデモナイコトデアリマスガ、唯普通三十五萬圓ノ戻シヲ得ラレナケレバナラヌ、然ルニソレガ殆ド貰ハレナイコト云フノハ何故デアルカト云フト、硝子器ハ三百斤デ二十四錢ノ戻ガアル、其補助ヲ受ケテ補足ヲスルト云フコトニナツテ居ルガ、其二十四錢ハ得ラレナイ、ソレ故ニ折角戻税ノ方法ヲ設ケラレテ居リマシテ、保

護ノ方法ハ設ケラレテ居リマシテモ、ソレヲ實行スルコトガ出來ナイ、ソレデ現在三十五萬圓ノ補助ヲ受ケナケレバナラヌモノガ、十三年度ニ於テハ五千圓、十四年度ニ於テハ五千七百圓ト云フ譯デアリマシテ、是程シカ貫ツテ居ラヌノデアリマス、眞ニ硝子事業ヲ國家産業ノ上ニ最重要ナル産業トシテ御保護ナサルト云フ精神ナラバ、此戻税ト云フモノヲ徹底的ニヤラナケレバナラヌト思フ、サウスルト曩ニ御説明ニナリマシタ如ク、之ヲバ内部ヲ検査スルトカ、檢メルトカノ方法ヲ廢シマシテヤルト云フ決心ガナケレバ出來ナイ、而シテ曹達灰ハドウデアアルカト申シマスレバ、非常ニ我國デハ此製造ヲ獎勵シナケレバナラヌガ、前回言明ニナリマシタ事實ト云フモノハ、殆ド例外ノ値段デアリマス、英國アタリデハ私共ノ聞ク所ニ依レバ、百斤一錢六厘位、其他ノ高イ國デ二十錢デアルノニ、我國ノ狀態ハ一圓三十何錢ト云フ非常ニ莫大ナ、十倍以上——英國ニ比ベレバ百倍以上ニモ達シテ居ル價格ヲ保ツテ居ルノデアリマス、ソレニ依リマシテ製造致シテ行クト致シマスレバ、到底外國品ト角逐スルト云フコトハ、今日ノ場合食鹽ノ價格ヲ下落セシメルト云フコトニナラナケレバ出來ナイコトハ、申スマデモナイコトデアルト思フ、左様ニ致シマス、此曹達灰ト云フモノハ、ドウシテモ其物ヲバ外國品ニ

求メナケレバナラヌガ、海外ニ求メルト云フコトニナレバ、其物ハ成ベク安キ物デナケレバ硝子事業ノ發達ト云フモノハ圖リ得ナイ、サウシマスレバ、折角今旭硝子ガ七千噸バカリ製造致シテ居リマス所ノ事業ヲ阻碍スルト云フコトヲ慮ツテ居ラシヤルト云フコトニモ承ツテ居リマスガ、左様ニ致シマスレバ一方ヲ保護スル爲ニ千五百萬圓ノ販路ヲ有スル所ノ硝子輸出事業ニハ一頓挫ヲ與ヘナケレバナラヌ、是ニ於キマシテ今ヤツテ居ル戻税ヲバ、中ヲ檢メズシテ、之ニ依テヤルト云フ方法デ御取扱ニナラナケレバ、百斤ニ付テ八錢四厘ト云フモノハ、三百斤デ二十四錢デアリマスカラ、其包裝ヲ解イテ更ニ包裝スルト云フコトニスレバ、獎勵賃銀ガ二十四錢デハ上ラナイ、斯様ニ致シマスレバ結局名前ハ保護スルト云ウテ戻税ヲヤツテモ、事實ハ一錢一厘ノ戻税ヲモヤラヌト云フコトニナル、政府ハ何レニ重キヲ置クカ、我國デ出來ナイ曹達灰モ必要デアアルガ、ソレニ比ベマシテ此硝子ノ輸出事業ヲ保護スルコトガ宜イト思ハレルカ、ドウカト云フコトガ、審議スル上ニ重大ナル關係ガアルト思ヒマスカラ、此點ニ對シテ政府ト致シマシテハ、今申上ゲル如クニ簡便ナ方法、即チ何等ノ検査モセズシテ、サウシテ當業者ヲ信ジテ之ニ戻税ヲ與ヘルト云フ方法ハ御採ニナルノデアリマセウカ、出來ナイノデアリマセウカ、之ヲ承

リタイ
○黒田政府委員 此問題ニ付テハ他ノ政府委員ヨリ度々詳シク御説明申上ゲタト思ヒマスルガ、此戻税ニ付キマシテハ、色々ナ單リ硝子器バカリデハアリマセヌ、他物ニ付キマシテモ成ベク出來ルダケ便宜ヲ圖リマシテ、戻税ヲ一層獎勵シマス趣意ニ副ハシタイト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、出來ルダケ時々其手續ノ煩雜ナモノハ成ベク簡便ニスルト云フコトニ注意ヲ致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ之ハ税ヲ戻スコトニナルノデアリマスカラ、ソレガ濫ニ流レマシテハ又非常ナ弊害ガアルノデ、隨テ取締上ニ於キマシテモ、相當考慮ヲ致サナケレバナラヌノデアリマシテ、唯之ヲ無検査ニ依テ戻スト云フヤウナコトニナリマスレバ、若シ其所ニ弊ガ生ジマシタナラバ、之ハ戻税ノ趣旨ニモ反シマスルシ、又負擔ノ上ニ於テ公平ヲ失スルト云フコトニナルノデアリマスカラ、一方ニ於テハ取締ノ點モ相當考慮シナケレバナラヌガ、又一面ニ於テハ御話通り輸出ニ出來ルダケノ便宜ヲ與フルコトニ付テ考慮ヲシナケレバナラヌノデアリマシテ、前申上ゲマス通り之ニ注意ヲ致シタノデアリマスルガ、何分ニモ只今御述ニナリマシタヤウニ、製造家ヲ信頼シテ總テ無検査デ之ヲ戻セバ宜イデヤナイカト云フ御話デアリマスルガ、其程度マデ致シマスコトハ、之ハ困難デハナカ

求メナケレバナラヌガ、海外ニ求メルト云フコトニナレバ、其物ハ成ベク安キ物デナケレバ硝子事業ノ發達ト云フモノハ圖リ得ナイ、サウシマスレバ、折角今旭硝子ガ七千噸バカリ製造致シテ居リマス所ノ事業ヲ阻碍スルト云フコトヲ慮ツテ居ラシヤルト云フコトニモ承ツテ居リマスガ、左様ニ致シマスレバ一方ヲ保護スル爲ニ千五百萬圓ノ販路ヲ有スル所ノ硝子輸出事業ニハ一頓挫ヲ與ヘナケレバナラヌ、是ニ於キマシテ今ヤツテ居ル戻税ヲバ、中ヲ檢メズシテ、之ニ依テヤルト云フ方法デ御取扱ニナラナケレバ、百斤ニ付テ八錢四厘ト云フモノハ、三百斤デ二十四錢デアリマスカラ、其包裝ヲ解イテ更ニ包裝スルト云フコトニスレバ、獎勵賃銀ガ二十四錢デハ上ラナイ、斯様ニ致シマスレバ結局名前ハ保護スルト云ウテ戻税ヲヤツテモ、事實ハ一錢一厘ノ戻税ヲモヤラヌト云フコトニナル、政府ハ何レニ重キヲ置クカ、我國デ出來ナイ曹達灰モ必要デアアルガ、ソレニ比ベマシテ此硝子ノ輸出事業ヲ保護スルコトガ宜イト思ハレルカ、ドウカト云フコトガ、審議スル上ニ重大ナル關係ガアルト思ヒマスカラ、此點ニ對シテ政府ト致シマシテハ、今申上ゲル如クニ簡便ナ方法、即チ何等ノ検査モセズシテ、サウシテ當業者ヲ信ジテ之ニ戻税ヲ與ヘルト云フ方法ハ御採ニナルノデアリマセウカ、出來ナイノデアリマセウカ、之ヲ承

求メナケレバナラヌガ、海外ニ求メルト云フコトニナレバ、其物ハ成ベク安キ物デナケレバ硝子事業ノ發達ト云フモノハ圖リ得ナイ、サウシマスレバ、折角今旭硝子ガ七千噸バカリ製造致シテ居リマス所ノ事業ヲ阻碍スルト云フコトヲ慮ツテ居ラシヤルト云フコトニモ承ツテ居リマスガ、左様ニ致シマスレバ一方ヲ保護スル爲ニ千五百萬圓ノ販路ヲ有スル所ノ硝子輸出事業ニハ一頓挫ヲ與ヘナケレバナラヌ、是ニ於キマシテ今ヤツテ居ル戻税ヲバ、中ヲ檢メズシテ、之ニ依テヤルト云フ方法デ御取扱ニナラナケレバ、百斤ニ付テ八錢四厘ト云フモノハ、三百斤デ二十四錢デアリマスカラ、其包裝ヲ解イテ更ニ包裝スルト云フコトニスレバ、獎勵賃銀ガ二十四錢デハ上ラナイ、斯様ニ致シマスレバ結局名前ハ保護スルト云ウテ戻税ヲヤツテモ、事實ハ一錢一厘ノ戻税ヲモヤラヌト云フコトニナル、政府ハ何レニ重キヲ置クカ、我國デ出來ナイ曹達灰モ必要デアアルガ、ソレニ比ベマシテ此硝子ノ輸出事業ヲ保護スルコトガ宜イト思ハレルカ、ドウカト云フコトガ、審議スル上ニ重大ナル關係ガアルト思ヒマスカラ、此點ニ對シテ政府ト致シマシテハ、今申上ゲル如クニ簡便ナ方法、即チ何等ノ検査モセズシテ、サウシテ當業者ヲ信ジテ之ニ戻税ヲ與ヘルト云フ方法ハ御採ニナルノデアリマセウカ、出來ナイノデアリマセウカ、之ヲ承

求メナケレバナラヌガ、海外ニ求メルト云フコトニナレバ、其物ハ成ベク安キ物デナケレバ硝子事業ノ發達ト云フモノハ圖リ得ナイ、サウシマスレバ、折角今旭硝子ガ七千噸バカリ製造致シテ居リマス所ノ事業ヲ阻碍スルト云フコトヲ慮ツテ居ラシヤルト云フコトニモ承ツテ居リマスガ、左様ニ致シマスレバ一方ヲ保護スル爲ニ千五百萬圓ノ販路ヲ有スル所ノ硝子輸出事業ニハ一頓挫ヲ與ヘナケレバナラヌ、是ニ於キマシテ今ヤツテ居ル戻税ヲバ、中ヲ檢メズシテ、之ニ依テヤルト云フ方法デ御取扱ニナラナケレバ、百斤ニ付テ八錢四厘ト云フモノハ、三百斤デ二十四錢デアリマスカラ、其包裝ヲ解イテ更ニ包裝スルト云フコトニスレバ、獎勵賃銀ガ二十四錢デハ上ラナイ、斯様ニ致シマスレバ結局名前ハ保護スルト云ウテ戻税ヲヤツテモ、事實ハ一錢一厘ノ戻税ヲモヤラヌト云フコトニナル、政府ハ何レニ重キヲ置クカ、我國デ出來ナイ曹達灰モ必要デアアルガ、ソレニ比ベマシテ此硝子ノ輸出事業ヲ保護スルコトガ宜イト思ハレルカ、ドウカト云フコトガ、審議スル上ニ重大ナル關係ガアルト思ヒマスカラ、此點ニ對シテ政府ト致シマシテハ、今申上ゲル如クニ簡便ナ方法、即チ何等ノ検査モセズシテ、サウシテ當業者ヲ信ジテ之ニ戻税ヲ與ヘルト云フ方法ハ御採ニナルノデアリマセウカ、出來ナイノデアリマセウカ、之ヲ承

ラウカト思ヒマス、併ナガラ今後ト雖モ出來ルダケ輕便ナ方法ニ付テハ、十分ニ攻究ヲ致シマシテ、前申上ゲマスル通り濫ニ流レマセヌ弊ガ生ジナイ程度ニ於キマシテ、出來ルダケ輕便ニ致スコトニ工夫致シテ、改善ヲ致シタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス

○加藤委員長 森君百七十四乃至百七十八、此二ツニ付テハ……

○森委員 百七十四ノ硝酸加里ニ付テ御尋致シマス、硝酸加里ハ我國ニ於キマシテハ、現在ニ於キマシテハ、我國ノ需要ノ七八割ヲ造ッテ居ルカト思ヒマス、仍テ之ヲ今少シク關稅保護ヲシテ、我國ニ於キマシテ軍需ノ獨立ノ上カラ致シマシテモ、此事業ヲ我國ニ輸入品ヲ仰ガズシテ獨立シ得ル御考ハアリマスカ、如何デアリマスカ

○平野商工技師 硝酸加里ハ内地ノ製造ガ容易ナモノデゴザイマスカラ、或ル時期ニ於テハ相當ニ自給自足ヲシタコトモゴザイマス、最近ニ於キマシテハ又輸入ガ始マリマシタ、輸入ト製造トガ半々ト云フヤウナ狀態ニナッテ居リマス、ソレ故ニ今回二圓三十五錢ノ稅ヲ一般藥品ト致シマシテ約七十錢バカリノ値上ニナリマス、ソレガ偶只今輸入シテ居リマスモノヲ、之ニ依リマシテ幾分デモ驅逐シテ、自給自足ガ出來ハセヌカト云フノデ、幾分保護ノ意味ヲ加ヘマシテ引上ゲタ次第デゴザイマス

○森委員 只今ノ硝酸加里ニ付キマシテハ、陸軍省ノ砲兵工廠ニ於キマシテ使用スル硝酸加里ハ内地品ニ依テ致ス、サウ云フ御考ハゴザイマスカドウデアリマス、其意味ハ歐洲戰亂等ニ於キマシテ、特ニ日本ノ硝酸加里事業ヲ獎勵致シマシタ關係カラ、内地ニ於テ自給自足ノ出來ルモノナラバ、民間ハ格別、政府ト致シマシテハ内地品ニ依ルコトガ當然デハナカラウカト思ヒマス、ソレハ品質ニ於キマシテモ、又生産ノ數量等ニ於キマシテモ、決シテ内地品ハ輸入品ニ優ルトモ劣ラナイ狀態ニ居リマス、今日ニ於キマシテ政府ノ御方針ト致シマシテハ、サウ云フ考ハアリマスカドウカラ御尋致シマス

○黒田政府委員 只今ノ御尋ハ内地ニ生産ガ出來ルナラバ、陸軍ノ方ニ於テ之ヲ使フコトヲ獎勵スルカドウカト云フ御質問ト思ヒマス、是ハ後刻陸軍ノ方ニ能ク話シマシテ、陸軍ノ當局ノ出席ヲ求メテ御答ヲ申上ゲルヤウニ致シマス、若クハ私ガ聞キマシテ答辯ヲ致シマス

○森委員 百七十六ノ鹽化加里、及硫酸加里、此鹽化加里ニ付テ御尋致シマス、鹽化加里ハ我國ニ於キマシテ約一萬噸ノ需要ガアル、所ガ外國カラノ輸入ガ杜絶サレマシタ歐洲戰後ノ當初ニ於テ、我國ノ加里工業ハ約二千噸ノ生産デアリマシタ所ヲ、一萬噸ニシナクレバナラスト云フコトデ、政府ノ御方針ト致シマシテ、染料其他藥品、輸入藥品ト共ニ日本染料會社若クハ東洋藥品會社ヲ當該者トシテ造ル此加里事業モ、内地ノ當業者ニ勸告ヲ致シマシタ其結果、内地ノ當業者ガ合同シテ戰後ニ於テ相當關稅其他ノ保護ヲナサルナラバ、内地ニ於テ一萬噸ノ生産ハ可能デアルト云フコトカラ、此歐洲戰亂當時ニ於ケル我國ノ加里工業ハ、獨立ノ自給自足ガ出來タノデゴザイマス、然ル所戰後此事業ガ外國ノ壓迫ニ依リマシテ、今日ノ所殆ド半休ノ狀態ニ居リマス、此加里ノ生産ハ日本ノ北海道ヲ初メ、内地各沿岸ニ於キマシテ、漁業者ガ唯一ノ副業トシテ此原料ノ海草ヲ採收シテ、幾十萬ノ人ニ依テ此事業ガ成立シテ居ルノデゴザイマス、デゴザイマスカラハ是ハ社會政策ノ上ニ於キマシテモ、又軍事上ノ關係カラ言ヒマシテモ、此事業ニ相當ノ保護ヲシテ、自給自足ノ途ヲ圖ルコトガ國策上有利デナイカ、此點ニ於キマスル政府ノ御考ヲ御尋致シマス

○矢部政府委員 鹽化加里ハ只今御話ノ如ク海草等カラ取レル、ソレヲ原料ト致シマシテ燐寸ノ原料ニナル所ノ「クロール」酸加里ヲ造ルコトニ進ンダ、其外ニ一方獨逸カラ鹽化加里ガ這入ッテ來マシテ、之ヲ原料トシテ「クロール」酸加里ヲ造ル、二ツノ方法ガ茲ニゴザイマス、其外ニ鹽化加里ハ肥料トシテ使ハレル、肥料トシテハ一般ニ無

稅トシテゴザイマス、成ベク安價ニ供給スルコトヲ要スル譯デアリマス「クロール」酸加里ノ原料ト致シマシテハ、餘程注意ヲ致サナケレバナラストデ「クロール」酸加里戰時中供給ガ無クナッタ時分ニ於キマシテ、日本ニ於キマシテハ鹽化加里ノ生産ガ起リ、漸クニシテ燐寸ノ製造ト云フコトガ持續シテ行キマシタヤウナコトデ、重要ナモノデアリマス、併ナガラ戰後外國カラノ輸入ガ段々這入ッテ來テ、業ヲ廢スル者ガ多ク、先程半休ト云フ御話デゴザイマシタガ「クロール」酸加里ノ製造ハ半休以上デアラウカト思ヒマス、私ノ承知シテ居ル範圍ニ於キマシテハ、今之ヲ製造ヲ助長スル爲ニ、鹽化加里ニ課稅致シマスコトニシマスレバ「クロール」酸加里ニ相當ノ課稅ヲ致シマシテ、其方ノ製造ヲ致サナケレバナラスト云フコトニナリマス、是ハ重要輸出品タル所ノ燐寸ノ製造ニ影響ガアリマスノデ、若シ之ニ課稅スルナラバ相當ノ影響ガアルト認メテ居リマス、御承知ノ如ク燐寸ノ輸出ナルモノハ、支那印度新嘉坡等各方面ニ輸出サレテ居リマシタガ、支那ニ於キマシテモ現在燐寸ノ製造ガ興リ、段々日本ノ販路ヲ蠶蝕サレテ來マシタ、加フルニ歐羅巴ノ方カラモ戰後續々トシテ東洋方面ニ勢力ヲ伸バシテ來タト云フ有様デ、燐寸ノ價ナルモノニ於テ競争ガ起キルヤウニナッテ來マシタ、「クロール」酸加里ニ課稅ヲ

致シマスレバ相當ノ影響ガアラウト考
ヘテ居ル次第アリマス

○森委員 只今百七十五番ノ鹽化加里
ト「クロール」酸加里ト併セテ御説明

デゴザイマシタガ、私モ併セテモウ一
應御尋ヲ致シタイト思ヒマス、鹽化加
里ト「クロール」酸加里モ是ハ御説ノ如
ク保護スルナラバ、兩方トモ保護シナ
ケレバナラスト思ッテ居ルノデゴザイ

マス、鹽化加里モ戰後ニ於キマシテハ
矢張黃燐、赤燐ノ如ク、非常ニ外國品ノ
壓迫ヲ受ケテ、殆ド今日デハ休止狀態
ニ陥ッテ居リマス、之ニハ數百萬圓ノ資

本ヲ當業者ガ投ジ、而シテ日本内地ノ
全生産ニ餘ルダケノ設備ガ今日尙現存
シテ居リマス、然ルトコロ外國品ニ於
キマシテハ、當時二十四五圓シマスル

モノヲ日本ニ生産アル間ハ十三圓若ク
ハ十五圓デ販賣セラレテ居リマシタ、
ソレガ爲ニ日本ノ當業者ハ殆ド休業廢

業ノ已ムナキニ至リマシタ、日本ノ當
業者ガ休止致シマスレバ直ニ「シンデ
ケート」ハ五割モ七割モ値上ヲ致シマ

シテ、サウシテ燐寸事業ニ非常ニ脅威
ヲ與ヘテ居リマス、只今御説ノ如ク
燐寸ハ重要輸出品デアルカラ保護シナ

ケレバナラスト、燐寸ニ影響ガアッテハナ
ラス、所ガ燐寸事業ニ對シテハ矢張内
地ノ鹽化加里及ビ黃赤燐事業ヲ自給自

ガ、餘リ長クナリマスノデ、後日尙ホ御
尋致シタイト思ヒマス、政府ニ於カレ
マシテモ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマ
ス

○加藤委員長 此程度デ休憩致シマシ
テ午後一時カラ再會致シマス
午後零時四分休憩

午後一時十九分開議

○加藤委員長 是カラ午前ニ引續キマ
シテ質問ヲ開始致シマス、太田信治郎
君、百九十三

○太田委員 私ハ醋酸石灰ニ要スル木
材乾餾事業ニ關係スルノデアリマス
ガ、此問題ハ我國ノ林業政策トシテ重

大ナ問題デアリマスカラ、此場合中止
致シマシテ、他ノ林業ニ關スル機會ニ
農林省當局ノ御出席ノ際ニ質問スルコ

トニ致シマスカラ、保留シテ此場合打
切リタイト思ヒマス、一點伺ヒタイノ
ハ百六十六ノ木精ハ粗木精デアルカ精

木精デアルカ此點ヲ……
○矢部政府委員 御尋ノ百九十六號ノ
木精ニハ、精粗トモ包含シテ居リマス

○永田委員 私ハ百九十五ノ「フォル
マリン」ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス、此
間或ル「フォルマリン」ヲ造ッテ居ル人

ヒマシタカラ、委シク話ヲシテ見マシ
タガ、從來染料、醫藥品ノ製造ト云フ意
味カラ、アノ獎勵法ニ依テ保護ヲ受ケ

テ居ッタノガ、ソレガ無クナッタ爲ニ、關
稅デ保護ヲ受ケルヨリ仕方ガナイト云
フ立場ニナッテ居ッタ、所ガ今度少シモ

補助ヲ受ケラレヌコトニナッタノデア
ルガ、他ノ方面ヲ見ルト、矢張斯ウ云フ
風ナ一ツノ會社ヲ見當ニシタト云フト

語弊ガアリマスガ、染料工業ト云フヤ
ウナ方面ニモ、「フォルマリン」ノ會社
ト同様ニ、其基礎ヲ鞏固ニシテ、工業ヲ

成立タセル爲ニ、同様ノ方法ヲ執ッテ
居ッテ、サウシテ補助金ヲヤルト云フコ
トヲ今年決メテ、又今度關稅ヲ上ゲル

ト云フ方針ヲ執ッテ居ル、然ルニ「フォ
ルマリン」ハ同ジ染料醫藥製造獎勵法
ニ依テ出來テ居ルニモ拘ラズ、是デ打

切ニナッテ、關稅モ全ク打切りダト云フ
ヤウナコトデハ、是ハ片手落ノヤウニ
思フト云フヤウナコトヲ申シテ居リマ

スガ、之ニ對シテ如何ナル御考ヲ持ッテ
居ラレマスカ、政府ノ御意嚮ヲ伺ッテ見
タイト思ヒマス

フト、養蠶地方デ使用サレル器具ニ使
フノガ主ナルモノデアリマスガ、其他
醸造場等ニモ使ハレマス、ソレデ、是等

ニ使フ「フォルマリン」ノ値ヲ上ゲルト
云フコトハ避ケナケレバナラスト、隨テ
今度ノ改正ニ付テモ五圓十錢ヲ据置キ

マシテモ、是ハ他ノ藥品ト較ベテ權衡
ヲ得テ居ルヤウニ見ラレルノデアリマ
ス、但シ事業其モノニ多少ノ困難ガ伴

フ所カラシテ、原料ノ方ニ於テ考ヘナ
ケレバナラスト、之ニ要スル木精ナルモ
ノハ内地カラモ供給サレ、外國殊ニ亞

米利加カラ多額ノ輸入ガアリマシテ、
之ニ依テ製造シテ居ル、若シ木精ニ重
稅ヲ加フルコトニ致シマシテ保護スル

事ニナルト、今ノ「フォルマリン」ノ事
業ト衝突スルト云フコトニナル、段々
研究ノ結果木精ナルモノハ内地ニ於テ

當分自給スルト云フコトハ相當困難デ
アル、寧ろ是ハ無稅ニシテ、「フォルマ
リン」ノ事業ヲ助ケル方ガ利益デアル

ト云フ所カラ致シテ、木精ヲ無稅ニ致
シマシタ、デ初ノ如ク「フォルマリン」
ノ稅率ト云フモノハ据置デアリマスケ

レドモ、原料ノ方ニ於テ多大ノ便利ヲ

得テ居ルト云フ譯デアリマスカラ、之

ニ對シテ「フォルマリン」事業ハ相當成

立ヲ見込デゴザイマス

○永田委員 只今矢部サンノ御説デス

ガ、當業者ノ言フ所ニ依ルト、寧ろ反對

デ、木精ヲ無稅ニスレバ「フォルマリン」

ヲ造ルニモ困ルト云フコトヲ言ッテ居

ル、此點ニ付テドウモ了解ガ出來ナイ
ノデアリマス、中ニ製法モムヅカシク
テ折角研究中デアアル、其内ニハ巧ク出
來ルダラウト云フヤウナ事ヲ言ッテ居
リマスガ、是等ノ點ハ私共ニハハツキ
リ分ラヌガ、唯能ク分ッテ居リマスノ
ハ、折角目下民間ノモノガ出來テ居ル、
ソレヲ今此産業ガ成立タヌヤウニナッ
テ來ルト、結局外國品トノ競争ガ盛ニ
ナッテ、直ニ「ダンピング」ヲヤラレル、
此方ニ多少品物ガアルト、先方デモ無
暗ニ引上ガ出來ナイカラ、ヤッテ來ルコ
トモ出來ナイガ、此方ノモノガ全部絶
滅シテ來ルト、今日ノ曹達工業ノヤウ
ニ、無暗ト高ク賣ラレル、高ク賣ラレテ
モ連モ喧嘩ハ出來ナイ、昨日森君デシ
タカ御話ガアッタ、燐ナドデモサウデア
アル、日本デ燐ガ出來ナイト向フカラ高
イモノヲ持ッテ來ル、此方ニ幾分デモア
レバソレト競争ノ爲ニ安ク賣ッテ居ル、
「フォルマリ」モ亦同ジ事ニ歸着スル
ダラウト思フ、ソレヲ強ヒテ申ス譯デ
ハナイガ、實際御研究ヲ願ッテ、「フォル
マリ」ノ製造ガ中絶シテシマハナイ
ヤウニ行ケルト云フ見込ガアレバ結構
デアリマスガ、實際會社ガ製造シテ居
ラヌノニ、ソレヲ保護シテ居ルト云フ
ヤウナ事ヲヤッテ居ルガ、是ハ折角補助
金ヲ與ヘテ補助シテ居タノデアアルカラ、
斯ウ云フコトナルト大分矛盾スルト思
ヒマス、ソレ等ニ對シテ決シテ政府ハ
此仕事ガ潰レナイ、「フォルマリ」會

社ノ考違ヒダ、斯ウ云フコトノ御確信
ガアレバ私共ハ安心シテ居リマスガ、
ドンナモノデアリマスガ、其點ヲ……
○矢部政府委員 此問題ハ元ト内務省
ノ所管ニ屬シテ、内務省ニ於テ取扱ッテ
居ルカラ、其事ニ精通サレテ居ル松尾
技師ガ此處ニ見エテ居ルカラ、能ク御
話申上ゲタ方ガ宜カラウト思ヒマス
ガ、如何デスカ
○加藤委員長 宜シウゴザイマス
○松尾内務技師 私カラ御答致シマス
ガ、昨日モ御答シタノデアリマスガ、私
共從來ノ經驗ニ依リマス、此「フォル
マリ」ノ工業ト云フモノハ、内地ニハ
相當困難デアアルノハ事實ナンデアリマ
ス、所ガ此「フォルマリ」ノ原料ト申
スト木材ダケデアリマス、其以外ニハ
水ト石炭デアリマスガ、木材ダケガ原
料デアリマス、此木材——製造サレマ
ス所ノ原料ノ木材ノ乾餾工業ト云フモ
ノガ、内地デ以テ戰爭中多少盛デアリマ
シタケレドモ、戰後殆ド此數年ト云フ
モノハ木材ノ產出ハナイト言ッテモ、宜
シイ位ニナッテ居ル、所ガ丁度醫藥品製
造獎勵法ガ提出サレタ當時、保護會社
ガ日本醋酸ニ合併スルト云フコトニ
決マリマシタガ、ソレデ從來獨立ノ會
社トシテ居リマシタ當時ヨリモ、醋酸
會社ト云フモノハ、他ノ會社ノ一工場
トナリマシテ、爲ニ一層營業其他ニ於
テ安ク上ッテ來ルト云フコトト吾々共
考ヘテ居ルノデアリマスガ、ソレデ從

來ノ經驗ニ徴シマシテ、此木材ノ關稅
ヲ引下ゲマシテ、無稅ニ致シマシタ、サ
ウ致シマススト云フト、先ヅ「フォルマリ
ン」ノ工業モ四圍ノ狀況ニ徴シテ變化
ノナイ限り、即チ大シタ儲カリモナク
又損モシナイ程度ノ利益ガ得ラレルト
云フ風ニ私共考ヘテ居リマス
○永田委員 専門家ノ意見ヲ伺ッテ仕
合セデゴザイマスガ、私共一向ハッキリ
シタコトハ分リマセヌ、只今大丈夫此
仕事ガ成立ッテ行クト云フ御話デアリ
マスガ、現在製造ニ從事シテ居ル東洋
藥品會社、今マデ補助サレタ會社ノ當
業者ニモ、只今ノ御意見ガ能ク徹底シ
テ居リマスカ如何デスカ、能ク其點モ
徹底スルヤウナ御話ヲ願ッテ置キタイ
ト思ヒマス
○岩切委員 木精ニ付テチヨット御尋
致シマスガ、營業者ノ話ニ依ルト、寧ロ
木精ハ其儘ニシテ無稅ニシテ貰ハヌ方
ガ宜イト云フ事デアリマスガ、是ハ實
際問題デスカラ吾々議論ハ出來マセヌ
ガ、若シ保護スルナラバ、モウ少シ御研
究願ッタラドウカト思ヒマス
○松尾内務技師 只今ノ御尋デゴザイ
マスガ、ソレハ東洋藥品デハ木精ハ造ッ
テ居リマセヌ、日本醋酸ノ方ハ從來木
材乾餾工業ヲ相當ヤル積リデ、現ニ工
場ヲ三ツ程造ッタノデス、所ガ日本ノ山
ト云フモノハ非常ニ嶮シイノデ、材木
ノ出マス所カラ工場ノアリマスル所マ
デ非常ナ山坂ヲ木材ヲ運搬シナケレム

ナラヌコトニナッテ居ルノデ、ドウシテ
モ高ク付ク、其爲ニ醋酸會社ノ方モ從
來ノ全能力ドロコデハナイ、ホンノ工
場ヲ維持スル程度シカヤッテ居リマセ
ヌ、大體醋酸會社ノ目的トスル所ハ醋
酸ノ製造ニ在ル、所デ此醋酸ノ製造ト
云フモノハ、木材乾餾ヲヤリマシテ醋
酸石灰ヲ取リマシテ、サウシテ其醋酸
石灰ヲ分解スルノデアリマスカラ、醋
酸石灰其物ノ原料モ取レルガ、木精モ
副產物トシテ取レルノデアリマス、私
共ノ承知シテ居ル所デハ、醋酸ノ關稅、
此輸入致シマシタ醋酸石灰ヲ使ヒマシ
テ、ソレデヤッテ見ヤウカト云フ風ナ氣
運ニモ承知シテ居リマス
○加藤委員長 太田君、百九十六
○太田委員 是ハ先刻ノ質問デ全部
分ッテ居リマス
○加藤委員長 松本慎平君ガ御出ニナ
リマセヌカラ、奥村君——居リマセヌ
カ
○森委員 私ノガアリマス
○加藤委員長 ソレデハ森君
○森委員 重「クローム」酸加里及重
「クローム」酸曹達、是ガ每百斤一圓八
十錢ガ五圓十錢ニ増率サレマシタ理由
ヲ伺ヒタイ
○矢部政府委員 一應私カラ成立チヲ
申シマシテ、詳シクハ商工省ノ當局ヨ
リ御願致シマスガ、重「クローム」酸加
里ハ元ト日本ニ製造ガナカッタノデア
ハマスガ、大正三年ニ初メテ此製造ガ

起リマシタ、戰爭中輸入ガ杜絶シタ爲ニ此事業ガ勃興致シマシテ、各所ニ起ッタノデアリマス、然ル所戰爭ガ終熄致シマシテカラ後、外國ノ安價ナル物ガ這入ッテ來ル爲ニ、何レモ困難ニ陥リマシテ、現在ニ於キマシテハ、或會社一ツテ除イテ他ハ皆ナ業ヲ廢止スルコトニナリマシタ、兎ニ角現在ニ於テハ製造ヲ小規模ニシテヤッテ居リマス、之ニ付キマシテ之ヲ保護スルヤ否ヤト云フ問題デアリマスガ、此改正案ニ掲ゲマシタ所ノ關稅ヲ以テ致シマスレバ成立ツト云フ見込ヲ得マシテ、本案ヲ立テタヤウナ次第デアリマス

○森委員 百七十八「ヨード」加里、「ヨード」曹達及百五十ノ「ヨード」之ヲ併セテ質問シタイト思ヒマス、此「ヨード」加里ハ大體今日我國ニ於キマシテハ我國ノ需要ヲ滿タシテ、大部分ハ輸出シテ居ルノデゴザイマス、ソレニ付キマシテ此從價ノ點ニ於キマシテハ、三割カ二割三分ニナリマシテ、我國ノ大體ニ於キマシテ製造サレテ居ル品物ハ、矢張之ヲ殊更變更シナクテモ宜イカノヤウニ思ヒマスガ、是ハサウ云フコトカラ年額カラ割出シテ御決定ニナッタノデアリマセウカ

○矢部政府委員 「ヨード」竝ニ「ヨード」關係ノ藥品ニ付キマシテ、稅率ノ成立チヲ御尋デゴザイマスガ、「ヨード」ハ昔カラ日本ニ於テ製造サレテ居リマス、所デ是ハ世界的ノ「トラスト」

ガゴザイマシテ、是ガ我國ノ「ヨード」ニ壓迫ヲ加ヘヤウト云フ傾ガゴザイマシテ、屢脅威ヲ受ケマシタ、然ル所此三割百五十五圓、三割百二十二圓、斯様ナ稅率ノ爲ニ今日マデ持續シテ參リマシタ、現在ノ所此稅率ヲ以テスレバ濟メルト思フテ据置致シマシタ、此從量稅ノ年額ヲ見マシテ据置クコトニ見込ヲ付ケマシタ

○森委員 私ノ質問スル事ハ大體分リマシタガ、最後ニ午前中質問致シマシタ所ノ「クローム」酸加里及合成金等ニ付キマシテハ無稅デアル、ドウ云フ理由カ燐寸工業者ノ反對ガアル、其聲ヲ以チマシテ無稅ニナッテ居ルト云フ御説明デアリマシタ、是ハ私共考ヘマスト、今日ノ我國ノ燐寸事業者ハ、我國ニ於キマシテ燐寸ヲ製造スル原料ノ鹽酸加里ト合成金トガ我國デ自給自足ヲサレルト云フコトハ、燐寸工業ノ基礎ヲ鞏固ニシ、而シテ此事業ノ健實ヲ發展ヲ圖ル所以デアアル、尙ホソレニ付キマシテ自給自足ノ方法トシテハ、此原料品ヲ内地ニ於テ自給自足ニスルヤウニスルニハ、相當ナ關稅保稅ヲスルコトガ有利デアアルト認メラレテ居ラルルカ、相當建議者ガ澤山ゴザイマス、此點ヲ政府ニ於カレマシテハ、我國ノ重要輸出品タル燐寸工業ニ付キマシテ、尙ホ十分ニ御考慮及御調査ヲ願ヒマシテ、此我國燐寸工業ノ獨立ヲ期スル意味ニ於キマシテ、相當改善ヲ圖ルコトヲ私

ハ希望致シテ置キマス
○加藤委員長 奧村君
○奧村委員 當局ニ御同致シタイトハ二百八號一、二トナッテ居リマス、其他ト云フモノニ付テ是ハ中間物ノヤウニ聞イテ居ルノデアリマスガ、政府ハドウ云フ御考デゴザイマセウカ
○宮内政府委員 其通りデゴザイマス、大部分中間物ト認メマス
○奧村委員 サウスルト此中間物ノ原料ハ稅番二百七ノ「ベンゾール」ハ矢張染料ノヤウニ工業者カラ聞イテ居リマスガ、サウスルト二百七番ニ對シテハ從價二割ノ稅率ガアッタノニ、今回無稅ニサレテ、サウシテ曩ニ私ガ質問致シマシタル二ノ其他ト云フモノニ對シテ三割五分ノ從價稅ヲ御置ニナッタ其理由ヲ承リタイ

○宮内政府委員 二百八ノ中間物ノ方ハ、染料工業自體ト申シテモ宜シイ位ノ是ハ染料工業ノ中樞ヲ爲シテ居ル事業デゴザイマス、ソレ故ニ相當高率ノ稅ヲ課シマシテ保護致シタイト云フ考デ、三割五分ヲ据置イタノデアリマス、二百七番ノ方ノモノハ「コークス」爐トカ、或ハ瓦斯事業等ノ副產物トシテ出マス原料デアリマス、サウ致シマシテ斯ウ云フモノニ付テハ、從來從價二割ノ稅率ト云フノハ是ハ偶然ノ結果デゴザイマシテ、殊更斯ウ云フモノニ對シテ從價二割ノ稅率デアッタノデハナイ、今マデサウ云フ稅目ガナカタノデ、雜

品トシテ取扱ハレタ爲ニ、從價二割ガ偶然掛カッテ居ッタ、ソレガ染料工業ヲ盛立テマスル上ニ於キマシテ、不合理ノコトト考ヘラレタ爲ニ、是ハ原料デゴザイマスカラ無稅ト致シタ次第デゴザイマス、唯其無稅ニスルコトニ依テ、是等ヲ内地ニ於テ生産スル事業ハ惡影響ヲ被ラナイモノト斯ウ云フ風ニ認メテ居リマス

○奧村委員 只今ノ御説明デ、略此點ニ付テ了解ヲシタノデアリマスルガ、工業者ノ話ニ依リマスルト云フト「ベンゾール」ノ如キモノヲ以テ色メノ合成法ヲ研究致サレマシテ、或染料ニ於テハ獨逸ヨリ進ンダモノガ出來テ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、御答辯ニ依レバ、其他ト云フモノハ染料ニ供シ得ル所ノモノデアルト仰シタルノデアリマスガ、當業者ハマダ其程度ノモノデナク「ベンゾール」カラ進ンダモノデ、尙ホ「ベンゾール」ト關係アルヤウニ言ハレルノデアリマスガ、貴方ノ御説デハ何カ異ナッタモノデアルト云フノデスカ、一寸御説明ヲ願ヒタイ

○平野商工技師 二百八番ノ「其ノ他」ニ這入ッテ居ルモノハ非常ニ澤山ゴザイマシテ、其中ニ低級品、高級品ト、階級ガゴザイマシテ、低級品ノ方ハ二百七番ノ方ニ僅カバカリ加工ヲシタモノモ含マレテ居リマス、併ナガラ其大部分ハサウ云フモノハ少イノデ、大部分ハソレヨリモズツ程度ノ進ンダモ

○奧村委員 只今ノ御説明デ、略此點ニ付テ了解ヲシタノデアリマスルガ、工業者ノ話ニ依リマスルト云フト「ベンゾール」ノ如キモノヲ以テ色メノ合成法ヲ研究致サレマシテ、或染料ニ於テハ獨逸ヨリ進ンダモノガ出來テ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、御答辯ニ依レバ、其他ト云フモノハ染料ニ供シ得ル所ノモノデアルト仰シタルノデアリマスガ、當業者ハマダ其程度ノモノデナク「ベンゾール」カラ進ンダモノデ、尙ホ「ベンゾール」ト關係アルヤウニ言ハレルノデアリマスガ、貴方ノ御説デハ何カ異ナッタモノデアルト云フノデスカ、一寸御説明ヲ願ヒタイ

○平野商工技師 二百八番ノ「其ノ他」ニ這入ッテ居ルモノハ非常ニ澤山ゴザイマシテ、其中ニ低級品、高級品ト、階級ガゴザイマシテ、低級品ノ方ハ二百七番ノ方ニ僅カバカリ加工ヲシタモノモ含マレテ居リマス、併ナガラ其大部分ハサウ云フモノハ少イノデ、大部分ハソレヨリモズツ程度ノ進ンダモ

ノデ、僅カモウ一階梯加ヘレバ直ニ染料ニナルト云フヤウナモノガ多イノデゴザイマス

○奥村委員 只今ノ御説明ニ依リマスト、モウ一階梯加ヘルト云フト、完全ナ染料ノ域ニ達スルト云フ御話デアリマスガ、ソレ程ニ色ミ種類ガ多イモノデアリマシタナラバ、之ヲ又尙ホ分割シテ課税ノ率ヲ色ミニ直スト云フヤウナ必要ハアルノカ、ナイノカソレヲ承リタイ

○平野商工技師 御説ノ通りデゴザイマス、ソレ故ニ此從價三割五分トナッテ居ル次第デゴザイマススケレドモ、之ニ付キマシテハ弊害ヲ認メテ居リマス、ソレ故ニ必要ニ應ジマシテ、將來段々分割シテ參リマシテ、サウシテ適當ナ税率ヲ盛リタイト考ヘテ居リマス、其第一トシテ之ヲ分ケタ次第デアリマ

○加藤委員長 森君、二百三十一番

○森委員 爆發藥ニ付テ御尋シタイト思ヒマス、殊ニ爆發藥ノ「ダイナマイト」ニ付テハ、此表ニ依リマスレバ百十萬七千圓ノ輸入ニナッテ居リマスガ、是ハ我國ニ於キマシテモ今日ハ工業ガ進步致シマシテ、歐洲戰亂次來内地ニ於キマシテ十分優良品ガ出來マスノデ、此事業ハ敢テ輸入品ニ俟タナイデモ相當保護スレバ自給自足ノ途ハ立ツト考ヘマス、ソレニ付キマシテハ關稅法ハ今回ノ改正率ニ依リマシテ、自給

自足ノ途ガ立ツダケニ十分デアルカ否ヤト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス

○矢部政府委員 只今御尋ノ二百三十一號第二項「ダイナマイト」ノ税率ハ現行每百斤六圓十錢デアリマス、是ガ十一圓ニ上リマス、是ハ百九十八號ノ「グリセリン」ノ税率引上ニ關係ヲ致シテ居ルノデゴザイマス「ダイナマイト」ハ元陸軍省ニ於キマシテ、製造ヲ致シマシテ、是ガ陸軍用ニ使ハレ、其他民間ニ拂下スルヤウニナッテ居リマス、所ガ別ニ此會社ガ出來マシテ山口縣ニ工場ヲ置イテ製造スルヤウニナリマシテ、相當ニ發達ヲ致シテ居ル、御承知デモゴザイマセウガ「ダイナマイト」ナルモノハ製造ノ時ヲ經ルニ從テ品質ヲ損スルト云フ缺陷ガ一ツゴザイマスノデ、ソレ等モ一ツノ有利ナ條件トナリマシテ、我國ノ民間ノ製造ハ洵ニ都合好ク運ンデ居リマス、今回「グリセリン」ノ税率ヲ引上ゲル必要カラシテ、其事ガ決定ヲサレマシタノデス、此「ダイナマイト」ハ「グリセリン」ヲ原料ト致シマスカラシテ、「グリセリン」ノ税率ヲ引上ゲマスレバソレダケ「ダイナマイト」ニ於テ増加ヲシナケレバナラヌ、而シテ此計算ニ於キマシテハ「グリセリン」ノ引上ノ税率ノ三分ノ一ヲ「ダイナマイト」ノ税率ニ加ヘマシタノデアリマス、ソレハ斯ウ云フ風ニ見テ居ルノデアリマス「ダイナマイト」ノ製造ナルモノハ現在ニ於テ相當發達シツツアリ、

將來ニ於テモ相當發達シテ行クベキヤメニ認メラレマス、若シ之ヲ引上ゲルナラバ、尙更ニ進步ヲ致スデアラウガ、是ハ鑛山業等ニ及ボス影響ガアルノデ、ソレ等ヲ考慮シテ行クト云フコトニ考ヘテ居ルノデアリマス、但シ原料ノ引上ダケハ計算ニ加ヘナケレバナラヌノデ「グリセリン」ノ引上税率ノ三分ノ一ニ加ヘマシタ次第デアリマス

○森委員 私ノ御尋シタイ所ハ百十萬圓ノ輸入ガ、内地ニ於キマシテモ今少シク保護稅ヲ附シマシタナラバ、却テ十分ニ目的ヲ達スルコトガ出來ルト云フ考カラ、此税率ヲ今少シク上ゲテハドウカ、就キマシテハ矢張軍需品トシテ必要デアアル、今日相當ノ準備ヲシテ置クコトガ國策上必要デナイカト云フ意味デ御尋シタノデアリマス、ドウゾモウ一遍下ノ程度ノ保護ヲセバ、内地デ自給スルコトガ出來ルカト云フコトヲ御尋シタイ

○平野商工技師 御尋ハ只今「ダイナマイト」ノ大分輸入ガアル、今少シク稅ヲ引上ゲテ此輸入ガ防遏出來ルダラウ、引上ゲル意思ハナイカト云フ質問ト心得マス、政府ニ於キマシテモ此點ハ十分ニ研究シマシタ、其研究ノ結果只今六圓十錢ノ稅ガ十一圓ニナリマスレバ、立派ナ「ダイナマイト」工業ガ引合ッテ、只今ノ輸入ガ漸次減ジテ行クト思ヒマス

○加藤委員長 第六類ノ質問ハ是デ終

了致シマシタ、第七類ニ移リマス、七類ノ二百四十二、飯塚春太郎君

○飯塚委員 二百四十二ハ人造藍デアリマスカラ、三ニ付テ質問シタイ

○加藤委員長 宜シウゴザイマス

○飯塚委員 前年五十議會ノトキニ染料工業ノコトデ希望ヲ述ベテ置キマシタ、染料工業ハ必要ナ工業デアリマスカラ、是非共是ハ或ル程度迄自給自足ヲシナケレバナラヌト云フコトハ能ク承知シテ居リマス爲ニ、ソレハ關稅ニ依リ或ハ製造會社ノ保護ニ依リ、現ニ今デハ輸入制限稅ニ依テ保護シテ居リマス、併シ保護ハシテ居リマスケレドモ、其間又一方ニ於キマシテハ、工業幼稚ノ爲ニ工業方面ニモ害ノナイヤウニ調和ヲシテ貰ヒタイ、今度ノ一般改正ニハ政府ハ其意ヲ含ンデ改正ヲスルト云フコトデアリマシタ、面シテ商工省ノ所管ニ於テ其意ヲ含ンデ改正シテアルト云フ御話デアリマスカラ、定メテ吾等ノ希望ガ達セラレテ居ルト思ヒマスカラ、其運用ノ方法ニ於テ分リマセヌカラ、一應聞キタイ、第一鹽基性染料、第二直接染料、色ミアリマス、每百斤百五十圓トカ、百七圓トカアリマスガ、是ハ詰リ價格カラ云フト、從價ニシマスト何割ノ保護ニナッテ居リマスカ承リタイ

○宮内政府委員 全體トシテ染料ノコトヲ申上ゲタ方ガ宜カラウト思ヒマスカラ、如何デアリマセウカ

○飯塚委員 染料ノ方針ヲ聞クノデア
リマス、大體ノ事ハ聞カヌデモ宜イ

○平野商工技師 此處ニ割出シマシタ
モノニ付テ何割ニ當ルカト云フ御質問
ト思ヒマス、是ハ今回ノ改正ニ於キマ
シテハ、本邦ノ染料工業ニ付テ保護ノ
必要アルモノヲ對象ト致シマシタ、凡
ソ大體ニ分ケマス二種ニナリマシ
テ、色々澤山需要ガアリマスモノト、需
要ノ餘リ澤山ナイ、併シ必要ナ染料ト
分ケルコトニ致シマス、日本ノ内地
ニ於テ是カラシテ保護シ製造サセヤウ
ト云フ染料ハ、自カラ需要ノ多イ方ノ
染料デナケレバナラヌト思ヒマス、需
要ノ少イ染料ハ、ソレヲ經濟的ニ製造
スルコトガ出來ヌノデアリマスカラ、
サウ云フモノヲ保護シタ所ガ製造ガ出
來ナイ、隨テ今回ノ改正ハ需要ノ多イ
モノヲ對象ト致シマシテ、ソレヲ全體
ニ於テ六十種選ミマシテ、其部類ヲ分
ケマシテ、其部類ニ入リマシタ染料ノ
平均價格ヲ取テ見タ、其取方ハ最モ安
イ生産費ニ近イト思ハル所ノ獨逸ニ
於キマスル一番安イ價格——獨逸ガ各
國ニ賣出シマシタ價格ノ中最モ安イ價
格ヲ標準ト致シマシテ、其價格ノ三割
五分ト云フモノヲ其價格ニ乗ジマシ
テ、其平均ヲ取リマシタ譯デアリマス、
隨テ此處ニ掲ゲラレテアリマス數字
ハ、其種類ノ平均價格ノ三割五分ト云
フ風ニ御承知ヲ願ヒマス

ト、或ルモノハ二十七割ニ當ル、或ルモ
ノハ三十割ニ當ル、十五割ニ當ル、三割
五分ト云フコトデアリマスカラ、其處
ニ疑ガアツテ質問ガ起ルノデアリマス、
二十七割ニ當ルコトニナルト、ソコデ何處
ニモ間違ガアルト思ヒマス、サウシマ
スト染料ハ千種萬別デアリマスカラ、
鹽基性染料デモ高イモノ安イモノガア
リマセウカラ、其平均ヲ取ルコトハム
ツカシイト思ヒマスガ、貴方ノ言フ三
割五分ハ日本デ保護スベキモノ、出來
テ居ルモノ、將ニ出來ントスルモノガ
六十種アル、其中デ鹽基性染料ト云フ
モノデ、日本デ出來テ居ルモノガ假ニ
二十種アルナラバ、其二十種ノ平均相場
ヲ取ツテ、ソレニ三割五分ヲ掛ケテ百五
十五圓トナリ、矢張同ジ方法デ百七圓
トナルト斯ウ解釋シテ差支ナイ譯デス
ネ、ソレナラ平均ヲ取ツタ所ノ基準ガ分
リマスカラ、ソレハソレデ宜シウゴザ
イマス、サウ致シマス、現在鹽基性染
料ナラ鹽基性染料、直接染料、酸性染料
ト云フモノデ日本デ出來テ居ルモノ、
又拵ヘテ居ルモノガ何デアルカト云フ
コトヲ先ヅ指示シテ戴カナイト、一寸
分リマセウカラ、ソレヲ示シテ戴キタ
イ、鹽基性染料デハ、日本ニ於テハドレ
ガ出來ルトカ、直接染料デハドレガ出
來ル、其中デドレデ平均ヲ取ツカト云
フモノノ表ヲ出シテ戴キタイト思
フ

○飯塚委員 サウシテ其染料ハ政府デ
見タ所ノ品物ハ、ドウ云フモノデア
ルカ、一番安イ品物ト仰シヤルガ、例ヘバ
品物ヲ一番高イ物ヲ標準ニシタノト、
一番安イ物ヲ標準ニシタノトデハ大分
違ヒマスシ、又質ニ付テモ「バーセンテ
ー」ガ百ノモノヲ標準ニシタノト「バ
ーセンテー」ガ二百ノモノヲ標準ト
シテ割出シタノトデハ、大變値ガ違フ、
例ヘバ當業者ノ方デハ普通ノモノト考
ヘテ居ッテモ、政府デハ三割五分ト云フ
呼聲ヲ非常ニ安クスルガ爲ニ、非常ニ
良イ物ヲ選ンデ三割五分ヲ掛ケルコト
トナル、又質モ違ヒマスカラ、其質モド
レダケノモノカト云フコトヲ、同時ニ
御示ニナラヌト、當業者ノ考ガ違フト
思フ、日本ノ當業者ハ——染料ヲ使フ
者ハ、假ニ百ノモノヲ以テ基準トスル
ノニ、政府デハ三百ノモノヲ以テスル
ナラバ、丁度三割五分ト云フモノガ、十
割何分ニ當ルコトニナルノデスカラ、
ドノ質ノモノデアルト云フコトモ知ラ
シテ戴キタイト思ヒマスガ、只今仰シ
ヤル通り、世界ニ於テ一番安ク致シタ
モノデアルト云フ御話ハ、一番安イト
云フ意味デスカ、ドウ云フ意味デスカ、
一番世界ニ於テ安イ物ヲ標準ニシタト
云フト、非常ニ是ハ税金ガ安イ譯ニナ
リマスガ、其安イト云フノハドウ云フ
譯デスカ

○平野商工技師 初ノ方ノ御問ニ御答
ヲ致シマス、安イト先程申上ゲマシタ
意味ハ、矢張同ジ品物ニ付キマシテデ
アリマス、ソレヲ獨逸ガ色々ノ國ヘ輸
出ヲ致シ、又國內ニモ賣リマス、其中デ
以テ最モ安イト云フ意味デゴザイマ
ス、別ニ品物ガ惡イトカ、サウ云フ譯デ
ハゴザイマセヌ、同一品物ニ付テデス、
ソレカラ從量稅ト致シタ順序トシテ、
ドウ云フ品質ノ物ヲ選ンダカト云フ御
尋デゴザイマスガ、是ハ從價稅ノ場合
ニ於キマシテハ、其價格ニ對シテ稅ガ
盛ラレル譯デアリマスカラシテ、如何
ナル品種ノ物ヲ盛ッテモ差支ナイノデ
ス、其前ニ一寸御斷リ申上ゲテ置キマ
スガ、一口ニ染料ト申スノハ、又其中ニ
色々ナ名前ガゴザイマスケレドモ、其
同一ノ名前ヲ持ッテ居ル染料ニ於キマ
シテモ、非常ニソレガ現ハレテ居リマ
スモノハ色々値段ガ違フノデス、ソレ
ハ染料ノ濃度ノ差異ニ依リマス、即チ
最モ純粹ナル染料ハ最モ高ク、ソレニ
色々混ゼ物ノ多イ少イニ依リマシテ其
値段ガ違ッテ來ル、然ラバ其混物ゼラ
ルト云フコトハ何モ染料ノ品質ガ惡イ
ト云フ意味デハ少シモナイノデアリマ
ス、ソレハ染料ガ餘リ濃イ場合ニハ、染
色ニ當リマシテ非常ニ不便ガ多イノデ
アリマス、其結果ト致シマシテ、實用的
ノ染料ト致シマシテハ、多少共色々ノ
物ヲ混ゼテ居リマス、其方ガ却テ染色
シ易イノデゴザイマスカラ、必ズシモ

混ゼ物が多イト云フコトガ、其品質ガ低下シテ居ルト云フ意味デハ少シモナイノデアリマス、サウ云フ風ニ色ニ品質ガ市場ニ現ハレテ居ルノデアリマス、所ガ是ガ從量税ニナレバ、或ル種類ノ物——百五十五圓ナラ百五十五圓カラ

詰リ濃イ物ナノデゴザイマスカラシテ、百「バーセント」ノモノ、少シモ混リツ氣ノナイモノヲ標準トシナケレバナラヌノデゴザイマスケレドモ、サウ云フモノガ實際市場ニ現ハレテ居ル場合ハ少イノデゴザイマス

セント」ニ最モ近イモノト認メラレモノヲ取リマス
○飯塚委員 サウスルト是ハ從來輸入セラレタモノヨリ高イモノ、「バーセント」ガ多イカラ高イノデ、サウシテ單位ガ高イモノデアルカラ從來市中ノモノハ非常ニ安イカラ、二十何割ト考ヘマスガ「元ガ安イカラ三割五分トナツタト、當業者モ了解スルデアラウト思フ、ソレカラ其價格ハ染料ハ始終上下シテ居リマスガ、何時ノ價格ヲ取ツタモデアリマス

トハ、餘程價格ヲ盛ルトキニ研究シナケレバ違フト思フ、獨逸デモ何デモ身上ヲシマツテ金ノ代リニ品物ヲ渡スト云フトキニハ、惡イ物モ此儘取ツテ吳レト云フコトモアルシ、取ル者モ取ラヌヨリハ宜イカラ、百兩ノカタニ網笠ト云フヤウナコトモアルカラ、九十「バーセント」ト云フモノガ七十「バーセント」デアルガ、マア此値段デ取ラウト云フコトモアルカラ、ソレガ一番宜イト云フコトハチヨット疑問ガアリマスガ、日本ヘチャント寄越ストキニハ百「バーセント」ガ出來ルカラ拵ヘテモ宜イガ、サウ云フヤウナ場合ニハ八十「バーセント」ノモノヲ入レテヤッタ方ガ利益デアルカラ、八十「バーセント」ノモノヲ入レテ、普通ノ商品トシテ取ツテ吳レト云フコトハ何處デモ同ジデアル、取ル人モソレヲ認メテ取ルダラウト思フ、サウスルト此盛出シガ、大變違ヒマスガ、貴方ノ方デ百「バーセント」トシタモノガ若シ七十「バーセント」デアルト云フコトデアリマス、三割五分デ「コールド」工業ガ保護出來ルト認メタモノガ三割五分デハ出來ナイト云フコトニナリマスガ、其邊ハ「バーセント」ヲ確メテ値ヲ決メタモノデアリマスカ、是ハ價格ト同時ニ「バーセント」マデ研究シテ決メタノデアリマスカ

税ガ掛カルト云フコトニナリマスレバ、之ヲ輸入スル場合ニ當リマシテ、其濃度ノ薄イモノ、詰リ混ゼ物ノ多イモノハ持ツテ來ナクナル、詰リ値段ノ安イモノヲ掛ツテ參リマスレバ、ソレニ同一ノ税ヲ負擔致スコトニナリマスカラ、サウ云フモノハ必ズ持ツテ來ナクナル、ソレデハ只今ノ税ノ改正以前——現行前ニ設ケラレマス以前ノ税、詰リ消費税等ノ税ハ從量税デアリマシタ爲ニ、矢張其當時輸入セラレタモノハ、皆濃イモノヲ持ツテ參リマシテ、ソレヲ此方デ以テ色ニソレニ混ゼ物ヲ致シマシテ、サウシテ賣出シテ居タト云フ事實ガ之ヲ證明致シテ居リマス、隨ヒマシテ今回ノ改正ニ依リマシテ、是ガ從量税ニナリマスレバ、只今マデ輸入セラレタモノト、今後輸入セラレルモノトハ品質ガ異ツテ參リマス、即チ最モ濃イ物ガ輸入セラレルト云フ結果ニナリマス、隨ヒマシテ今度ノ此税率ヲ決メルニ付キマシテモ、最モ濃イ物ヲ選ビマシタ、モット理論的ニ申シマス、本當ハ此染料ハ百「バーセント」、即チ少シモ混リツ氣ノナイ所ノモノヲ以テ標準トシナケレバナナイ譯デゴザイマス、ソレガ

○飯塚委員 サウ云フヤウナコトデナク、私ハ百五十五圓ト割出シタノハ何處カラ平均ヲ取ツタカト云フコトガ分リマシタ、ソレナラバ何「バーセント」ノ物ヲ持ツテ居ルト云フコトニナラナケレバナラヌ、其混ゼ物ハ色ハ著カヌケレドモ品質モ違ヒマセウ、混ゼ物ガ安クナリマスカラ百「バーセント」ノモノデアルトカ八十「バーセント」ノモノデアルトカ云フコトデ、其價格ガ從量税デ、然ルベク此百五十五圓ヲ割出シタ所ノモノハ、日本ニ在ル所ノ六十種ノ中ノ物ヲ選ンデ平均シタノデアルト云フ範圍ガ分リマシタカラ、今度他ノ方デ何「バーセント」ノモノヲシタト云フノデナイト、高イ安イト云フコトガ分ラナイカラ、何「バーセント」位ノモノデアルカタ云フコトデ宜シイカラ、ソレヲ知ラシテ戴キタイ

○平野商工技師 御答致シマス、大體ニ於テ最モ濃厚ノモノ、或ル範圍ニ於テ百「バーセント」ノモノガゴザイマスカ場合ニハ、百「バーセント」ノ物ヲ取リマス、ソレガ能ク分ラナイヤウナ場合ニ於テハ、是ハ分量ノ下ニ於キマシテ最モ濃厚ノモノナリト、即チ百「バーセント」ニ最モ近イモノト認メラレモノヲ取リマス
○飯塚委員 サウスルト價格ハ賠償價格ヲ取ツタ見テ宜イノデスナ、高イカ安イカ分ラヌガ、列國デ皆ガ認メタモノデアルカラ、ソレヲ取ツタ、從來ノ沖着値段ト云フヤウナコトデナク、一番ソレガ適當ノモノト見タ、是モ宜カラウト思ヒマスガ、ソレハソレト致シマシテ、從來ノ政府ノ説明ト違ツタ特殊ノモノデアルナラバ宜イガ、此品質ガ百「バーセント」カ九十「バーセント」カ知ラヌガ、「一番良イモノデアルト云フコ

○平野商工技師 此標準トナリマス價格ヲ、賠償委員會發行ノ獨逸ノ價格ニ

求メマシタト云フコトハ、全クソレニ據ルコトガ最モ正確ニ近イト認メマシタカラ據ッタノデ、決シテソレバカリヲ頼リトシテヤッタノデハゴザイマセヌ、日本ノ市價モ昨年ノ暮アタリガ最モ安イ狀態デアリマシタガ、之ヲ能ク睨ミマシテ、賠償委員會ノ値段ト、同一品質ニ付キマシテ、内地ニ於ケル實際ニ取引サレテ居リマス市價ト兩方睨ミ合ヒマシテ、信賴スベキモノデアルト認メテ便宜ノ爲ニ採ッタ次第デアリマシテ、ソレバカリニ依タト云フ譯デハ決シテゴザイマセヌ、ソレハ後程刷物ヲ差上ゲマスレバ明カデアリマス

○飯塚委員 此問題ハ詰ラヌヤウデアリマスケレドモ、是ガ當業者ノ承服シナイ點デアラウト思ヒマス、例ヘバ同ジ「バイオレット」デモ八十「パーセント」ト百「パーセント」デハ市價ガ違フカラ、市價ヲ見ルトキニハ品位ト云ヒマスカ「パーセント」ジ「カラチヤント押ヘナケレバ本當ノ價ガ出マセヌカラ、市價ガ安イ高イト云フガ、日本ニ來ルモノハ非常ニ混物ヲシテ來ルカモ知レナイ、支那向ノ物ハモット混ゼ物ガシテアルカモ知レナイ、從價稅デ日本ニ來ルトキニハ半分餛飩粉ガ這入ッテ來ルト云フヤウナモノモアルカラ、到低之ヲ標準ニスルコトハ出來ナイ、ソレデアルカラ三割五分デ日本ノ「コールター」工業ガ果シテ保護出來ルカ否ヤト云フコトヲ見ルニハ、餘程其品位即

チ「パーセント」ジニ付テ研究シナケレバナラスト思フ、故ニ之ヲ決メタ「パーセント」ジハ何「パーセント」デヤッタカ、専門家デアレバ分ランケレバナラス、即チ賠償委員會デ決メタ値段ト「パーセント」ハドノ位ノモノデアリ、而モソレハ普通ヨリモ安イ値段デアッタカ高イ値段デアッタカ調ベナイト、若シ高イ値段デアレバ三割五分ハ非常ニ高イガ、安イ値段ヲ見込シタナラバ三割五分ハ餘リ高クナイト云フコトニナリマスカラ、此標準ヲ取ルトキニハ調ベナケレバナラスト思フノデ承ッタノデアリマスガ「パーセント」ジモ後デ御調ベヲ願ッテモ宜カラウト思ヒマス、ソレカラ「パーセント」ジノ一番良イモノヲシタト云フコトデアルナラバ、三割五分デ日本ノ「コールター」工業、染料工業ノ今出來テ居ル工業ガ果シテ維持出來ルカ出來ナイカ、日本ノ染料會社デ今出來ル所ノ平均價格、前申シタ通り工場ヲ出ルマデノ價格ガ凡ソドレ位デ出來テ居ルカ、是モ高低ガアッテハイカヌ、日本ニ出來ル染料ト、標準ニシタ染料ト同ジ品位、同ジ「パーセント」ジノモノデナケレバナラス、之ニ三割五分ヲ掛ケレバ果シテ安全デアルカ否ヤト云フコトハ、此方ノ工場カラ出ル所ノ値段ガ果シテ幾ラデアルカ、ソレヲ能ク御調ヲ願ヒタイ、其見積ッタ所ノモノト、工場ヲ出ル所ノモノトノ間ガ、日本品ニ咄嗟ニ三割五分掛ケルナラ

バ、丁度一バイニナルト云フ計算デアルナラバ、此三割五分ヲ掛ケタモノ、百五十五圓ト云フモノガ相當デアルト云フコトヲ承服スル譯デアル、此三割五分ニ付テ説明ヲ願ヒタイ、此百五十五圓ガ相當デアルカ否ヤ分ラナイ、政府デ三割五分ト云ヘバ「コールター」工業ヲ保護スルニハ三割五分デ保護ガ出來ルト云フコトハ誰モ異論ハナイ、所ガ二割七分ニ當ルノ十割ニ當ルノト云フカラ、高イト云フコトニナル、故ニ三割五分ニスルノハ斯ウ云フ譯デアアル、三割五分ヲ掛ケレバ相當デアルト云フ計算ヲ示シテ頂キタイト思ヒマス、是ハ書面デ宜シイ、一類カラ七類マデノモノヲサウ願ヒタイ、是ハ出來マセウト思ヒマス、是ハ關稅ニ依テ保護サレル所ノモノデアアル、此他ノ實際ニ於テ當業者ガ非常ニ困ッテ居ルノハ輸入制限取締法デアリマス、私ナドノ考デハ制限ト云フモノハ非常ニ弊ガアッテムズカシイ、若モ三割五分デ保護出來ルガ、現ニ亞米利加ノ如キハ六割何ボデナケレバ出來ヌ、三割五分デ保護ヲシテ居ルト云フコトハナイ位デスカラ、非常ニ薄イト思ヒマス、若シ「コールター」工業ヲ政府ガ保護シナケレバナラヌコトカラ考ヘレバ、三割ガ四割ニナッテモ仕方ガナイト私共ハ考ヘテ居ル、故ニ若モ少シノ關稅ヲ上ゲテ保護ガ出來ルナラバ、輸入制限ト云フモノハ撤廢シナケレバナラスト思ヒマス、殊ニ制

限令ト云フモノハ現ニ獨逸ニ對シテハ出來ナイ位デアアル、弊モアルト云フノニ制限令ヲ取ラナケレバナラスト云フ必要ハ何所ニアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイ

○宮内政府委員 只今輸入制限令ニ付テノ御尋デアリマス、獨逸ニ對シテ現ニ輸入制限令ヲ以チマシテ、我國ニ於テ出來テ居リマス重要染料及ビ其代用品ニ付テ輸入制限令ヲ以テ之ニ臨ンデ居ルノデアリマス、何故ニ之ガ必要デアルカト云フ御尋デゴザイマスガ、獨逸ニ於テ多年ノ間研究ヲ經マシテ、サウシテ安ク染料ガ出來テ居ルノデゴザイマスガ、當リ前ノ關稅ヲ以テ所謂保護關稅ヲ以チマシテ、サウシテ我が重要染料ノ出來テ居ル品種ヲ保護スルコトハ逆モ出來ナイノデアリマス、ト申シマスノハ、非常ニ安ク持ッテ來ル、安ク持ッテ來ルト云フコトハ、ソレガ「ダンピング」ヲ以テスルト云フヤウナコトデアレバ「ダンピング」ノ法律ヲ以テ之ニ臨ムノデアリマスケレドモガ、併ナガラ直ニ以テ「ダンピング」ト斷定スルコトガ出來ナイデアリマス、而シテ獨逸ニ於テハ我國ニ於テ出來テ居ル所ノ染料ニ付テノ一種二品種ト云フコトヲ、例ヘバ狙ヒ打ニシテ、サウシテソレニ對シテ競争ヲ試ミテ來ル、而シテソレガ不當廉賣ニナラスト云フ場合ニ於テ、通常ノ保護關稅ヲ以テ臨ムコトハ色々考ヘテ見マシタ所ガ到底出來ナ

イノデアリマス、デアリマスカラ致方
ガナイノデ、輸入制限令ヲ以テ之ニ臨
ンデ居ル次第デゴザイマス

○飯塚委員 多分サウ云フ意味ダト思
ヒマス、ソコデ此「ダンピング」ト云フ

コトニ付テ質問ヲ致シマシタガ、「ダン
ピング」ト云フモノハ斯ウ云フモノダ
ト云フ御話ガアリマシタガ、若モ向フ
ノ人ガ日本ノ出来テ居ル工業ヲ打崩ス
爲ニ、何カ安イ物ヲ入レルト云フナラ
バ、之ニ對シテ「ダンピング」デ之ヲ取
締ル、「ダンピング」デ取締ガ出来ナイ
モノナラ仕方ガナイケレドモ、不當廉
賣ヲ取締ルコトガ出来ルト云フナラ
バ、ソレデ取締ルコトガ出来ナイ筈ハ
ナイト思ヒマスガ、不當廉賣取締ト云
フコトハ、ムヅカシイコトデ、到底出来
ナイカラ、仕方ガナイト云フコトデア
リマスガ、其所ノ所ヲ今一應不當廉賣
デ取締レナイト云フコトノ御話ヲ願ヒ
タイ、不當廉賣ハ是バカリデハナイ、外
ノ品デモ是デ取締ルコトガ出来ナイノ
デアルカ

ハ特殊ナコトデアリマスケレドモガ、
左様ナ事情モアルノデアリマシテ、ド
ウモ不當廉賣ヲ以テ直ニ臨ムト云フコ
トハ中ニ困難デアリマス、後ニナッテ見
マシタラ能ク分ルト存ジマスケドモ、

直ニソレヲ以テ臨ムト云フコトハ非常
ニ困難ナ場合ガ多クアルノデアリマ
ス、ドウシテモ制限令ヲ以チマセヌト
實際効果ガナイノデアリマス 後ニナ
テ分リマシタ所デ、我國ノ染料工業ノ
基礎ガ侵害サレルト云フコトニナッテ
参リマスルト、時既ニ遅イノデアリマ
ス、我國デ折角獎勵致シテ居ル重要染
料ノ基礎ヲ動カサレルノデアリマスカ
ラ、ドウシテモ制限令ハ我國ノ工業ガ
發達致シマス間ト云フモノハ、必要缺
クベカラザルモノト信ジテ居ルノデア
リマス

デアリマセウカ、總テノ日本ニ出来テ
ナイ所ノモノ、正ニ保護シャウトスル
所ノモノ以外ノ染料ヲ入レルニ付テ、
何等之ヲ制限スル必要ハナイト考ヘマ
スガ、果シテ其趣意デアリマスカ

○宮内政府委員 全ク御尋ノ通りデア
リマス、併ナガラ日本ニ出来テ居リマ
セヌモノデゴザイマシテモ、日本ニ出
來テ居リマス染料ニ代用サレルモノデ
アリマシテ、サウシテ我國ニ於テ重要
ナリトシテ之ヲ保護シテ居ル染料ヲ保
護スル必要カラ、或ル場合ニ於テ其代
用品ニ付テ制限ヲスル、ソレト全ク同
ジ趣意デアリマシテ、出来テ居ルモノ
ヲ保護セントスル趣意ニ出テ居ルノデ
アリマス

依テ染料ガ上ッテ居ルニ相違ナイト思
フ、是バ宜シイト致シマシテ、唯鹽基性
染料、直接染料ヲ内地人ノ使フニ付テ
ハ「コールド」工業ノ爲ニ消費者ハ我
慢ヲシナケレバナラヌト云フコトハ、

是ハ當然デアアルカ知リマセヌガ、併ナ
ガラ、一方ニ輸出織物ニ付テモ使用シ
マスガ、此輸出織物ニ使フモノハ至テ
數量ハ少イダラウト思フケレドモ、其
品物ガ餘リ高イト輸出ノ販路ヲ妨ゲマ
スカラ、之ヲ高クスルト云フコトハ出
來ナイト思フ、恐ラク輸出ニ使フ染料
ハ、割戻トカ何トカ云フコトニナルカ
知レマセヌガ、併シ此染料ノ戻税ニ付
テハムツカシイコトト思ヒマス、尤モ日
本デハ拵ヘルコトノ出来ナイモノモア
リマスガ、斯ウ云フモノハ關稅ヲ高ク
シテ置イテモ、内地デ拵ヘルコトモシ
ナイノデアリマスカラ、是ハ保護スル
必要ハナイカラ、之ニ付テハ寧ロ關稅
ヲ高クスル必要ハナイ、是ハ成ベク關
稅ヲ低減シテ置ク方ガ内地デ使フニ付
テハ何等差支ナイ、六十種ノ染料ヲ保
護スルコトニナレバ、其以外ノモノニ
付テハ日本デハ保護シテモ出来ナイノ
デアアルカラ、出来ナイモノヲ保護スル
ト云フコトハ害アッテ一利ナイヤウナ
モノデアアルカラ、之ヲ保護スル必要ハ
ナイ、況ヤ或ルモノニ付テハ、輸出貿易
ニ付テ非常ニ必要ナモノガアル、例ヘ
バ日本ノ趣味ハ黒イヤウナモノガ趣味
デアアルガ併シ南洋其他ニ行クト「ライ

トカラー」デ趣味ガ違ヒマスカラ、日本人デハ好カナイヤウナ色デ、而モ外國輸出貿易ニ必要ナ色ガアリマス、斯ウ云フヤウナモノハ成ベク税金ヲ安クスト云フ方法ヲ立テナケレバナラヌト云フヤウニ思フノデアリマスガ、ソレニ付テハドウ云フ御考デアリマスカ

○平野商工技師 御質問ノ點ハ實ニ御尤デアリマス、内地デ保護シテモ發達スル見込ノナイヤウナ染料ニ付テハ極端ニ言ヘバ稅ヲ撤廢シテモ宜シイト云フコトニナルノデアリマス、ソレガ爲ニ少シモ影響ガナイモノナレバ、殊ニ輸出ニ使ハレルヤウナモノニ付テハ全ク御同感デアリマス、併ナガラ染料ノ種類ハ非常ニ複雑シテ居リマスルガ爲ニ、日本デ保護シタイト思ヒマス品種ト、ソレカラ外國カラシテ輸入スル品種トノ間ニ劃然タル區別ヲ置クト云フコトハ、實際上困難デアリマス、ソコデ實際ニ於テ、御趣意アル所ニ副ヒタイト云フ考ヲ以チマシテ、今回ノ關稅モ、從量稅ニ直ス場合ニ於テモ、ソレヲ加味シタ積リデアリマス、ソレハドウ云フ譯カト云ヒマスルト、日本デ拵ヘサセタイ、詰リ保護シタイト思ヒマス染料ハ需要ノ多イモノガアリマス、需要ノ多イモノデアリマスカラ、大量生産ガ出來ル、隨ヒマシテ其物ハ生産費ガ安イ、サウ云フ關係モアリマスルシ、ソレカラシテ偶然ト云フ譯デハアリマセヌガ、今廣ク行ハレテ居リマス染料、普

通ニ使ハレマス染料ノ方ハ、製造工程ノ上カラ申シマシテモ、多クハ技術的ニ困難ガ少イノデアリマス、永年ヤツテ來タ關係モアリマスルシ、大量生産ト云フ關係、技術上熟練シタト云フ關係、色々ノ關係カラシテ、技術上比較的容易デアアル、之ニ反シテ輸入必要トスルヤウナ、需要ノ少イ染料ニ付テハ、世界的ニ同一ノ事情ニナッテ居ル爲ニ、獨逸ニ於ケル生産モ矢張少イノデアリマス、隨テ其生産費ガ高イノデアリマス、ソレト技術上非常ニ困難ナルモノガ多イノデアリマス、大體ニ於テサウ云フコトニナッテ居リマス、隨ヒマシテ日本デ出來ナイ、輸入ヲ必要トスルヤウナ染料ハ、多クノ場合ニ於テハ、保護シヤウト思フ染料ヨリモ値段ガ高イノデアリマス、ソレデ今回ノ此從量稅ニ於テハ、サウ云フ値段ノ高イモノヲ標準トシマセヌ爲ニ、茲ニ盛ラレタ稅率ト云フモノハ、サウ云フ値段ノ高イモノニ對シテハ大分率ガ低イノデアリマ

ス 普通品ニ三割五分デアリマスカラ、高級品ニ對シテハ二割以下一割何分ト云フヤウナコトニナッテ居リマス、隨ヒマシテ理想カラ言ヘバ無稅ニシテモ宜カラウト思ヒマスガ、ソレマデニシナクテモ、斯ウ云フ風ニ率ガ下リマス爲ニ、大體ニ於テハ御希望ニ副ッテ居ルノデ、即チ日本ノ染色工業ノ爲ニ大分便宜ガ圖ラレテ居ルヤウニ考ヘテ居リマス、ソレカラ輸出品ニ使ハレルヤウナ染料ニ付テハ特ニ考慮ヲ拂ッテ之ニ支障ノナイヤウニ努メテ居リマス

○飯塚委員 ソウスルト百斤百五十五圓ト云フヤウナモノハ、日本ニ現在出來テ居ルモノデアリマスカラ、割合ニ安イモノデアアルカラ、之ヲ標準ニシテ三割五分ヲ取ッタルデアアル、是レ以外ノモノハ、日本デ拵ヘナイヤウナモノハ、高級品デアリマス、三割五分ヲ低下スレバ、結局税金ガ安クナル理窟デアアル、故ニ日本ニ於テ出來ナイヤウナモノハ安ク使ハセル方針デアアル、斯ウ云フコトデアリマスガ、サウ云フモノモアリマセウケレドモ、中ニハ日本デ出來ナイモノデ安イモノモアリハシナイカト思フ、皆高イモノニ限ラナイト思ヒマス、安イモノデ必要ナモノデモ、日本ノ工業デハ出來ナイト云フモノガ、有ルカ無イカ私ハ能ク知リマセヌガ、若シ有リトスレバ甚ダ其趣意ニ副ハナイ譯デアリマス、若シ有ッたらドウシマス

○平野商工技師 大體ニ於テサウ云フモノハ無イ積リデアリマス、或ハ一二品種アルヤ知レマセヌガ、大シテ重要ナモノトハ認メテ居リマセヌ

○飯塚委員 ソレハ分リマシタガ、サウシマスルト制限ガアル爲ニ營業者ノ苦情ハ商工省デ代用品ヲ強ユルト云フ事デアアル、代用品ヲ成ベク使フヤウニ強ユルト云フコトハ非常ニ惡イ事ト思フ、此制限令ト云フモノハ、日本ニアル所ノモノヲ保護シタリ、保護會社ヲ拵ヘテ其品物ヲ根柢カラ破ラヌト云フノガ大體ノ趣意デアアル、サウシテ「ダンピング」ノヤウニ外國品ガ日本ヲ目掛ケテ安ク賣込ムト云フコトニナルト、日本ノ工業ハ潰レテシマフカラ、或品物ニ對シテ制限令ヲ置クト云フコトハ一理アルト思フ、平素此品ガ無イガ、之デ我慢シロ、是デ我慢シロト云フヤウナ事ハイカヌ、制限令ガアル爲ニ、商工省ニ之ヲ輸入シタイト申出テモ、是デ我慢シロト言ハレル、我慢シロト云フコトハ非常ニ宜イガ、是ハ制限令ノ範圍外ダラウト思フ、代用品ヲ使ハセルト云フコトハ、大變間違ダト思フ、ソレデ其爲ニドウ云フ結果ガ起ルカト云フト、當局者ガ吾々委員ニ配付シタモノニ色見本ナドガアリマスガ、同ジ緋デモ、赤ニハ相違ナイガ、少シ日ニ曝セバチヨット黃色ニ見エルノガアル、能ク見ルト黃色味ガアルトカ、僅カナ所ニ人ノ趣味ト云フモノガアル、今平野技師ノ言ハレル通り輸出品ニ付テハ——内地品デモ輸入品デモ同ジ色ニモ趣味ガアル、全ク同ジモノデアレバ誰モ好ンデ外國品ヲ使フ者ハ無カラウ、趣味ガアルカラ高クテモ外國品ヲ用キルノデ、同ジ緋デモ本當ニ自分ノ好キナ色ヲ出シタイ、其色ヲ欲シイト云フトキニ、日本ニ其品ガナケレバ外國ノ物ヲ買フト云フコトニナッテ來ル、輸出品ニシテモ阿弗利加ニ行ク所ノ黃色ト、或ハ印度ノ北ノ方ニ行ク所ノ黃色トデ

ハ、其國ノ溫度ニ依テモ趣味ガ違フト云フヤウナコトガアリマシテ、是ハ阿弗利加向ダトカ、或ハ濠洲向ダト云フヤウナコトデ色々モ違フ、是ハ貴方ガ堪能ク御承知ダラウト思フ、大分違フモノヲ是デ代用シロト云フコトハ、商品ト云フモノヲ根柢カラ崩スコトニナル、代用品々々ト言ッテ獎メタラ、旨ク行クダラウト思ウテ強ユルト云フコトハ、非常ニ産業ヲ阻碍スルモノデア、サウシテ此制限令ト云フモノハ、サウ云フ趣意デナイノダカラ、此制限令ハ其趣意デナイニ拘ラズ、制限令ノ本旨ヲ違ヘテ、ソレニ干渉スルト云フコトハ、輸入ヲ制限スルト云フコトハ、非常ニ私惡イ事ダト思フ、政府デハ制限令ト云フモノヲ置カナケレバナラヌト云フガ、置イテモ尙ホ制限令ニ依テ代用品ト云フモノヲ強ヒテ、容易ニ輸入ノ許可ヲ與ヘナイト云フ方針デア、カ、或ハ希望通り與ヘル方針デア、其邊ノ所ヲ承リタイ

○平野商工技師 代用品ニ付テ輸入許可ヲ與ヘルカ、與ヘナイカト云フ問題ニ付テハ、慎重ニ取扱フ致シテ居リマシテ、ドウデモ間ニ合ハナイヤウナモノ、是デ我慢シロト云フヤウナ事ハアリマセデス、大體ニ於キマシテ、非常ニ綿密ニ調べマシテ、少シデモ内地品ト外國品ト比ベテ差異ガアツテ、ソレガ缺點ト見ラレル場合ニハ、ドンドン許ス方針ヲ採ッテ居リマス、但シ餘程考慮

ヲ加ヘナケレバナラヌ問題ガゴザイマス、ソレハ獨逸人ガ今マデ賣込デ居リマシタ商權ヲ確保スル爲ニ、内地ニ出來マスル品物ニ向ッテ、全ク同ジ物ガアルニ拘ラズ——優良品ガアルニ拘ラズ、ソレニ色々ノケチヲ付ケマシテ、到底代用ガ出來ナイトカ、或ハ故ラニ染方ヲ拙ク染メマシテ、斯ウ云フ缺點ガアルト云フヤウナ事ヲ申シテ居ル場合ガ大分アルノデアリマス、サウ云フ場合ガ一方ニゴザイマス爲ニ、慎重ニ攻究シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○飯塚委員 ソレガ染料ニ付テノ苦情デアリマシテ、元ト制限令ト云フモノニ依テ代用品ヲ使ハセルト云フ必要ハナイ、若シ日本デ六十種ナラ六十種拵ヘルナラバ、六十種ト云フモノハ保護關稅ニ依テ、三割五分ナラ三割五分デ優ニ之ハ獨立シ得ル程度ニ於テ、保護關稅ヲ掛ケテ居ルノデア、若シ三割五分デイカヌケレバ、四割ニスルト云フヤウナ譯デ、制限令ト云フモノハサウ持出スベキモノデナイ、外國カラ日本ノ「コールター」工業ヲ壞サウトシテ狙ヒ打ニヤツテ來タ時分ニハ、ソレヲヤツテモ宜カラウト思フ、此制限令ハ根本カラ破ラレルト云フトキニ置クノガ本旨デアツテ、平素ハ關稅デ保護シナケレバナラヌ、故ニ是ガ代用品デ出來ルカ出來ヌカト云フコトハ、ソレハ恐ラク商工省ノ技師方デモ中々分ルモノデナイ、吾々商賣シデ居ッテモ中々分ラ

ス、意匠ニシテモ似寄ッタモノヲ家ノ中デ見ルノト、戸外ヘ出シテ見ルノトデ色ガ變ル、光線ノ弱イ所デ見ルノト、光線ノ強イ所デ見ルノトハ餘程違フ、吾々ガ代用品デ宜カラウト思フモノデモ本當ノ需要地ニ行クト、ソレガイカスト云フノガ幾ラモアル、ソレデ差支ナイ、是デモ宜カラウト云フト云フヤウナコトハ、是ハ非常ニ産業ニ害ガアルト思フ 現ニ近頃起ッタコトデ諸君モ御存知デアリマセウガ、英吉利ノ毛織物ノ如キハ世界一デ、日本ニ於テモ何等ノ非難ガ無カッタ、所ガ染料ノ關係デ、近頃安イ染料ヲ使ッタノデ、輸入制限ヲシタ爲ニ、非常ニ惡クナッタ、日本デモ羅紗ノ色ガ褪メタト云フノデ、日本ノ羅紗商ガ染色ニ付テ苦情ヲ付ケタ、ソコニ英吉利ノ領事ガ中ニ立ッテ、今談判中デアルト云フコトガ新聞ニアリマス、是ハ貴方ガタガ御存知ノコトデ、何處ガ惡クナッタカ分ラヌヤウデモ、英吉利ノ日本向輸出高ト云フモノハ非常ニ打撃ヲ受ケルコトニナル、其染色ノ僅カ一線カ二線デモ、僅カ「タオル」ニ一本ノ赤イ筋ヲ入レルニシテモ、其一筋ノ赤糸ノ善イト惡イトデ、此「タオル」工業ト云フモノハ全然破壊サレルト云フヤウナ事ガアリマシテ、此染色、染料ノ如キハ餘程當業者——政府ノ役人モ之ニ注意シテ、是デ宜イ、アレデ宜イト云フヤウナコトデナク、當業者ハ一生懸命ヤツテ居ルノデアリマスカラ、此品

質ト云フモノニ付テ、是非一番良イモノヲ拵ヘナケレバナラヌ、當業者ハ身上ヲ掛ケテヤツテ居ル、ソレヲ政府ガ是デ我慢シロ、アレデ我慢シロ、研究スル、調査スル、サウ云フヤウナコトデ政府デ代用品ヲ強ヒテ使ハセルト云フヤウナコトハ、非常ニ間違ッテ居ル、隨テ「コールター」工業ヲ保護スル途デナイト思フ、若シソレガ輸入制限、今ノ如クニ政府デ無暗ニ干渉スルヤウナ事ガアレバ、此關稅ニ付テモ大ニ考ヘナケレバナラヌ、又輸入スルトキニ其六十種ノ染色、染料ヲ保護スルニ十分ナル關稅——政府ノ役人ガ干渉シナイデ、日本ニ六十種出來ナケレバモット關稅ヲ上ゲタラ宜カラウ、ソレデ出來ルダケニシテ制限令ト云フモノニ付テハ、代用品云々ト云フコトニ付テ政府デ干渉シナイヤウニ、萬一ニ備ヘルダケノ制限令ニシテ貰ハナケレバナラヌイト思フ、是ハ尙ホ御審議ノ上御決定ヲ願ヒタイ、ドウモ代用品ヲ用ヒナケレバナラヌト云フコトナラ、寧ろ是ハ關稅デ保護シテ貰ヒタイ、萬一ノ場合ニハ特別制限令ヲ存置スルモ宜カラウ、ソレヲ手加減デスルト云ツテモソコニハ非常ニ弊害ガ起リマス、其弊ト云フモノハ非常ニ輸出貿易ニ關係ガアルノデア、私ハサウ云フ危イコトヲスルト云フコトハ宜クナイコトダラウト思フ、手加減デヤルト云フコトハ洵ニ危イコトデア、サウ云フコ

トハ「コールター」工業ニ付テハ宜シク
ナイコトデアルト思フノデアアル、手加
減ヲヤッテ代用品ヲ使ハセルト云フヤ
ウナコトハ、是ハ改メサセナケレバナ
ラヌコトデアルト思フガ、此點ハ如何
ニシマスカ、ソレヲ承ッテ審議ヲ進メテ
行キタイト思ヒマス、ソレカラ今一ツ
伺ヒタイコトハ、此百十五圓ト云フモ
ノハ是ハ從重稅デアリマス、ソレデア
リマスカラ濃度ナドニハ關係ハナク、
唯百斤ニ付キ百十五圓ト云フコトニナ
ルノデアアル、然ルニ現今ニ於テハ、獨逸
ナドデハ其濃度ノ「バーセントーシ」ノ
如キモ普通品ト云フモノガ百デアルト
スルナラバ、三百マデモ進ンデ居ルト
云フコトヲ聞イテ居リマス、實際ニ於
テハ此三百ト云フヤウナモノヲ普通ノ
染屋サンガ使ヘバ損デアリマスカラ、
ソナ高イモノハ使ハナイガ、輸入商
トスレバ是ガ從量稅ニナッテ來ルノデ
アルカラ、多量ニ普通品ヲ輸入スルト
云フコトハ損デアアル、ソコデ日本ノ輸
入商ト云フモノハ成ベク濃度ノ濃イノ
濃イノト云ッテ注文ヲスルコトニナル
ト思フ、必ズ輸入商ハ一番濃イ所ノ三
百マデモ希望シテ、之ヲ喜ンデ輸入シテ
來ルダラウト思ヒマス、サウシテ隨テ
値段モ大變高クナルト云フコトニナレ
バ、鉾力ノ箱デモ成ベク薄クシテ、サウ
シテ成ベク丈夫ニシテ澤山入レテ來
ル、サウシテ「バーセントーシ」ヲ出來
ルダケ能クシテ吳レト云フ注文ヲスル

ヤウニナルニ違ヒナイ、ソレヲ日本ニ
入レテカラ今度ハ第二ノ製造所ト云フ
ヤウナモノヲ拵ヘテ、各染料ヲ混ゼル
場所ヲ拵ヘテ、段々薄メテ之ヲ各地ニ
賣出スコトニスル、大阪ヘハ八十「バー
セント」ノモノヲ賣ッテヤルガ、桐生ハ
馬鹿ナ商人デ分ラナイカラ七十「バー
セント」ノモノヲ賣レ、更ニ越後ノ方ハ
六十「バーセント」ノモノヲ賣ルト云フ
ヤウニ、日本ニ入レテカラ段々濃度ヲ
變ヘテ、ソレハ其需要ガアルナラ賣ッ
テモ宜イダラウト思フ、ケレドモ其時
ニ憂フベキコトハ、日本デ造ル所ノ染
料ト云フモノハ、一體何「バーセント」
ノモノヲ賣ルカト云フコトデアアルガ、
是ハ後刻承リタイト思フガ、高イ値デ
賣ラナケレバナラナイカモ知レナイ、
ト云フノハ日本デ出來ルノハ餘リサウ
云フコトハ出來ナイデアラウト思フ、
公平ナ値段デ或ハ賣ルカモ知レナイ
ガ、サウスルト相當高イ値段ニドウシ
テモナッテ行クト思フ、是ハ仕方ガナ
イ、一方外國カラ輸入スルモノハ、輸入
スルトキニハ出來ルダケ濃度ヲ濃クシ
テ買入レテ來テ、ソレヲ今度ハ賣ルト
キニハ薄クシテ賣ルト云フコトニス
ル、薄クシタモノデアアルカラ是ハ安ク
賣レル、所デ日本デ出來タ品物ハ其「バ
ーセントーシ」ガ例ヘバ「デアルトス
レバ、一ダケニ染物ヲスルトキニ使ヘ
ル正當ナモノヲ賣ル、ソコデ買ッテ使フ

染物屋サンノ今日ノ實況ハドウカト云
ヘバ、唯色ガ染マルト云フコトハ一目
シテ直ニ分ルケレドモ、其量ヲ使フト
キニ果シテ何方ヲ使ッタガ德ダト云フ
ヤウナコトヲ檢定シテ使フナント云フ
コトハ、ソレハ試驗場デハヤリマスケ
レドモ、實地ノ所デハソソナコトハ餘
リヤラナイト思フ、多ク使フ所デハ「シ
ヤブル」デスクッテ使フト云フヤウナコ
トニナルノデアアルカラ、ソソナコトハ
一向分ラナイ、サウシテ色サヘ出來レ
バ何デモ宜イ、安イ方ガ宜イト云フコ
トニナルノダカラ、扱ソレヲ買フトキ
ニ日本ノ品ハ値段ガ高クテ、西洋ノ品
物ハ安イト云フコトデアッタナラバ、染
屋サンハ何方ヲ買フカ、安イモノヲ買
フニ決マッテ居ル、サウシタナラバ此三
割五分ノ稅ヲ置イテモ、内地ノ此工業ガ
保護出來ルナドト考ヘタラ大間違ヒ、
外國ノ品物ハ滔々トシテ輸入サレテ賣
レルガ、日本ノモノハ賣レナイト云フ
コトニナルノダラウト思フ、ソソナラ
今此從量稅ノ三割五分ヲ置イタトテ
モ、決シテ日本ノ「コールター」工業ガ
發達スルモノデハアルマイ、斯様ニシテ
置イテ品質ニ付テ取締法モ置カナイト
シタナラバ、折角保護政策ヲ行ッタモノ
ガ、何ノ効果モナイト思ヒマスガ、ソレ
等ニ付テハ當局ハドウ云フ御考デアリ
マスカ

○平野商工技師 只今ノ御尋ハ、詰リ
實際中味ノ惡イモノヲ需要者ノ無關心
ニ乗ジテ高ク賣ル、中味ノ惡イモノヲ
良イモノノ如ク裝ッテ高ク賣ル、其爲ニ
中味ノ良イ正當ノモノハ競争ニ破レル
ト云フ結果ニナリハセヌカト云フ御尋
デアリマスガ、サウ云フ事實モアラウ
ト思ヒマスガ、元來只今染色業ニ從事
シテ居ル方々ガ、多クノ場合ニ於テ小
サイノデアリマス、非常ニ小工業ニナッ
テ居ル者ガ多イ爲ニ、隨テ大量ニ染料
ヲ買フト云フコトガ出來マセヌ、隨ヒ
マシテ餘リ信用ノナイヤウナ小サイ染
料商カラ買フト云フ場合ガ非常ニ多イ
ノデゴザイマス、實際ガ只今サウナッテ
居リマス、隨テ染料ノ品質ニ不相應ナ
値段ヲ拂ッテ居ルト云フコトハ、私共モ
認メテ非常ニ缺點ト思ッテ居リマス、又
モウ一ツハ是ハ單ニ染料バカリデハゴ
ザイマセヌケレドモ、總テノ商品ニ通
ズル問題デアリマスケレドモ、生産ト
消費ノ今日ノ有様ト云フモノハ、非常
ニ理想ヲ遠ザカッテ居ル點ガ多々アル
ノデゴザイマス、中間ニ這入ッテ居リマ
ス商人ガ、餘リ其數ガ多イノデアリマ
ス、ソレガ爲ニ普通ノ商賣ヲシテ居リ
マシテハ、到底利益ガ舉ラナイト云フ
所カラ、色ミト奸策ヲ施ス傾向ガゴザ
イマシテ、ソレガ爲ニ消費者モ非常ニ
迷惑ヲ被リ、又生産者モ非常ニ不利ナ
狀態ニナッテ居リマシテ、兩方共ニ損害
ヲ受ケテ居ルヤウナ實狀デアリマス、
此實狀ハ何トカ致シマシテ改メマシテ、
例ヘバ組合組織ト云フヤウナコトニ依

リマシテ、其組合ノ消費スル數量ヲ纏
メテ、大キナ商人或ハ染料製造業者ニ
直接ニ注文ヲ發スルト云フヤウナ、サ
ウ云フ方向ニデモ向ヒマスレバ、御互
ニ便利デ、製造業者ハ少シデモ中間商
人ノ手ガ省ケル爲ニ高ク賣レ、需要者
ハ又安く買ヘルコトニナルト思フ、サ
ウ云フ點ニ付キマシテ只今ノ處ニ於キ
マシテハ、幾多改良スベキ點ガアルト
認メテ居リマス、サウ云フコトハ次第
ニ改善サレテ參リマスルナラバ、今日
ノヤウナコトモ漸次無クナルダラウト
思ヒマス、又一方ニ於キマシテ製造業
者ニ向ヒマシテモ、サウ云フ點ヲ注意
ヲシテ、サウ云フ奸策ヲ施サレナイヤ
ウナ方法ヲ攻究シロト云フコトヲ注意
スル積リデ居リマス

○飯塚委員 ソレハ今仰シヤル通り、
ソレハ一般的ナ話デアリマスガ、コ
ルタール工業ヲ保護シナケレバナラ
ヌ、總テノ犧牲ヲ拂ッテマデ保護スル立
場ニアル者ガ、今ノヤウナコトデ、坊間
ニ必ズ濃イ物ヲ入レテ薄クシテ賣ルニ
極ッテ居ル、薄クシテ賣ルトキニナルト
ドウナルカト云フト、日本ノ物モ一緒
ニ薄クナッテ賣ルナラバ、殆ド亂脈ニ
ナッテシマヒマスガ、日本ノ取締ラレ
所ノ日本ノ染料ハ、相當ノ取締ヲ受ケ
テ賣ルコトガ出來ナイト思フ、故ニ輸
入者ハ濃イ物ヲ入レテ稀釋シテ賣ルニ
相違ナイ、サウスルト一斤ノ價ハ品質
ハ同ジデアル、色ハ同ジデアル、唯量ニ

於テ違フダケデアル、サウスルト一斤
ノ價ガ日本ノヨリ輸入ノ方ガ安い、
色ガ良イト云フコトデ、實際ニ人ガ本
當ノ「バーセンテージ」ヲ調ベナイデ唯
使ッテ居ル、ソレヲ皆宣傳サレルト、日
本ノ品ガ賣レナクシテ、外國ノ品ガ賣
レルコトニナルダラウト思ヒマス、日
本ノ品ガ賣レナケレバ結局技術バカリ
出來テモ、保護ノ目的ヲ達シナイト思
ヒマス、ソレデハ國民ガ犧牲ヲ拂ッテ高
イ稅ヲ拂ッテモ何ンモナラヌト思ヒマ
ス、ソレヲ今申ス通り、國民ノ自覺ニ
待ツト云フヤウナ、ボンヤリシテ居ッ
タコトデハ大變ナコトデアリマス、何カ
方法ガアルカ、私ニハ「ツ」ノ方法ガア
ル、其「ツ」ノ方法トシテハ染料ノ取締
法ヲ出シテ、一斤デモ二斤デモ責任ヲ以
テ其「バーセンテージ」ヲ其處ヘ記入シ
ロト云フ、斯ウ云フ取締法ヲ出スナラバ、
是ハ七十「バーセンテージ」デ、是ハ百「バー
セント」デ、是ハ質ガ良イノダト云フコ
トガ直ニ分ルダラウト思ヒマス、好シ
デ「バーセンテージ」ノ低イ物ヲ安く
買ッテ居ル、百ト百ノ物ヲ買ヘバ、日本
ノ品物モ高イノデハナイト云フコトガ
判ルト思ヒマス、ソレデハ今ノヤウニシ
テ居ッテハイカヌカラ「コルタール」

工業ヲ保護スル爲ニ取締法ヲ設ケタラ
宜イト思ヒマス、殊ニ從量稅ニナリマ
スカラ、段々濃イ物ヲ入レテ稀釋シテ
賣ルコトニナリマスカラ、此取締法デ
モ出サナケレバ防ゲナイト考ヘマス、
是等ニ付テノ御意見ガアリマスレバ伺
ヒタイ、如何デスカ斯ウ云フコトハ惡
イト思ヒマスカ、或ハ良イト思ヒマス
カ
○平野商工技師 サウ云フヤウナ方法
モ可ナリ有効ナ場合ガアルダラウト
思ッテ居リマス、ソレニ付テハ尙ホ能ク
研究致シマシテ、御希望ニ副フヤウニ
致シタイト思ウテ居リマス
○飯塚委員 此取締法ニ付テハ是非共
私ハ之ヲ出シテ、西洋ノモノニ胡麻化
サレナイヤウナ方法ヲ設クルコトガ、
此工業ヲ保護スル上ニ必要ナルコトト
考ヘマス、今「ツ」ニハ此産業ヲ保護ス
ル爲ニ輸入制限令ヲ背景ニシテ、餘リ
當業者ノ希望ニ干渉シナイヤウニ
是ハ「ダンピング」デナイト云フ、其輸
入スル者ガ日本ノ品物ヲ打崩スト云フ
料簡デナイナラバ、直ニ之ヲ許ス、サウ
云フ所ノ方法ヲ今迄ノヤウニ干渉シナ
イヤウニシテ行カナケレバナルマイト
思ヒマスカラ、其希望ヲ述ベマシテ、私
ハ二百四十三ノ質問ハ、先程註文シテ
置キマシタ所ノ材料ヲ戴キマシタ上
ニ、其材料ニ依テ又考ヘマシテ質問ス
ルコトニ致シマス
○倉元委員 此染料ニ付テノ質問ハ飯
塚君ノ御問ニ依リマシテ大體了承致シ
マシテ盡キテ居ルト思ヒマスガ、私モ
一言伺ッテ見タイト思ヒマス、今回ノ改
正ニ依リマススト云フト、從來ノ從價ヲ
從量ニ御改メニナリマシタ結果、飯塚

君カラモ御述ニナリマシタヤウニ、ソ
コニ市價トノ關係カラ見マス、大變
ニ權衡ヲ失シテ居ルモノガ澤山アルヤ
ウニ考ヘマス、是等ハ主トシテ此國
民ノ必要品デアアル木綿織物等ニ使フ直
接染料ト云フヤウナモノト、鹽基性染
料トカ或媒染染料ト云フヤウナモノト
ノ權衡デアリマス、是ガ一律ニ從量百
斤ニ依テノ課稅ニナッテ居リマスカラ
シテ、非常ニソコニ差ヲ生ジテ居ルコト
ハ、私共ハ國民生活ノ上ニ甚ダ喜バシ
クナイコトダト思フ、申スマデモナク
此織物ガ貿易額ハ五億五千萬圓カニ達
シテ居ルヤウデアリマス、其中デ木綿
ハ御承知ノ通り約二億ニ近イ一億五千
萬圓以上一億七八千萬圓、此貿易ノ織
物ニ對スル大勢ハ殆ド木綿デ、其五割
マデハ達シマセヌガ、非常ニ重大ナ關
係ヲ持ッテ居リマス、私ガ申上ゲタイコ
トハ今飯塚君カラモ御述ニナリマシタ
ヤウニ、此制限令ガアリマスル爲ニ當
業者ガ満足スルヤウナ染料ガ使用セラ
レナイ、不満足ナガラモ内地製品ヲ使
用スル、其結果ハ私ガ申上ゲルマデモ
ナク御承知ノ如ク大阪デハ例ノ「タオ
ル」製造ニ赤イ色ヲ出シテ、「タオル」ノ
先ノ方ヘ赤筋ヲ出シマス、彼ノ色ヲ内
地製品ノ代用品デアリマシタ所ガ、是
ハ非常ニ需要地カラ苦情ガ參リマシ
テ、直ニ撤回サレタ、其額ヤ一千萬圓ニ
モ上ルト云フ話デアリマス、其他濱松
方面ノ遠州織物——遠州織物等ニ使用

致シテ居リマス代用品ノ染料ノ如キモ、非常ニ當業者ニ苦情ガ多クシテ、今デハモウ殆ド持餘シテ、先達承レバ農商務省御立會ノ上ニ、日本ノ染料ト御比較ニナツタサウデアリマス、其結果ハ一貫二百目ノ一東ニ付テノ御試験ノ結果ハ、何デモ代用品ノ方ガ却テ二十錢バカリ高クナツテ居ル、而シテ是ガ需要地ニ向ヘバ直ニ一見シテ是ハ代用品ノ染料デアルト云フコトヲ見別ケラレ、價格ノ上ニモ非常ナ影響ヲ及ボシ、取引上大變ナ困難ヲ來シテ居ル、斯ウ云フコトヲ聞クニ及ンデ、吾ミハ外國貿易ノ上ニ非常ナ影響ヲ與ヘ、而モソレガ代用品ガ安イ染料ナラバ、宜イガ比較的高イ、シテ見マスレバ其貿易ノ影響ノミナラズ、内地ノ國民六千萬ノ三分ノ一ニ供給シテ居ル綿織物ニ左様ナ惡影響ヲ及ボストスルナラバ、是ハ由々敷大事ダト私ハ思フ、當局ハ染料其モノダケヲ唯保護ノ立場カラ御考ニナツテ此加工原料デアアル染料ガ働イテ製品トナツテ市場ニ現レテ行ク品物ノ方面ニ深ク御注意ニナツタカドウカト云フコトヲ、サウ云フ實際ノ實例ニ徴シテ疑ハザルヲ得ヌヤウナコトニ立至ルノデアリマス、サウ云フコトハ申上ゲルマデモナク御考ニナツタカモ知ラヌケレドモ、餘リニ私ハ實情ニ御疎イデハナイカ、此制限令ハ各國トモ此當業者ノ話ヲ私ハ聞キマスト云フト、英國デモ、佛蘭西デモ、亞米利加デモ何處

デモ一時採ツタ、斯ウ云フ輸入防止ノ方法ニ依テ保護ノ方針ヲ貫徹シテ、内地染料、産業ノ發達ヲ促サウト云フコトデヤツテ見タガ、結局ソレハ何レノ國モ失敗ニ終ツテ、今デハ殆ドサウ云フ政策ヲ執ツテ居ル國ハ一箇國モナイ、唯亞米利加ノ如キハ承リマスト云フト、此從價稅ノ外ニ從量稅ヲ課シテ居ル、ソレガ六割幾ラノ從量稅ヲ、今回デハアリマセヌ、二年許リ前ニ既ニ四割二三歩ニ下ゲ、從量稅トシテ七仙ヅ、カ幾ラカヲ課シテ居ルト云フ話デアリマス、佛蘭西ト日本ハ能ク國情ニ於テモ似テ居ル、原料モ乏シイ、是ト共ニ非常ニ保護政策ヲヤツタト云フ御話デアリス、是モ矢張失敗ニ歸シテ、今デハ唯關稅ノミニ依テノ保護デアツテ、輸入制限ナドヲヤルト云フヤウナコトハ斷ジテヤツテ居ラナイ、此制限ヲ御解キニナラナケレバ、今ノ織物業者其他ノ當業者カラ言ハセルト、惡イ、——質ノ惡イ高イ物ヲ使ツテ、サウシテ其品物ニハ惡イ影響ヲ及ボスト云フ結果ニ陥ルト云フコトヲ非常ニ心配シテ居ル譯デアリマス、モウ少シ世間ノ人ガ聞イテモ、成程ト思ハルヤウナ御答辯ヲ戴キタイト思フ

○宮内工務局長 輸入制限ノ必要ナルコトハ、何回モ申シタコトト、同ジデアリマシテ、私ハ先程大體申上ゲテ置イタノデアリマス、尙ホ輸出貿易ニ付キマシテ色ミナ障礙ヲ及ボシテ居ルト云フヤウナコトハ、サウ云フ御話ノヤウナトコハ認メテ居リマセヌノデ、左様ナ大シタ障礙ヲ及ボスベキヤウナコトハヤツテ居リマセヌ、ソレカラ又外國ニ於テモ今日ニ於テハ輸入制限ヲ取ツテ居ル所ハナイト云フ御話デゴザイマスガ、英吉利ト佛蘭西ハ現ニソレヲ致シテ居ルノデゴザイマス、外國ハ別ト致シマシテモ我國ノ染料工業ヲ保護スル上ニ於キマシテハ、ドウシテモ輸入制限令ニ依ルニ非ザレバ、染料工業ノ確立ヲ期スルコトガ出來ナイト云フコトヲ固ク信ジテ居ルノデゴザイマス

○倉元委員 日本ノ今ノ製造會社ト云フモノハ、承リマスト日本染料ト三池カ何處カニアリマス三井ノ經營ニナルモノノ外、モ一ツアルサウデアリマス、是等會社ノ經營振等ハ政府デ十分保護ナサル關係上、御監督モアラウト思ヒマスケレドモ、承リマスト云フト餘リニ日本ノ染料製造會社ハ萬能のニ品種ガ多過ギル爲ニ、徹底シナイ、其研究モ其製品ニ付テモ優良ノモノガ出來ナイト云フノハ其處ニ缺陷ガアル、外國ノ方デハ或種類ノ染料ヲ専門トシテ何會社ハヤル、何種ト何種ト云フヤウナ風ニナツテ居ルラシイ、日本ノ染料會社ハ萬屋的ニ今申シマシタヤウニ製造スル爲ニ、ドウモ其爲ニ折角政府デアレダケ御獎勵ニナリ御保護ナサルケレドモ發達シナイト云フヤウナ風ニ私豫テ承ツテ居リマスガ、政府デハ之ヲドウ御覽ニナツテ居ルカ、而シテ今ノ外國製品ト日本ノ今ノ會社デ拵ヘルヤウナ内地製品ガ、何時ノ頃ニハ同ジヤウナ品質ノ物ガ出來ルヤツニナルノカ、今ノ日本ノ染料ノ發達ノ程度ハ、外國製品ニ比較シテドノ程度マデ達シテ居ルノデアルカ、サウ云フ御見込ヲ伺ツテ置キタイ

○平野商工技師 日本ノ染料工業ニ從事シテ居ル會社ガ餘リ澤山ノモノヲ造ル爲ニ、ドレニモ手ガ廻ラヌ結果ト致シマシテ、研究ガ疎ニナツテ其品質モ惡クナルト云フ御話デゴザイマシタケレドモ、染料會社ト致シマシハ、何レノ國ニ於テモ一會社ニ於テ五六十種ノ染料ハ皆造ツテ居ル、ソレハ自然ノ結果ト致シマシテ、サウ云フ特色ミナ製品ヲ造リマセヌト云フト、製造ノ工程ガ圓滿ニ參ラナイ爲ニ、少クトモ五六十種ノ染料ハ皆造ツテ居ル、唯日本ノ會社ニ於テハ、マダ成立後日ガ淺ウゴザイマスカラ、サウ澤山造ル譯ニ參リマセヌカラ、例ヘバ日本ノ染料會社ノ如キハ二十有餘種三十種足ラズノ物ヲ造ツテ居ル、又三井ノ會社ニ於テモ、十何種カノ染料ヲ漸ク今造ツテ居ル位ノコトデ、之ヲ以テ多過ギルトハ私共ハ認メテ居リマセヌノデゴザイマス、將來ハモット關係スル所ノ染料品種ヲドシドシト造出シテ、サウシテ全體トシテ、事業ヲ圓滿ニ經營シテ行クベキモノデアルト云フ風ニ認メテ居ル、ソレカラ第二ノ點ノ今日日本

ノ染料工業ノ發達ノ程度ハ、ドノ位デア
ルカト云フ御話デゴザイマス、ケレド
モソレハ日本ノ需要ノ多イ染料約六十
種ノ中ノ四十餘種ハ只今出來テ居リマ
ス、サウ致シマシテアト二十種足ラズ
ノモノヲ之カラ四五年間ニ製造スルト
云フコトニナツテ居リマシテ、大體ニ於
テハ只今カラ四五年間スレバ殆ド日本
ノ重要染料ノ品種ハ、全部出來ルト申
上ゲテモ宜カラウト思ヒマス、又其品
質ノ如キニ付キマシテハ、是ハ色々ノ
見方ガゴザイマス、反對ノ側、詰リ日本
ニ染料工業ガ起ルコトヲ喜バナイ方ノ
側カラ見マスレバ、日本ノ品種ハ到底
外國ノ輸入品種ニ對抗ガ出來ナイ、餘
程品質ガ劣ル物デアルト云フヤウナ見
方ヲスル人モゴザイマセウ、又實際ニ
於テ只今製造サレテ居ル中ニハ、外稍
國ノ物ニ劣ッタ物モゴザイマス、實際ゴ
ザイマスケレドモ、大部分ハ——只今
製造サレテ居ル大部分ハ、外國ノ同種
ノ物ト比較シテ、私ハドウモ劣ッテ居ル
トハ認メテ居リマセウ、大體ニ於テ品
質ニ於テ優ニ拮抗シ得ル、中ニハ優ッテ
居ル物サヘモアル、併シナガラ全部ト
ハ申上ゲマセウ、中ニハ劣ッテ居ル物、
詰リマダ外國ノ物ニ比較致シマシテ少
シバカリ劣ッテ居ル物モ中ニハゴザイ
マス

○倉元委員 私ノ先刻御尋申上ゲマシ
タノニ御答ニナリマシタコトニ依ル
ト、私ガ舉ゲタ實例トシテ申述ベタコ

トニ付テハ、斷ジテ左様ナ事實ハ當局
トシテ認メテ居ラス、是ハ當局トシテ
御存知ナケレバナラス答デアル、モ一
度御答辯ヲ確メテ置キタイト思ヒマ
ス、是ハ有名ナ事實デアリマスガ、大阪
デ「タオル」業者ガ非常ナ損害ヲ被ッ
コトガアリマス、ソレカラ私ハ濱松ニ
居住シテ居ルガ、遠州織物ノコトニ付
テ多少心得テ居リマスカラ、是モ事實
ヲ尙ホ詳シク申上ゲヨト仰シヤレバ申
上ゲマスガ、ソレカラ今ノ染料ノ質ノ
問題デアリマス、是ハ私共ハ何モ素人
デ分ラナイケレドモ、先日來茲ニ見本
ヲ持ッテ參リマシテ、色合等ヲ見ルト、
一見シテ是ハ素人ノ吾々ガ見テモ、ド
ウモ一樣デナイ、大分差ガアルヤウニ
考ヘマスガ、例ヘバ緋等デモ説明申上
ゲルマデモナク、其處カラ御覽ニナツ
モ判ルヤウニ、是ガ日本製品デ、此方ガ
外國染料ヲ使ッタンダサウデス、是ハ染
料ノ質ニ依ッテ糸ノ括リノ染口ノ所ニ
ボカサヤウナ手際ガ、日本ノ製品染料デ
ハドウシテモ現ハレナイ、何ト苦心シ
テモドウシテモ外國品ヲ使ハナケレバ
ナラス、ソレガ輸入制限抑ヘラレテ居
テハ、ドウスルコトモ出來ナイ、同ジ赤
ニシテモ、是ハモウ一見シテ外國品ト内
地品ハ、内地品ニ依テヤッタ物ハ一見シテ
分ル、貴方ガ遠クカラ御覽ニナツテモ
分ルコトデアリマス、一番能ク分リマ
ス、此色合カラ御覽ニナルト、此色ト此
色トハ大變違フ、之ヲ當局者ハ、當業者

ノ方デハ此赤ノ色デナケレバ需要者ガ
好マス、此赤デナケレバナカヌト云フ
ノニ、之ヲ代用スレバ宜イト云フテ御
獎勵ニナル、是ハ甚ダ無理ナ御註文デ
アルト思ヒマス、サウ代用品ヲ無理ニ
使ハサナクテモ、當業者ガ此色デナケ
レバナラスト言ッテ、外國品ノ色合ヲ好
ムナラバ、輸入ヲ御許可ニナルガ宜イ
ト思ヒマス、先刻飯塚君カラ御尋ニナ
タヤウデアリマスガ、ドウシテモ外國
品デナケレバナラスト云フノデ御願ヒ
シマスト云フト、中ニ許可ヲ爲サルマ
デニ非常ナ手數ヲ要スルラシイ、五箇
月乃至六箇月、而モ不許可ノ場合ニ
——許可ヲ爲サナイ場合デモ、理由モ
何モ仰シヤラナイデ、ボン——撥付ケ
ラレルト云フヤウナ譯デアル、何ノ爲
ニ許可セラレヌノカ、當業者トシテハ
分ラヌ、ソレヲ懇々三回モ四回モ出テ
行ッテ話スト、ソレナラバト云フコトニ
ナツテ、漸ク許可ニナルガ、許可ニナツ
タニハ既ニ其使用ノ時期ヲ失シテ居
ル、五箇月モ六箇月モ後デアルト云フ
ヤウナコトヲ、當業者ハ申シテ居ルノ
デアリマス、頭カラソレヲ信ズル譯デ
ハアリマセウガ、サウ云フ嫌ヒガアル
トスレバ、是ハ國益ノ上カラ御考ヘ下
サツテモ、何トカ先ニ飯塚君モ御話ニナ
リマシタガ、染料輸入ノ許可ニ付テ少
シ手心ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカ
ラ、第一段ノハ絕對ニサウ云フ事實ハ
御否認ニナルノデアルカ、ドウカソレ

ヲ承ッテ置キタイ
○平野商工技師 或ハ反對ノ側カラ見
タナラバ、サウ云フヤウニ見エタ事實
ガアツタカモ存ジマセウ、尙ホサウ云フ
點ニ付テハ今後サウ云フコトノナイヤ
ウニ、他カラ見テモサウ見ラレナイヤ
ウニ注意致ス積リデアリマス
○加藤委員長 宜シウゴザイマス
○倉元委員 私ノ御問ヒ申シマシタ
ノハ、サウ云フ事デハ濟マス、モウ少
シ……
○平野商工技師 詰リ本邦ノ製品ニ於
テハ、到底代用ガ出來ナイト云フモノ
サヘモ許サナイト云フコトデスナ、サ
ウ云フコトノナイヤウニト云フ……
○倉元委員 輸入制限ノアル場合ニ、
當業者ガ希望スル色合ノ染料ノ輸入許
可ヲ願ッタ場合ニ……
○平野商工技師 其場合ニハ皆許シテ
居リマスケレドモ、許サナイヤウニ見
ラレル場合ガアツタカモ知レマセウ、今
後ハサウ云フ事ガナイヤウニ努メマ
ス
○倉元委員 片ッ方ハドウデス
○平野商工技師 「タオル」ノ事ニ付テ
ハサウ云フ事實ヲ私一寸承知致シテ居
リマスガ、ソレハ三井ノ製品ニ偶惡イ
モノガ出タト云フ場合ニ於テ、苦情ガ
付イタト云フ話ハ聞イテ居リマス、ソ
レニ對シテハ、サウ云フコトノナイヤ
ウニ注意致シマスト共ニ、輸出ノ事ニ
付テハ許可ヲ致シテ居リマス

○岩切委員 大體御質問ガアリマシタカラ能ク分リマシタガ、併シ染料ノ問題ハ、兩方面カラアリマシテ、需要ト云フ側カラ云ヘバ、只今兩君ノ御質問ノヤウナ場合モアリマスガ、又工業俱樂部ナドハ、モウ少シ上ゲト云フコトヲ言ッテ居ルノデアリマス、人造藍ト云フモノハ二割ニナッテ居リマスガ、之ニ付テハ如何デスカ

○平野商工技師 人造藍ト云フモノハ、本邦デ消費シマス染料ノ中デモ、最も重要ナモノデアリマスカラ、政府ノ補助會社ニ於テモ、其他ニ於テモ、早クカラ研究ヲ致シテ居リマシテ、是非之ヲ製造致シタイト云フノデ、年々努力シテ參ッタノデアリマス、然ルニ製造ノ技術ガ殊ノ外困難デアリマシテ、久シイ間中ニ成功シナカッタノデアリマス、今カラ四五年前ニ漸ク之ガ製造方法ガ完成サレタヤウナ譯デゴザイマス、然ルニ愈ソレヲ製造シヤウト云フ段ニナリマシタ所ガ、是ハ外國ニ於テ戰後各國ニ製造ガ起リマシタ爲ニ、非常ニ價格ガ暴落致シマシタ、殆ト生産費ニ近イ價格マデ外國ニ於キマシテハ低落シタノデアリマス、然ルニ日本ガ人造藍ノ世界的ノ大市場デアルト云フ關係カラ致シマシテ、獨逸ハ從來ノ市場ヲ守ル爲ニ、亞米利加、佛蘭西其他ノ國ニ新シイ市場ヲ開拓致シマスル爲ニ、是ニ於テ非常ナ競争ガ行ハレマシタ、其結果トシテ市價モ非常ニ下リマシテ、今デハ生産費ヲ割リマシテ、不當

廉賣トサヘ見ラレルヤウナ價格ヲ出シテ居ル始末デアリマス、ソレガ爲ニ内地製造ノ技術ガ完成シタニモ拘ラズ、今尙ホ實現サレテ居ラナイ、此狀態ハ非常ニ遺憾ト考ヘマス、併ナガラ之ヲ官デ以テ保護シ致シマシタ所ガ、ソレヲ以テ必ズシモ今成立ガ出來ルトモ申ヘラレマセヌ、ソレカラ其外ノ問題ヘ、斯ウ云フ事業ニ對シテ資本ガ出ルカ否ヤト云フコトハ大キナ問題デアリマス、サウ云フ方面ヲ研究致シマシテ、愈是ガ成立致シマススト云フ見極メガ付キマシタラ、現行ノ二割稅ト云フモノハ、是デハ計算ガ到底立チマセヌ、相當ノ率マデ引上ゲテ、其他ノ方法ト併セテ、是非日本ニ於テモ此工業ヲ起シタイト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○岩切委員 段々聞キマス、千噸位ノ需要ノ中デ、八百噸位ハ日本デ造ルト云フ話デアリマスガ、サウシマテト、今ノ御答辯デハ、尙ホ是デハ日本デハ十分デナイカラシテ、此際他ノ染料ノ如ク保護スル時期ニ至ラナイト云フ御説ノヤウニ承リマシタ、八百噸位出來ルト云フ話ヲシテ居リマスガ如何デスカ

○平野商工技師 マダ其處マデ達シテ居リマセヌ、只今ヤッテ居リマスノハ、極ク僅カデアリマシテ、殆ト試驗規模デヤッテ居ルダケデアリマシテ、何噸ト云フ數量ハ出テ居リマセヌ

○岩切委員 人造藍以外ノモノニ對シテハ、少シシカ出來ナイモノデモ、非常ニ高イ保護ヲサレマスガ、此方ハ多少二百四十三ニ掲ゲタ場合ノ御精神トハ、少シ違フヤウデアリマス、然ラバ二百四十三ノ方ハ、非常ナ國策上大問題デアッテ——是ハ論ジ盡サレテ居リマスカラ、モウ論ジマセヌガ、或ハ國防上カラ必要デアアル、日本ノ産業ノ上カラドウシテモヤッテ行カナケレバナラヌ、サウ云フ基礎ノ上ニ政府ハ保護ト云フコトヲ盛ニ主張シテ、年々多額ノ補助ヲヤッテ、染料會社ナドヲ保護シテ居ラレルノデアリマスガ、需要者ノ側カラ云ヘバ、只今長イ間質問ガアリマシタ如ク、非常ナ不便ガアル、製造家ノ側カラ云ヘバ、是デハ不十分デアアル、此點ニ當局モ餘程御困リデアラウト思ヒマス、假ニ之ヲ他日ハ需要者側ニモ便宜ヲ與ヘルトシテ、今日之ヲ徹底的ニ保護シテ、十分國策ノ上カラ、染料工業ノ基礎ヲ固メテ行クト云フ方針ノ上カラ、マダ此稅率デハ足りヌト云フ議論ヲ爲ス者ガアリマスガ、當局ハ十分是デ見込ガ立ツト云フノデアリマスガ、其點ハドウ云フ御方針ニナッテ居リマスカ

○平野商工技師 是ハ此稅率ガ十分デアルカ、不十分デアアルカト云フコトハ、色々ノ場合ニ應ジマシテ違ッテ參リマス、詰リ外國ガ日本ノ市場ヲ奪返シタイトカ何トカ云フ氣ガナクテ、普通ニ

國內デ賣ッテ居ルヤウナ相場デ日本デモ賣ッテ居ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、只今此三割五分位ノ稅デ以テ十分ニ日本ノ工業ハ保護サレルモノト認メテ居リマス、而シサウデナイ場合詰リ日本ノ市場ハ非常ニ重要ナ市場デアルカラ、是ハ是非奪返サナケレバナラヌト云フヤウニ考ヘル場合ニ於キマシテハ、國內ニ賣リマス値段ヨリモ、モット安く賣ル、サウ云フ場合ニナリマス、此三割五分ノ稅デハ甚ダシク足リナイト云フヤウナ場合モ出テ參ルノデアリマス、一概ニハ是デ十分デアルトカ、不十分デアルトカ云フコトハ申上ゲ兼ねルト思ヒマス、併ナガラ一方ニ於テ考ヘナケレバナラナイコトハ、染色工業ノ上ニ及ボス影響デアリマス、殊ニソレガ内地ノ需要ニナリマスモノナラバ、御互ニ我慢シテ此重要工業ノ爲ニ四五年辛抱シテモ宜イト云フコトモ言ヘルカモ知レマセヌケレドモ、此輸出セラレル品物ニ付テハ、サウハ參リマセヌノデアリマス、成ベク其點ヲ考ヘマススト云フト、稅率ハ安クシテ置クコトガ宜シイヤウニ思ハレルノデアリマス、サウ致シマススト云フト、此輸出ノ染色物ニ對シマシテハ、自ラ其忍ビ得ル範圍ガアラウト思フノデアリマス、餘リ高ク稅ガ掛カリマススト云フト、生産品ニ影響ヲ及ボシマシテ、外國ヘ行ッテ外國品トノ競争ガ困難ニナルト云フコトガゴザイマスカラシテ、自

ト云フコトガゴザイマスカラシテ、自

ラ程度ガアルト考ヘマス、忍ビ得ル程

奥村君

度ガアリハシナイカト考ヘマス、只今

局ガ反對ノ立場ニ居ル者ノ獨斷的ノヤ

ノ赤ノ中ニアルカナイカ

○平野商工技師

ノ三割五分ガ忍ビ得ル其程度ニ當ッテ

私モ各員カラ御質問ニナリ、ソレニ對

居リハシナイカト思ヒマス、而モソレ

○奥村委員

所ガソレハ褪色シマセヌ

居ルト考ヘマス、是以上ノ稅ヲ掛ケル

シテ當局カラ御答辯ニナッテ居ルノデ、

布ノ染タモノハ約一億六千萬圓程輸

○平野商工技師

コトガゴザイマス、輸出染色物ニ對

大體ヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、併

出品ガアルサウデアリマス、ソレニ大

○奥村委員

シテ惡影響ヲ及ボスコトニナリハシナ

シ當局ノ御答ニ依リマス云フト、委

關係ガアル、此品ハ其程度ノ色揚ゲデ

○奥村委員

イカト思ッテ居リマス、是ニ於テ其忍ビ

員諸君カラ御尋ノアリマシタ輸出品ノ

辛抱シテ置ク、斯ウ云フヤウナコトハ

○奥村委員

得ル程度ト致シマテ三割五分ヲ今日

競争ニ對シテハ、ソレヲ認メテ居ナイ

國內ノ者ニハ強ユルコトガ出來テモ、

○奥村委員

其儘存置致シマシタ、其他ノモノハソ

ト云フヤウナ口吻ガアリ、又制限令ノ

海外的ニハサウ云フコトハ一體通ラス

○奥村委員

レデハ到底保護ハ出來ナイト云フ點

爲ニ輸入許可ノ申請ヲスル、其事ニ付

ノデアリマス、故ニ此武藤山治氏ヲ私

○奥村委員

ヲ、只今ノ輸入制限令ニ依テ補フト云

テハ倉元委員カラ御尋ヲサレマシタ

ガ訪問致シマシタ時ニ、武藤山治氏ノ

○奥村委員

フ風ニナッテ居リマス

所、左様ナコトハナイ、斯ウ云フヤウナ

答ヘラレタ言葉カラ申シマス云フト

○奥村委員

○岩切委員

モウ一ツ聞キマスガ、番

ト、染揚ハ綿ノ製品ニ適スル、家庭的ノ

○奥村委員

號二百四十三ノ媒染染料及酸性媒染

或物ハ外國品ヨリモ良イ、斯ウ云フコ

染方ノモノデアアル、其時ニ見劣リノス

○奥村委員

料ト、第六ノ染料ニ於テ工業組合ノ意

トデアリマス故ニ、私ハ時間ヲ尊重致

ニ向ッテ、吾々ハ少數デアアルガ、君ハ議

○奥村委員

見トシテ、之ヲモウ一ツ分離シテ大分

シマシテ事實ヲ品物ニ依テ貴方ニ

員トシテ出テ居ルノデアアルカラ、幸ニ

○奥村委員

率ノ多イ粉狀ノモノト、其他ノモノニ

當局ニ御示シタイト思ッテ居リマス、

當局ニ質疑スル機會ガアルカラ是非ソ

○奥村委員

分ケテ之ニ課稅スル方ガ宜イト云フ

ソレカラ又當局ノ御説明ニ依ルト云フ

レヲヤッテ吳レト云フ御話デアッタ、是

○奥村委員

ウニ盛ニ言ッテ居リマスガ、御考ハ如何

ト、反對側ノ方ノ宣傳ニ吾々ガ迷ハサ

ニ於テ御尋シタイノハ、赤ハ獨立シテ

○奥村委員

デアリマスガ

レテ居ルヤウナ御口吻デアリマシタ、

居ルト認メラレルカドウカ、一寸御尋

○奥村委員

○平野商工技師

是ハ大體粉狀ヲ基礎

致シマシテ計算ヲ致シタノデアリマ

○奥村委員

ス、但シ最初此稅ヲ盛ル爲ニ取リマシ

カナイト思ヒマシテ、全國的ニ紳士ト

シ、或ハ此染物業ニ付テモ見識ヲ持ッテ

○奥村委員

タ染料ガ、先程申シマシタヤウニ、日本

居ラレト世間モ許シテ居ル所ノ武藤

山治氏ヲ私ハ宅ニ尋ネマシタ、サウシ

○奥村委員

ノ是カラ保護シテヤルト云フモノヲ選

テ一方染料ヲ扱フ商人或ハ地方ノ織物

組合ナドノ代表者カラ提供致シマシタ

○奥村委員

ビマシタ爲ニ、其率ガ低クナッタ次第デ

所ノ染上リ物ヲ持ッテ行ッテ見セマシ

來上リガアリマスガ

○奥村委員

アリマス

テ一方染料ヲ扱フ商人或ハ地方ノ織物

組合ナドノ代表者カラ提供致シマシタ

○奥村委員

○岩切委員

モウ私ハ止メマス

○奥村委員

此酸ニ耐ヘル良イ方ノモ

○加藤委員

ソレデハ太田君ガ居リ

○奥村委員

日本デスヨ

○山本委員

私ハ都合デ止メマス

○奥村委員

日本デハ出來テ居リ

○加藤委員長

宜シウゴザイマスガ、

ガ、之ニ付テサウ致シマス云フト、當

○奥村委員

マセヌ、出來タノハドン、許可致シマス

○奥村委員 許可ヲ願フト當局ハ許可ガ遅イ

○平野商工技師 サウ云フコトハアリマセヌ

○奥村委員 サウ云フコトハナイト云ツテモ、當業者ハサウ言ツテ居リマス、

商工省ハ月島ニ工業試験場ガアルニ拘ラズ、當局ハ日本染料會社ニ諮問サレテ之ヲ許シタガ善イカ惡イカ、斯ウ言ツテ居リマス

○平野商工技師 チョット是ハ妙ナコトデアリマスガ、見本ガ果シテ善イカ惡イカト云フコトハ、獨逸カラ申シマス、日本ノ物ハ丁度原告ト被告ノヤウナ關係ニナツテ居リマス、隨テ獨逸ハ是ハ良イ、日本品ハ惡イト言ツテ參ッタ場合ニハ、被告デアアル日本ノ製造業者ヲシテ、先ヅ第一ニ判セシメル方ガ、

私共中間ニ居リマス者ニ於テハ最モ好イ判斷ヲシ易イ爲ニ、サウ云フコトヲヤツテ居リマス、ソレガ私ハ最モ正當ナル方法ト認メテ居リマス

○奥村委員 只今御答辯デ驚キマシタルハ、省ノ下二月島ニ工業試験場ガアルニ拘ラズ、被告ノ立場ニ居ル日本染料會社ニ諮問シタ方宜イト云フノガ、ソレガ適當ナルモノト御信ジナリマス

○平野商工技師 適當ナモノト信ジテ居リマス

○奥村委員 尙ホ外ノ品ニ依リマシテモ、此處デ委員諸君ニモ政府委員ニモ御示致シマスガ、是ガ獨逸品デ、是ガ日本品デス、之ヲ斯ウ透シテ見ルト色合ガ違フカラ、其色迄ニ染メヤウトスルト、白イ所ガ黄ニナルト云フ關係ガアル、是ハ能ク試験ヲシテ居ルカ居ラナイカ

○平野商工技師 サウ云フ場合ニハ既ニ許シテ居リマス

○奥村委員 許シテ居ルト言ツテモ當業者ハ左様ニ申サナイ

○平野商工技師 澤山毎日何件ト出テ參リマスノデ、中ニハ吾ミ間違ヘテ斯ウ云フ場合ガ起ラナイトハ申上ゲ兼マ

スガ、併ナガラ大體ニ於テ内地品ヲ以テ到底間ニ合ハナイ場合ハ許可ヲ與ヘテ居リマス

○奥村委員 私ハ今現物迄持ッテ行ッテ當局ニ見テ頂クコトハ、聊カ強過ギルカモ分リマセヌガ、昨日來同僚カラ當局ニ質問シ、其答辯ハ一方ノ外國品ヲ拵フ其人ヲ擁護スル辯護士ノ立場ノ如キ口吻デ、反對側ノ反對意見ヲ聽イテ居ルト云フ口吻デアリマスカラ持ッテ行ッタノデアリマス、併ナガラ最後ニ至ッテ稍緩和シタ、稍自由の御答辯ヲ得マシタノデ、我國ノ當業者ノ爲ニ喜ビマス、之ヲ扱フ人ノ爲デナイ、是ハ國產獎勵ノ意味ニ於テ、此點ニ於テ、最後ノ言葉ヲモウ少シ改メルコトハ近キ中ニ在ルト思ヒマス、是ハ討論ノ際

ニ申シマスガ、尙先程倉元君ガ言ッタルハ此事ダラウト思ヒマス、本年一月二十一日、二六興信所内報ニ斯ウ云フコトガアル静岡情報ト書イテ「遠江織物組合デハ曩ニ獨逸製染料「カチゲンレツドブルー」「三「アール」「萬「キロ」ノ輸入許可ヲ商工省ニ出願シタガ、國產獎勵ノ意味デ染料輸入禁止トナツテ居ル折柄トテ、同省デハ日本染料會社ノ「ブリユウ、エフ、スベトシヤル」ヲ代用品ニ使用セヨト云フノデ、二十日二十一日ノ兩日、比較試験ヲ行ッタ所、獨逸製ハ硫酸分ガ出テモ一回ノ水洗デ除去サレルニ反シ、日染ノ製品ハ再水洗ヲ要シテ、而モ色艶惡シク一玉二十錢以上ノ高價ニ付ク」二十錢以上ト云フト一割高イコトニ當ルサウデアリマス、此新聞ハ事實ヲ誣フルモノナラバ別問題デアリマスガ、出願スルト直ニ許可スルト云フガ、是ハドウ云フヤウナ部額ニ入りマスガ、日本ノ物ナラズウ云フ風ナ手續デナケレバ許可ニナラナカッタカドウカ、是モ伺ヒマス、是モ最後ハ許可ニナツテ居リマス

○平野商工技師 其問題ハ複雑シテ居リマスノデ、詳シク御説明申サナイト御了解ガ困難カト思ヒマスケレドモ、最後ノ事ヲ申シマスレバ許可ヲ致シテ居リマス、サウ云フ缺點ガアリマス場合ニハ許可シテ居リマス

○奥村委員 斯ウ云フトキニハ速ニ許可ニナリマスナ

○平野商工技師 速ニナリマス

○奥村委員 サウシマススト私ハ……

○加藤委員長 今實際ノ物ヲ示シテ色色質問應答ガアツタヤウデアリマスガ、政府當局者ハ寧ろ懇談的ニ話ヲシタガ了解ガ出來ルダラウカラ、休憩ヲシテ、サウシタイト云フノデスガ、其方ガ宜クハアリマセヌカ

○奥村委員 御都合ガ惡ケレバ速記ヲ止メテモ宜ウゴザイマスガ、吾ミハ懇談的デナシニ十分言ツテ置キマセヌト、吾ミガ國民ノ代表トシテ言ツテモ、當局ノ御答ニハ針ガアルヤウデ、反對側ノ宣傳ニ迷ハサレルヤウニ仰シヤル、是ハ怪シカラヌ話デアリマス、是ハ速記録ヲ見テ改メテ當局ニサウ云フ事實ガアレバ、御取消ヲ願フ時期ガアラウト思ヒマス

○加藤委員長 諸君ノ御考デ、何レデモ宜ウゴザイマスガ……

○星島委員 私ノハ根本問題デアリマスカラ、休憩前ニ簡單ニ……

○加藤委員長 ソレデハ十分カ二十分休憩シテ懇談スルコトニ致シマス

「賛成」ト呼フ者アリ」

○加藤委員長 ソレデハサウ云フ事ニ取計ヒマス

午後四時一分休憩

午後四時二十六分開議

○加藤委員長 是カラ先刻休憩前ノ質問ヲ繼續致シマス——奥村君

○奥村委員 是ハ討論ノ際

ニ申シマスガ、尙先程倉元君ガ言ッタルハ此事ダラウト思ヒマス、本年一月二十一日、二六興信所内報ニ斯ウ云フコトガアル静岡情報ト書イテ「遠江織物組合デハ曩ニ獨逸製染料「カチゲンレツドブルー」「三「アール」「萬「キロ」ノ輸入許可ヲ商工省ニ出願シタガ、國產獎勵ノ意味デ染料輸入禁止トナツテ居ル折柄トテ、同省デハ日本染料會社ノ「ブリユウ、エフ、スベトシヤル」ヲ代用品ニ使用セヨト云フノデ、二十日二十一日ノ兩日、比較試験ヲ行ッタ所、獨逸製ハ硫酸分ガ出テモ一回ノ水洗デ除去サレルニ反シ、日染ノ製品ハ再水洗ヲ要シテ、而モ色艶惡シク一玉二十錢以上ノ高價ニ付ク」二十錢以上ト云フト一割高イコトニ當ルサウデアリマス、此新聞ハ事實ヲ誣フルモノナラバ別問題デアリマスガ、出願スルト直ニ許可スルト云フガ、是ハドウ云フヤウナ部額ニ入りマスガ、日本ノ物ナラズウ云フ風ナ手續デナケレバ許可ニナラナカッタカドウカ、是モ伺ヒマス、是モ最後ハ許可ニナツテ居リマス

○平野商工技師 其問題ハ複雑シテ居リマスノデ、詳シク御説明申サナイト御了解ガ困難カト思ヒマスケレドモ、最後ノ事ヲ申シマスレバ許可ヲ致シテ居リマス、サウ云フ缺點ガアリマス場合ニハ許可シテ居リマス

○奥村委員 斯ウ云フトキニハ速ニ許可ニナリマスナ

○奥村委員 只今委員長ノ俗ナ言葉デ申シマス粹ナ御捌キニ依リマシテ、速記ヲ止メテ休憩ニナリマシタ、休憩中ニ當局者ト種々御懇談ヲ致シタノデアリマスガ故ニ、私ハ當局ニ對シテ御言明ヲ要求シテ置キマス、其事ハ營業者即チ織物業者カラ——染料ノ需要者カラ輸入制限ニ付テノ許可ノ申請ヲシタ場合ニハ、速ニ營業者ノ意思ヲ酌ンデ扱フト云フ、斯ウ云フ御言明ヲ願ッテ私ハ質問ヲ打切りマス

○宮内府委員 只今ノ御要求ノ通りニ、營業者ヨリ輸入制限ニ付テノ許可ノ申請ガゴザイマシタ場合ニ於キマシテハ、成ベク簡易ニ其手續ヲ終了スルヤウニ努力致シマス

○太田委員 私ハ簡單ニ一寸御伺ヒ致シタイノデアリマス、今度ノ染料ノ税率ガ改正セラレマシタル結果、從前ノ此三割五分ノ税率ヨリハ、税率ガ引上ゲラレルモノデハナイカ、其引上ゲラレタ結果トシテ、此關係ガ直ニ消費者ニ轉嫁サレテ、私ハ消費者ノ迷惑ニナル結果ニ至リハセヌカ、サウスルト一面ニ於キマシテ綿織物ノ減稅ヲ行ツタ、所謂社會政策ニ反スル結果ヲ生ジハシナイカ、之ヲ先ヅ第一ニ伺ヒマス、ソレカラ第二點ハ今ノ改正ノ關稅ハ甚ダ權衡ヲ失シテ、却テ不均衡ニナリハシナイカ、ソレハ改正前ニハ從價三割五分デアッタモノガ、今度ハ從量稅ニ改正セラレテ、先刻來御話ヲ伺ッテ見ルト、矢

張此三割五分程度ニ政府ハ見テ居ルカノ如クニ伺ヒマシタガ、私ノ聽キ誤リカ知リマセヌガ、若シ然リトスレバ、或物ニ依テハ三割五分ニナッテ居ル、或物ニ依テハ五割ト云フコトニナッテ、色ニ面倒ガアリマスケレドモ、結論トシテ價格ガ非常ニ高低ガアリマス、假ニ一例ヲ申セバ同ジ硫化染料ノ中ニモ一斤三十六七錢ノモノモアリ、三圓五十錢ト云フモノガアリマシテ、非常ニ高低カアリマス、其輸入スルモノノ平均率ヲ以テ掛ケラレタト云フコトハ、却テ均衡ヲ失スルコトニナリハセヌカ、三割五分ノモノヲ四割トカ四割五分ニ引上ゲルノガ公平ニ課稅ガ出來ハセヌカ、私ハ從價稅論者ト言ハレマスガ、高低ノ甚ダシイモノヲ從量稅ヲ掛ケルコトハドウカト思ヒマス、ソレカラ染料ノ獨立ノ爲ニ値上ラスルト云フ意味ニ於テ、國民ガ暫ク此高イ染料ヲ使フコトニ忍ブ、サウスレバ染料ノ獨立ガ出來テ、國產ノ自給出來ルノデアアル、斯様ナ意味ニ於キマシテ染料ヲ保護スルナラバ、ソレモ一理アルカ知ラヌ、然ラバ何時迄ヤレバ此見込ガ立チマスカ、當分ト云フヤウナコトデハ私ハ不完全ニ思ヒマス、若シ染料ガ我國デ獨立スル見込ニ於テ、此改正税率ニ依テ保護セラルルナラバ、亦一ツノ方策デアリマス、併ナガラ染料ノ獨立ノ爲ニ別ニ政府ガ保護獎勵ヲシテ居ルコトニハ關係ガ無い、此改正ハ從來ノ稅

率ニ依タモノデアルトスレバ、ナゼ從來ノ三割五分ヲ從量稅ニ改メルコトニナツタカ、此點ニ付キマシテ伺ヒタイ

○宮内府委員 第一點ハ高クナッテ居ルモノモアルカラ、國民ノ消費ノ上ニ非常ニ影響ヲ及ボスデアラウト云フ御尋ト拜承致シマシタ、物ニ依リマスト高クナッテ居ルモノモアルノデアリマス、併ナガラ一面ニ於キマシテハ先程モ縷々申上ゲマシタ通りニ、品質ノ良イモノデ我國デ製作ガ出來ナイト云フヤウナモノニ付キマシテハ、値段ガ高イノデゴザイマスガ、此方ハ安クナッテ居リマス、全體カラ押並ベテ之ヲ平均致シテ見マスト、差シテ變化ガアルモノデアラウト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ、第二點ニ付キマシテハ、何故ニ從量稅ヲ採ツタカ、斯ウ云フ御話デゴザイマス、區々澤山ノ數千種ト云フ染料ノコトデアリマスノデ、此間ニ於キマシテ値段ノ高低上下ノ差ノアルコトハ御說ノ通りデアリマス、併ナガラ品種モ色ニナッテ居リマス關係上、何時デモ其間ニ於キマシテ、非常ニ營業者カラ申シマシテモ、大變取引ノ上ニ於キマシテ不便ヲ感ズルヤウナ値段ノ定メ方ニ付キマシテ、紛議ガ起リ易イノデアリマス、ト云フコトハ延イテ取引ノ安全ヲ阻碍スルト云フコトニナリマスノデ、是ハドウ致シマシテモ其間ニ或ル一ツノ標準ヲ設ケマシテモ、甚ダ色ニナ不便ハ出テ來ルコトデアリマス

ケレドモ、ソレヨリモ我國ニ於キマシテ出來テ居ル重要染料ニ付テノ品種ノ或ルモノヲ打ッテ一團ト致シマシテ、平均ヲ致シテ、掛ケテ行ク方ガ、從價稅デ取引ノ安全ヲ阻碍スルヨリモ優ッテ居ル、斯様ニ信ジタ次第デゴザイマス

○太田委員 ソレデハ尙ホ伺ヒマス、此價格ノ内容ニ付テハ、今御話ノ通り數百種アッテ價格ニ相違ガアリマス、其中デ最モ我國ニ於ケル所ノ多量ヲ必要トスル物、若クハ我國ニ於テ生産スル物等ニ付テ基礎ヲ置イテ此染料ノ平均ノ從量稅ノ價格ヲ御提案ニナリマシタモノト致シマスレバ、其基礎ガ御手許ニ御在リニナルト思ヒマス、ソレヲ戴キマシタナラバ、果シテ從量稅ガ至當デアアルヤ否ヤト云フコトガ判明シテ審議セララル上ニ於テ便宜デアルト思ヒマス、ソレガ御分リニナレバ御差支ナイ限リハ御示シテ願ヒタイ、モウ一ツハソレガ出レバ自然分ルカ知リマセヌガ、營業者ノ申出タ所ニ依リマスト、或物ハ二十七割若クハ或物ハ九割六分ト云フヤウナ重稅ガ、此税率ニ掛ケラレルト云フコトモアリマス、サウスルトモノハ要スルニ非常ニ安イモノバカリ見テ斯ウヤツタカラ、斯ウ云フコトニナツタ、政府ノ見ル所ニ依テ見テ、多數ノ國民ガ使用シ多數ノ必要ヲ感ジテ居ル品物ニ付テハ、決シテ斯様ナ重稅ニナラヌデ、三割五分若クハ四割ノ範圍内ニ置イテアルモノデアルト云フ御辯

明ガ出來マスカ、サウ致シマスレバ當業者ノ言フ所ハ全然虛構ナモノト思ヒマス、但シ從量稅ノ結果ガ、私ノ憂フル所ハ寧ロ此政府ノ御說明ト反對ニ、從量稅ノ爲ニ價格ノ點ニ於テ非常ナ差ガアル、而シテ量ニ於テモ質ニ於テモ大差ガアルカラ、之ガ從價稅ニナッタ方ガ肯綮ニ當リハシナイカト云フコトヲ飽迄モ思ヒマス、是ハ私ノ意見デアリマスカラ、意見ノ相違トシテ、要スルニ當業者ノ出シタ參考書ノ市價ガ全ク間違デアルト云フコトノ御見込デアリマスカ、ソレカラ先刻質問ヲ致シマシタ中一ツ殘ッテ居リマスノハ、染料ノ獨立ト云フ爲ニ、今度ハ關稅定率ヲ改正シタノデナイ、内地ノ產業保護ノ意味ニ於テ改正ヲシタ、若シ内地ノ產業保護ト云フコトニ染料ノ獨立ガ此間ニ含まレテ居ルナラバ、他ノ方法ニ依テ政府ガ保護シテ居ルカラ、關稅政策ニ關係ガ無イ、斯ウ云フ風ニ見テ宜シイノデアルカ、關稅政策ト兩方併セテ其處迄行ッタモノデアルカ、ソレカラ消費者ノ多少アル物ニ付テハ上ルト云フ御話ガアリマシタ、國民ノ多數ニ使用シテ居ル綿織物ハ、私ハ染料ヲ餘計要スルト思フ、本綿ガ八十錢カソコラノモノヲ染上ゲテ二圓五十錢三圓ニナルノハ、染料ト型ト工賃ガ多イカラデアル、裏地ノ如キモノハ染料ガ要ル、斯ウナルト染料ガ高クナルト云フコトガ消費者ニ轉嫁サレル、サウシテ所謂生活費ヲ向

上サセルコトガ面白クナイ、ソレデ引上ガドウデアラウカ、ソレハ大シタ影響ガ無イト仰シヤレバソレデ宜シイ
○宮内府委員 第一點ニ付キマシテハ、上ッテ居ルモノモアルノデゴザイマス、其點ハ飯塚君ヨリ御請求ガアリマシタノデ、表ヲ作リマシテ御覽ニ入レマス、上ッテ居ルモノモアルノデゴザイマスガ、全體ニ於キマシテ矢張三割五分位ノ程度ノモノデアアル、斯様ニ信ジテ居ルノデゴザイマス、ソレハ先程モ申上ゲタ通りデアリマス、併ナガラ單ニ上ッテ居ル品種ニ付テ見マシテモ、其品種バ我國ニ於テ多量ニ生産ノアルモノデゴザイマシテ、内地ニ於ケル自然ノ競争ガ激シイノデゴザイマス、ノミナラズ餘リニ競争ガ激シイノデ、ドウカト思ハレル程マデニ競争ガ激シイ品種ガ多イノデゴザイマスノデ、例ヘバ假ニソレガ上ッテ居ルト致シマシテモ、其上ッテ居ル品種ニ付キマシテモ、左程ノ影響ハ被ラナイト信ジテ居リマス、ノミナラズ一面ニ於キマシテ、輸入製品ガゴザイマスノデ、若モ之ヲ引上ゲルト云フコトニナレバ、其方カラモ矢張競争ヲ受ケルノデアリマス、單ニ上ッテ居ル方ノ品種ニ付キマシテモ、左様な價格ノ常態ヲ案スモノデハナイト考ヘルノデアリマス、尙ホ從量稅ニスルヨリモ、從價稅ガ宜イト云フ御說モゴザイマシタガ、是ハ意見ニ屬スルカラト云フ御話デゴザイマシタガ、此點ニ

付キマシテモ、尙ホ一應申上ゲテ置ク方ガ宜イト考ヘマスノデ、簡單ニ申上ゲマスガ、何様染料ノ品種ガ澤山ニゴザイマス、ソレニ對シマシテ、一々ノ品種ニ付テ價格ヲ調ベルト云フコトハ到底出來マセヌ、ノミナラズ染料價格モ非常ニ變動ヲ致シテ居リマシテ、或ル一團ヲ捉ヘマシテ其平均ヲ取ッテ從量稅ニシタイト云フ考ハ從來カラ持ッテ居ッタ者デゴザイマスガ、何様價格ノ變動ガ激シイモノデスカラ、ソレモ出來マセヌデ、ヤット今度先ヅ是デ安定シタト云フヤウナ見据エガ付キマシタノデ、全體ニ付キマシテ太田君ノ所說ノヤウニ致シマスレバ最モ宜シウゴザイマセウケレドモ、ソレハ事實數十種アル染料ニ付テハ到底出來ナイノデアリマス、我國ニ於キマシテモ、利害關係ノ深イ染料工業上、確實ヲ必要トスル品種ニ付テ一團トシテ遺ルノデゴザイマス、何故然ラバサウ云フコトヲ致シタカト申シマスニ、是ハ一面ニ於キマシテ或ル品種ニ付キマシテモ品位ニ非常ニ相違ガゴザイマス、品位ニ相違ガアルト云フコトハ、隨ヒマシテ價格ニ相違ガアルト云フコトニナリマス、價格ニ相違ガアリマスレバ、其價格ハ幾ラデアルト云フコトヲ稅關ニ於テ判斷致シマス場合ニ、中々容易ノ仕事デハナイノデアリマス、稅關ニ於キマシテ、濃度ヲ計ッテ價格ヲ算定スルト云フコトハ、容易ニ出來ルコトデハナイ、隨ヒマ

シテドレ位稅率ガ掛カルト云フコトニ付キマシテ、當業者諸君ニ於テモ、ソレヲ判定スルコトガ困難デアルト云フコトニナッテ來ルト、延イテ取引上ノ不安ヲ惹起ス、斯様ニナリマスノデ、通關ノ上ニ於キマシテ其便宜ヲ得タイト云フコトガ一ツデゴザイマス、ソレカラ尙ホ斯ウ云フ點モ考慮致シテ居ルノデゴザイマス、實ハ從價稅ニナリマス、往々ニ致シマシテ申告價格ノ上ニ於キマシテ、或ハ低イト云フヤウナ稅ガアルト云フ場合モ生ジテ來ルノデアリマス、其點ハ大藏省ニ於テ、通關ノ上ニ十分御取調ベ下サルコトハ萬々信ジテ居リマスケレドモ、併ナガラ澤山ノ品位ニ付キマシテ、サウシテ斯様ニ殺到シテ來ルト云フ場合ニ於テハ、中々容易ナコトデハナイノデゴザイマス、若シ從價三割五分ト云フモノニ相當スルダケノ稅ガ掛カラナイト云フコトニナリマシタナラバ、稅法ノ上ニ於テハ三割五分ニナッテ居リマシテモ、實際ニ於テハ左様デナイト云フ點ガナイデモナイノデアリマス、サウ云フ點ヲ持チマシテ、ドウシテモ從量稅ニシテ、今後ノ徹底ヲ期シタイ、斯様ニ信ジテ居ル次第デゴザイマス
○星島委員 私ハ専門外デ一向分リマセヌガ、唯門外漢ト致シマシテ、二三點御同致シタイ、一括ヲシテ御尋ヲ致シマスカラ、一括シテ御答ヲ願ヒマス、私ハドウモ關稅ノ改正ニ當リマシテハ、

常ニ生産者ト消費者トノ關係ガ「デレンマ」ニ陥ッテ居ルと思フ、其中デ最も模範的ニ其「デレンマ」ニ陥ッテ居ルモノハ此染料問題ダと思フノデアリマス、之ニ付キマシテ政府ノ根本ノ最初ノ組立ヲ伺ッテ置キタイと思フ、一體是ハ約二千萬圓位ニ近イ輸入デアリマス、此二千萬圓近イ輸入總額ノ中デ、加工原料トシテ出スモノガ極メテ少クシテ、サウシテ國民ノ消費ノ方ガ多ケレバ、私ハ寧ろ増稅率ハナイ方ガ宜イダラウト思ヒマス、併ナガラ其大部分ガ加工原料トシテ出シマフモノナラバ、是ハ一ツ徹底的ニ稅率ヲ殖ヤシタ方ガ宜イト思ヒマス、其金額ノ如何ニ依テ、大分此問題ノ立テ方ガ——或ハ保護スル、或ハ稅率ヲ引上ゲルト云フコトニ付テノ基礎ニナルノデスガ、中ムヅカシイト思ヒマスガ、大體政府ニ於キマシテハ、此多クノ輸入ノ中デドノ程度マデ、何割位マデ、國內ニ於テ消費サレ、ドノ位ハ加工原料トシテ出テ行クノカ、政府ニ於テハ既ニ御見積ガ付イタゴザイマセウカラ、私共ハ全ク畑違ヒデアリマスカラ、サウ云フモノヲ基礎ニシテ考ヘテ見タイと思ヒマス、今一ツハドウシテモ稅率ヲ上ゲテ製造會社ヲ保護スル、殊ニ染料ハイザト云フ場合ニハ、軍需製品ニナル場合ガアリマスカラ、現ニ多年ノ間配當保證ヲシテ保護ヲシテ來タ油脂工業ト、染料工業ハ、サウ云フ意味ニ於テ特

殊ノ保護ヲシナケレバナラヌ狀態ニアルト思フノデアリマス、油脂工業ハ大分發達シテ來テ、殆ド獨立シテ來タニ拘ラズ、染料工業ハ中ニ幼稚デアル、ソレヲ保護スル爲ニ、一方消費者ガ困リ、全ク「デレンマ」ニ陥ッテ、忠ナラント欲スレバ孝ナラズト云フ譯デ、洵ニ判定ニ苦シムノデゴザイマスガ、此關稅デ以テ之ヲ保護スルト云フヤウナ政策ハ止メラレテ、今マデ研究費トカ獎勵費トカ、又配當保證ナドノ經費ガ出サレテ居リマスガ、今日ドレ程其金額ガ出サレテ居リマスガ、若シ此稅率ヲ上ゲテ保護シナイデ、段々消費者ノ便利ニナルヤウニ稅率ヲ下ゲテ行キ、徹底的ニ、ソシテ大事ナモノナラバ、之ヲ保護スルニ研究費トカ獎勵費トカ云フモノヲ以テスル——ドノ位出テ居ルカ私ハ知リマセウガ、ソレヲウント出シテ、サウシテ會社ヲ成ベク活カスト云フ御考ハナイノデアリマセウカ、今日ドノ位ノ數字ガ出テ居リマスガ、若シモソレヲ殖ヤシテ、サウ云フモノヲ活カシテ行ッテ研究サレテ、サウシテ之ヲ得セシムルヤウニスル、其代リニ消費者ノ方ニハ便利ナヤウニ、或ハ加工原料トシテ十分ニ内地ノ儲ケニナルヤウニスレバ、私ハ茲ニ折衷的ナ妙案ガ出ルノデヤナイカト思フノデアリマスガ、今日ドレ程獎勵費ヲ出シテ居ラレカ、今後之ヲ大ニナサレル御意思ハナイカ、ソレヲ伺ッテ見タイノデアリマス、ソレカラ油脂會社ノ方ハ、既ニ合併ナ

ンカシテ大分淘汰サレテ居ルヤウデアリマスガ、ソレガ今日内地ニドノ位數ガアルカ、今日吾々ノ知ッテ居ル範圍デモ二三アルガ、政府ハ徹底的ニサウ云フ各會社ニ競争ヲ遣ラセナイデ、是ノ合併ヲ強要ナサツテ、サウシテ銘々ノ特長アル品物ヲ十分ニ發揮セシメル、サウ云フ所マデ政府ハ出ラレル御意思ハナイカ、政府ハ消費者ノ利益ヲ第二ニシテマデモ、之ヲ保護セントスルノデアリマスカラ、政府ハ此會社ノ合併ヲ——研究費ヲ増スト同時ニ、強要ナサリ、獎勵ナサル御意見ハナイノカ、是非常ニ重要ナ事ト思ヒマスカラ伺ッテ見タイト思フノデアリマス、尙ホ一體此染料工業、是等ニ對シテ列國ハドウ云フ方針ヲ執ッテ居ルカ、是ハ吾々ニハ一向分ラナイノデアリマスガ、殊ニ英米佛ノ國々ハ一體染料工業ニドウ云フ方針ヲ執ッテ居ルカ、極メテ簡單ニ御説明ガ願ヘレバ仕合セダト思フノデアリマス、尙ホ極メテ書生論デアリマスガ、是等ニ對シテ當局ノ頭ノ中ニドウ云フ根本ノ考ヲ持ッテ居ラレカ伺ッテ見タイト思フノデアリマスガ、私共ハ日本人ハ色ヲ好ム國民デアアル、色ト云ッテモ誤解ヲサレテハ困リマスガ、色ミノ模様ヲ好ム婦人ハ、赤イ湯モジヲ、男子ハ紺ノ印半纏ヲ好ム、其他單純ナ色デナク色ミノ色彩ヲ好ム、世界中デ一番色彩ヲ好ム國民ダト思ッテ居リマスガ、一面カラ云ヘバ美術思想ノ發達シタ國民ダト

云ッテモ宜シイヤウニ思ヒマスガ、又一方カラ解釋ノ仕様ニ依テハ奢侈品トモ見ラレルノデアリマス、政府ニ於テハ之ニ對シテ美術思想ノ發達ト云フコトカラ考ヘテ見ルト、斯ウ云フ稅率ヲ掛ケルコトガドウカト思ハレルノデスガ、政府ハ一體色彩ヲ好ム國民トシテ考ヘテ居ラレカ、ソレトモ奢侈的ノモノデアルト考ヘテ居ルカ、ソレ等ハ出發點ガ違フト思フノデアリマスガ、ソレ等ニ對スル根本ノ考ヲ簡單ニ御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○宮内府委員 染料ノ全體ハ輸入生産、ソレヲ合セマシタ三十五「パーセン」トノモノハ之ヲ外國ニ出シテ居リマス、尙ホ金額等ニ付テ詳細ナコトハ若シ御必要ガアレバ差上ゲマス、第一點ハ關稅ヲ廢止シテ、サウシテ他ノ方法ヲ以テ之ヲ保護シタラ宜イデハナイカ、斯様ナ御質問ノヤウニ拜承致シマシタガ、併ナガラ政府トシテ考ヘテ居リマスルコトハ、或ハ補助ニ依リマストカ、其他ノ一本調子デ行クト云フヤウナコトハ出來ナイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、ソレハ關稅ヲ以チマシテ今日我國ノ重要染料ト云フモノヲ保護スルト云フコトハ、是ハ平時ニ於ケル當然ノ場合デゴザイマシテ、何レノ國ト雖モ關稅ヲ以チマシテ相當ニ競争力ヲ與ヘテ行クト云フコトハ異議ノナイコトデアルト思ヒマス、併シ當リ前ノ途ヲ踏ミマシテ、常時ニ於テ是

ダケノ保護ヲ加ヘテ置キマシタナラバ、即チ我國ニ於テ工業ガ漸次ニ發達致シマシテ、將來ニ於テ安クナリマシテ、安ク製作ノ出來ルヤウニナリ、隨テ只今星島君ノ仰セノ如ク消費者ニ對シテ安イ品物ヲ供給スルコトガ出來ルト思ヒマス、斯様ナ場合ニ關稅ヲ引下ゲルト云フコトハ出來ルデゴザイマセウ、併ナガラ一面ニ於テ非常ニ重要ナ工業デゴザイマスノデ、或ル點マデハ國民ガ不便ヲ忍ビマシテモ、之ヲ保護シテサウシテ確立サシテ行カナケレバナラスト斯様ニ信ジテ居リマス、是本會等ニ於テモ大臣ヨリ申上ゲタコトト存ジマスケレドモ、染料工業ノ貴イノハ染料工業タルガ故ニ貴イノデハアリマセヌ、染料工業ハ即チ化學工業ノ基礎ヲナスモノデアル、凡百ノ化學工業ハ此處ニ基礎ヲ置イテ居ルノデアリマス、我國ニ於テ化學工業ノ發展ヲ期スルニハ、此點ニ大努力ヲシナケレバナラヌコトハ、私が申上ゲルマデモナイノデアリマス、原料ト申シマスレバ御承知ノ通りナイノデアリマシテ、此原料ニ加工スルト云フコトガ化學工業ノ主ナルモノニナツテ居ルノデアリマス、故ニ政府ニ於テ工業試驗所ヲ置キ、民間ニ於テ工業試驗所ヲ置イテ居リマスガ、其大部分ハ此化學工業ノ使命ヲ持ッテ居ルノデアリマス、是ハ國情トシテ當然ノコトデアリマス、我國ニ於キマシテ化學工業ニ染料ヲ度外シタ

ル工業ハナイノデアリマシテ、凡百ノ化學工業ノ基礎ハ染料工業ノ上ニ在ルノデゴザイマス、獨リ染料ヲ拵ヘルト云フコトバカリガ染料工業デハナイノデアリマス、之ヲ基礎ニシテ染料ヲ製造スルノデアリマス、凡百ノ化學工業ハ其所ニ建設サレ、世界ノ文化ニ追從シテ行クコトガ出來ルノデゴザイマスカラ、此化學工業ハ我が國情カラ考ヘテ最モ必要デアリ、化學工業ノ基礎ヲ有スル染料工業ハ、其意味ニ於テ最モ重大ナル使命ヲ持ッテ居ルモノデアリマス、隨テ染料工業ハ我國ノ産業ノ基礎ヲナスモノトシテ政府ハ最モ力ヲ注イデ居ル次第デゴザイマス、此點カラ申シマシテ、獨リ關稅ヲ以チマシテハ此希望ヲ達スルコトガ出來マセヌ、故ニ政府ニ於テハ過去ニ於テ染料醫藥品ノ獎勵法ヲ以チマシテ、今日ニ至リマシテ千四百萬圓マデノ補助ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス、然ルニ此損失ヲ填補致シマシテ、更ニ利子ヲ補助スルト云フヤウナ様ナ保護ヲ致シマセヌデモ、將來ニ於テ我國ニ於テ必要デアリマス又需要最モ多イ二重品種ト云フモノニ付テ、或ル數量ニ付テ生産ノ補助ヲ致シマシタナラバ、之ガ數年ナラズシテ發達スルコトガ出來ルダラウト斯様ニ信ジマス、一方ニ補助ヲ致シマス同時ニ、一方ニ於テ關稅ヲ以テ相當ナ競争力ヲ與ヘル、斯様ナ根本ノ考ヲ持ッテ居ル次第デアリマス、尙ホ次

ノ御尋ハ群小ノ染料工場ガ澤山アルデハナイカト云フ御尋、其通りデゴザイマス、是モ御必要ガアリマスレバ今此處ニ名前ヲ申上ゲテモ或ハ表デ差上ゲテモ宜シイト存ジマスガ、御話ノ通り此群小ノ會社工場ニ於テ、或ル品種ニ付テ非常ニ簡單ナ品種ニ付テ競争ヲ致シテ居リマス、是ハ政府モ認メテ居リマス、ソレニ付テ政府ハ合同等ノコトヲ促進セシムベキ何等カ手段ヲ執ル考ハナイカ、斯様ナ御趣旨ト拜承致シマシタ、誠ニ御尤ノコトデアリマスノデ、出來マスナラバ各々特長ヲ持ッテサウシテ其間ニ於テ聯繫脈絡ヲ保チマシテ、サウシテ競争等ノナイコトニ致スト云フコトガ最モ必要ナコトデアルト考ヘマス、既ニ我國ニ於テハ化學ノ發展ト工業組織ノ改善ト云フコトニ付テハ最モ重要ナコトデ、隨テ化學ノ進歩技術ノ進歩ト云フコトニ付テモ、是ハ申上ゲルマデモナク必要ナコトハ先程申上ゲマシタ化學工業ノ基礎ヲナスソレニ重キヲ置クト云フコトデアリマス、第二ノ組織ト云フコトニ付テハ最モ意ヲ致サナケレバナラヌ點ト考ヘテ居リマス、全ク其點ハ星島君ト御同感デアリマス、併ガナラ是ハ中々急ニ行クベキモノデハゴザイマス、工業組合法ヲ以テ色ニ此聯繫ヲ保チ合圖ヲシテ、サウシテ外國ニ對抗スルト云フヤウナ手段モ執ッテ居ルノデアリマスガ、中ミ容易ニ左様ニ往キマセヌノデ、遺憾ト

シテ居ル次第デゴザイマス、次ニ各國ノ政策ハ如何デアアルカト云フヤウナ御尋デゴザイマスガ、之ニ付キマシテハ各國共ニ皆意ヲ注イデ居リマス、或ハ高率ノ關稅ヲ課スル所モゴザイマス、或ハ輸入ノ制限ヲ致シデ居ルト云フヤウナ所モアリマス、其事例等ニ付テモ詳細ニ調べタモノガゴザイマスガ、一々ハ申上ゲマセヌガ、各國共ニ非常ニ力ヲ注イデ居リマス、ソレカラ第四ノ點デアリマスガ、色ト云フモノニ付テドウ考ヘテ居ルカト云フコトニ對シテハ、答辯ニ苦シムノデアリマスガ、大體國民ガ各種ノ織物ヲ拵ヘテ、ソレニ各種ノ色ノ變化ヲ與ヘテ行クト云フコトハ、是ハ各國共ニ常ノ習デアリマシテ之ニ付テドウ考ヘテ居ルカト云フ御尋デゴザイマスガ、各國共ニ國民ノ嗜好趣味モ違ヒマスシ、ソレニ應ジタ物ヲ生産シテ行クト云フ現狀デゴザイマシテ、此以上申上ゲルコトハ甚ダ窮シマス次第デアリマス

○星島委員 大體只今伺ヒマシテ満足スルノデアリマスガ、最後ニ私が問ヒマシタノハ極メテ抽象論デアリマスガ、例ヘバ日本ト英米トハ、染色ニ付テハ日本人ハ殊更ニ色ニ付テノ興味ガ多イト云フコトデアリマス、色彩ト云ヒマスガ、サウ云フモノヲ日本人ハ殊更ニ好ンデ居ル、例ヘバ赤イ湯モジ、紺ノ印刷纏ナドヲ奢侈品ト見テ、成タケ色ヲ今後使ハセナイヤウニト云フノデヤ

ラレルノデアルカ、若シサウ云フ御調査ガアハマスレバ伺ヒタイと思ヒマス

○宮内政府委員 先程申漏シマシタカラ其金額ヲ附加ヘテ置キマス、六箇年間ニ四百萬圓デゴザイマス、一年百萬圓ヲ限ッテ居リマス、最後ノ御尋ノ日本ト英米ノ色ノ比較デゴザイマスガ、不幸ニシテ持ッテ居リマセス

○加藤委員長 ソレデハ二百四十三ハ質問ガ終了シマシタ

○飯塚委員 表ヲ貫ヒマシタノデ、私ハ保留シテ置キマシタコトニ付テ質問ヲシタイト思ヒマス、此表ニ依テ鹽基性染料ヲ百五十五圓ノ平均相場デ見積ッタ、又三割五分ニシタト云フコトモ能ク分リマシタ、ソコデ先程私ハ申述べテ置キマシタガ、沖着値段ニ換算シテ四百三十二圓トナッタ、此沖着値段デモ、今言フ通り例ヘバ紫ハ紫デモ善イモノト惡イモノトハ大變違フ、是ハドレダケノ品質カト云フ其基準ガナイト、四百三十二圓ノ三割五分ト云フモノデ高イカ安イカト云フコトハ分ラナイ、ソレ故ニ此處ニ見積ッタ所ノ例ヘバ「ジェス、ブラック」ト云フモノノ四百三十圓ト云フモノハ、其「バーセンテ」ジ「ガ明カデナイト、高イカ安イカト云フコトガ分ラナイ、ソレデ今度ノ改正デ從價稅モ、從量稅モ上ッタモノモ下ッタモノモアリマスガ、平均シテ安イモノハ二十七圓餘リニナリマスガ、平均

スルト當局者ノ言ッタコトガ嘘ノヤウニ思ヒマスガ、ソコノ所ヲ御説明願ヒタイ、ソレトモウ一ツハ日本デ此三割五分ト云フモノヲ以テスレバ十分ナリト認メラレルカ、又鹽基性ニ付テモ十三種モアリマスガ、之ニ付テ沖着値段ト、工場ヲ出ル所ノ原價ハドレダケニナッテ居ルカ、勿論安イモノモ高イモノモアラウトハ思フガ、出來ルト見込シタ日本ノ材料ト、是同ジヤウナ原價、生産費ヲ示シテ貫ヒタイ、ソレニ一割五分ヲ平均シテ行キマスカドウカト云フコトモ御尋シタイ、ソレト同時ニ日本ノ品物ノ「バーセンテ」ハドレラ標準ニシテ居ルカト云フコトヲ聞カナケレバ分リマセス、ソレデナケレバ當業者ノ言フコトガ嘘カ、政府ノ立案ガ正確デアルカガ分ラナイ、若シ政府ノ立案ガ正確デアッテ、ソレデ「コールタール」工業ガ出來ルト云フナラバ、其參考書ヲ明日デモ宜シウゴザイマスカラ、調べテ戴キタイ、尙ホモウ一ツ承リタイノハ、今度ノ改正ニ依リマシテモ、從來ノ從價稅三割五分ト同ジデアルカラ、同ジ品物ニ付テハ當業者ハ損得ガナイコトニナッテ居リマスガ、併ナガラ今言フ通り沖着値段ニ依テ、多少物ニ依テハ違ヒハアリマセウガ、政府デ調べタ所デハ同ジ三割五分デモ、從來入レタ所ノ從價ヲ三割五分トシテ算定シタ所ノモノハ、矢張「バーセンテ」ニ關係スル、又濃度ニモ關係スル、濃度

ガ——政府ノモノハ從價ダツタカラ、普通來タモノハ惡カッタカモ知レヌガ、同ジデモ高クナッテ居ル、從價三割ト云フノダガ違ヒガアルノカナイノカ、ドノ點ガ違ッテ居ルノカ、當業者ハ上ツタト云ウテ居ルガ、上ルト云フノハドウ云フ點デ上ツタト云フノカ、私共ニハ分リマセヌノデ、専門ノ知識ノアル方カラ後程御報告ヲ願ヒタイ

○倉元委員 尙ホ私ハ一應御諒解ヲ得テ得キタイ、現在日本ノ染料ノ製出セラルル狀況ヲ見マスレバ、到底需要者ノ満足スルヤウニハナッテ居ラヌ、先刻來輸入稅ヲ撤廢スル議論モアリマシタガ、之ニ對シテハ先刻奧村君ノ質問ニ對スル御答辯ニ依テ、私共ハ稍満足シタ譯デアリマス、依テ是ハ暫ク當局ノ御取扱ニ委セテ置ク積リデアリマシタガ、若シ御言明ノ如ク實際ノ取扱ヒガ出來ナイヤウナ實況ヲ見マスルトキニ於テハ、吾々ハ國民ノ立場カラ——吾々ハ立法府デ許サレタ權能ニ慙ヘテ大ニ詰ラナケレバナラヌ、一般國民ノ必需品デアアル所ノ織物ニ對シ大ナル影響ヲ及ボスヤウナコトガアレバ、國民生活ノ上ニモ關係ヲ及ボスコトデアアルカラ、大問題デアアル、先刻ノ御言明ガ事實ニ於テ取扱ヒノ上ニ現ハレテ行クナラバ、之ヲ以テ緩和シテ行クコトガ出來マスカラ、私共我慢ヲ致シマス、ソレカラ今ノ會社ノ補助ハ年々四百萬圓御與ニナルノデアリマスガ、保護會社ニ對

シテ……ソレカラ制限令デアリマスガ、是ハ農商務省ノ省令デ御發シニナリマスガ、外國ナドノ例デハ、是ハ矢張議會ノ協賛ヲ經テ制限ヲ定メルラシク承ッテ居リマスガ、我國デハ一片ノ省令デ自由ニ制限シテ居ルト云フコトハ、或ル意味ニ於テ甚ダ私共ハ好マシクナイコトデアアルト思ッテ居リマス、此點ヲ一寸御尋致シタイ

○宮内政府委員 染料ノ補助金ノ額ト承知致シマス、昨年ノ十月十四日ヲ以テマシテ、此日本染料會社ニ對スル補助ハ切レテ居リマス、新シク出マシタ獎勵法ニ依リマシテハ二重ノ品種ニ付キマシテ、六年間ニ四百萬圓ト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、一年平均八十萬圓トシテ、一箇年ノ手交額ハ百萬圓ヲ上ラヌト云フコトニナッテ居リマス、最後ニ輸入制限令ハ命令ヲ以テシタノハドウ云フ根據ガアルノカ、之ニ付キマシテハ帝國憲法ニ於テ必ズ法律ニ據ラザルベカラズト規定シテアルノデアリマス、併ナガラ營業ノ自由ト云フヤウナモノニ付キマシテハ、必ズシモ法律ヲ以テシナケレバナラヌト云フコトハナイノデゴザイマスノデ、是ハ矢張憲法第九條ノ命令ニ依リマシテ妨ゲナイモノト、斯様ニ信ジテ居ルノデアリマス、唯憲法第九條ノ但書ニ依リマシテ命令ヲ以テ法律ヲ變更スルコトガ出來ナイト云フコトニナッテ居ルノデアリマスガ、其點ニ付キマシテハ別トシ

テ、憲法第九條ノ命令ヲ以テスルコトヲ妨ゲナイト信ジテ居リマス

○山本委員 人造藍ニ對シテハ二割、他ノ染料ニ對シテ三割五分、率ニ於テ非常ニ差ガアルノデアリマス、人造藍ハ建築染料ノ中ニ加入セラレナカッタ、何カ是ニハ特別ナ理由デモアルノデアリマセウカ、更ニ人造藍ガ此表ヲ拜見致シマスト百斤四十圓ニナツテ居ル、ソコデ是ハ獨逸ノ賠償價格ヲ基準ニシテ、此率ヲ御定メニナツタト云フコトデアレバ、獨逸ノ賠償價格三百三十圓、ソレニ對シテノ二割デアルナラバ六十六圓ニナラネバナラヌヤウニ思ヒマス、是ハドウ云フ理由カラデアリマスガ、ソレカラ粉ト泥若クハ染料ノ價格ニ付テ一率ニ行カスト云フコトハ、段々質問ガアツタヤウデアリマスガ、尙ホ此點ニ付テ御考慮ガ拂ハレタノデアリマスカドウデアリマスガ、簡單ニ承リタイ、尙ホ此輸入制限ニ對シテ、獨逸トノ間ニ交渉ナリ、條約ノ上ニ於テ製雜ナ關係ノアルコトモ承ツテ居リマスガ、是モ序ニ附加ヘテ伺ヒタイ

○平野商工技師 人造藍ガ他ノ染料ニ比ベテ低イ稅ガ盛ッテアルト云フ御言葉デアリマス、先程岩切委員ノ御質問ニモ御答ヘ致シマシタノデアリマスケレドモ、是ハ詰リ現狀ヲ變化シナイト云フ意味ダケデ、是デ以テ人造藍ガ保護出來ルト云フ意味デハアリマセヌ、將來此人造藍ノ工業ガ日本デ興リマス

ト同時ニ、此稅ハ生産費ガ足りナイコトガ分リマスレバ當然引上ゲル、他ノモノト權衡上引上ゲル積リデアリマス、唯實際ニマダ出來上ツテ居リマセヌ爲ニ、現狀ニ據置イタニ止ツテ居リマス、第二點ハ建築染料ノ問題デアリマス、粉狀ト泥狀ト色々ナ物ガアル、從量稅ニナリマス、泥狀ノ染料ヲ持ッテ來ル等ハゴザイマセヌ、隨ヒマシテ全部粉狀ニ付テ算定致シマシタ、詰リ將來從量稅トナツタ以上ハ、泥狀ノモノハ來ナイ見込デアリマス

○宮内府委員 一寸補足シテ置キタイト考ヘマス、ソレハ人造藍ガ二割ニナツテ居リマシテ、其他ノモノガ三割五分ニナツテ居ルト云フコトハ、不都合デアルト云フコトデアリマスガ、其點ハ一應御尤デアリマス、併ナガラドウシテサウシタカト云フト、人造藍ニ付テハ非常ニ實ハ考ヘマシタ、人造藍ヲ内地デ需要スルノハ千五百噸デアリマス、而シテ最モハ重要ナル物デアアルコトハ申ス迄モナイ、是ハ製造會社ニ於キマシテモ、既ニ試製品ヲ出シテ出來テ居リマスガ、之ヲ工業的ニヤルト云フコトニ付キマシテハ資金ヲ要シマス、其點ニ於テ餘程考慮ヲ致シテ居リマス、併ナガラ餘程其點ニ付テハ事業ヲ興スト云フコトノ氣運ガ漸次ニ向ヒツアルト云フコトヲ認メテ居リマス、詰リ左様ナ狀態デアリマスノデ、此關稅ヲ從來ノモノヲ其儘ニ置イテ、

サウシテ我國ノ人造藍工業ニ資シタイト考ヘテ居リマス、其場合ニ於キマシテ關稅ガ低率ニ失スル時ニハ、重ネテ御審議ヲ願ハナケレバナラヌト思ヒマス、尙ホ第三點ノ御尋デゴザイマスガ、獨逸ト何カ人造藍ニ付テ經緯ガアルノデハナイカ、斯様ナ質問ノヤウニ拜承致シマシタ、左様デスカ——(山本委員「サウデス」ト呼フ)此點ハ實ハ私カラ申上ゲルコトハ困難ニ存ズルノデアリマスガ、別ニ染料ニ付キマシテ獨逸トノ間ニ交渉出來ナイヤウナ非常ナル紛擾ガアルト云フ風ニモ考ヘマセヌ、此點ニ付キマシテハ私カラ御答辯申上ゲルコトハ御許ヲ願ヒタイト存ジマス、甚ダ申譯アリマセヌ

○山本委員 只今御尋シタノハ現在デハアリマセヌガ、獨逸ノ賠償價格ヲ基礎ニシテ、是ガ有力ナル基礎トナツテ此關稅ガ極メラレタ、先程御尋シタ一斤三圓三十錢、ソレニ對シテ二割デアアルナラバ六十六圓ニナルベキデアルガ、四十圓ニナツテ居ル、他ノ染料ハ三割五分デ、是ハ二割ニナツテ居ル、人造藍ダケハ特ニ他ノ染料ノ中カラ是ダケ保護セヌデモ宜イヤウニ見エル、只今ノ御說明ヲ承ルト、此人造藍ノコトハ大ニ考慮シタ、他日又審議ヲ受ケルトキニ相談ヲシナケレバナラヌト云フガ、此分ハ此現レタ表ダケデハ苛酷デアアル、是ダケハ獎勵セヌデモ宜イノカ、加之三圓三十錢、ソレノ二割ナラバ六十六

圓ニナルガ四十圓ニ計上サレテ居ル、是ガ一寸腑ニ落ちナイノデアリマス、其點ヲ伺ヒタイ

○平野商工技師 先程御答辯ヲ忘レマシテ甚ダ恐縮デアリマス、獨逸ノ價格ハ「キロ六、六十」マークデアリマス、サウスルト百斤ニ直シマスト百九十八圓ニナリマス、ソレヲ二百圓ト見マシテ四十圓トナリマシタ、他ノ染料ト全ク同一ノ基礎ノ上ニ計算致シテアリマス

○加藤委員長 ソレデハ二百四十三ハ終了致シマシタ、残りハ二百四十四、二百四十五デアリマスガ、是ハ質問者ガ同ジデアリマスカラ一絡ニ致シマス、岩切君ノ通告ガアリマスガ御不在デスカラ

○奧村委員 此問題ハ輸出品ニ重大ナ關係ヲ持ッテ居リマス、併シ意見ヲ申上ゲルコトハ時間ヲ取リマスノデ簡單ニ質問致シタイ、先ヅ一點毎ニ應答ヲ願ヒタイ、此酸化「コバルト」ノ工業ハ只今國內デドノ程度マデ發達シテ居リマス、此點ニ付テ御答ヲ願ヒタイ

○笹尾商工技師 御尋ニ對シマシテ御答致シマス、現在ニ於ケル酸化「コバルト」ノ生産狀態ハ如何ナル程度マデ進ンデ居ルカト云フ御尋デアリマス、此酸化「コバルト」ノ生産事業ハ比較的近年ニ興リマシタ事業デアリマシテ、現ニソレヲ生産シテ居ル會社ハ、我國ニ

於テ唯一箇所アルダケデアリマス、ソ
レハ大阪製煉株式會社デアリマス、是
ハ本來酸化「コバルト」ノ生産ヲ主タル
目的トシテ計畫シタ會社デアリマセ
ヌ、約七年前ハ或特種ノ礦物ヲ原料ト
致シマシテ、特殊ノ方法ニ依リマシテ、
內燃式製煉法ト稱シテ居リマス、其特
殊ノ方法ニ依リマシテ或特種ノ礦石ヲ
原料トシテ、ソレヨリ銅ヲ採收シ、尙ホ
硫酸ノ製造ヲシ、更ニ進ンデ其中カラ
酸化「コバルト」、芒硝其他ノ副產物ヲ
採收スルト云フ目的デ以テ興ツタ會社
デアリマシテ數年前カラ特ニ酸化「コ
バルト」生産ニ研究ヲ盡サレタ結果、大
正十三年度ヨリ生産ヲ見ルニ至ツタノ
デアリマス、大正十三年五月初メテ市
場ニ賣出シタノデアリマス、勿論其以
前ニ相當ノ期間研究シタ結果トシテ、
製品ハ多少アツタノデアリマスガ、初メ
テ市場ニ出ス程度ニ至ツタト云フノガ
大正十三年五月デアリマス、ソレカラ
三箇月間、即チ七月ニ至ルマデ毎月一
千二百封度乃至三千二百封度ヲ生産致
シタノデアリマス、八月ニ至リマシテ此
生産ガ甚ダ不利益デアルト云フコトノ
結果、事業ヲ休止致シマシテ、サウシテ
生産費ノ低下ト云フコトニ努力シテ、
一方設備ヲ改造ヲシテ相當ノ確信ヲ得
テ、再ビ翌大正十四年三月ニ至リマシ
テ生産ヲ見ルニ至リマシタ、其數量ハ
三月カラ六月ニ至ル期間ハ毎月二千封
度乃至三千封度ト云フ產額ヲ示シテ居

リマス、ソレカラ現在ノ生産ハ如何デ
アルカト云フコトデアリマスガ、只今
申上ゲマシタヤウニ三月カラ六月ニ至
ルマデ生産致シマシタガ、更ニ生産費
ヲ低下サセル必要ヲ感ジタノデアリマ
ス、即チ輸入品ニ對抗スルコトガ甚ダ
ムヅカシイノデ、再ビ研究ヲ進メル爲
ニ六月ヨリ暫ク中止スルコトニ致シマ
シテ、爾來操業ヲ大體ニ於テ止メテ居
ルノデアリマス、即十四年度ノ七月以
降大體操業ヲ中止シテ居ルノデアリマ
ス、併ナガラ全部ノ操業ヲ中止シタノ
デナク、八月以降ハ前ニ生産致シマシ
タ半製品ヲ原料トシテ、精製品ヲ生産
シツツアルノデアリマス、即チ大正十
四年八月以降毎月百封度乃至多イ
時ハ五百封度近ク生産致シテ居リマ
ス、兎ニ角斯様ナ事情デアリマシテ、大
部分ニ於ケル操業ハ中止シテ居ルト申
ス外ハアリマセヌ、唯幾分デハアリマ
スガ從前ノモノデ精製品ヲ生産致シテ
居ル次第デアリマス

○奥村委員 只今ノ御説明ニ依リマス
ト云フト、大阪製煉會社一ツガ我國製
造スル會社デアアル、而シテ四年前カラ
研究ヲシテ居ッテ、十三年ノ五月初メテ
市場ニ賣出スニ至ツテ、同四月カラ七月
ニ至ル三箇月二千二百封度乃至三千封
度ヲ出シタガ八月カラ生産費ヲ低減ス
ル研究ノ爲ニ製造ヲ中止シテ、十四年
ノ七月以降以前ノ半製品ヲ精製シテ居
ル、而シテ只今現在ニ至ルマデ、百封度
乃至五百封度ノ製造力ガアル、品質ハ
以前ヨリ宜シイモノガアル、斯ウ云フ
御話デアリマスガ、サウ致シマス今
日マデ大藏省カラ配付サレタ所ノ統計
表、或ハ又當業者ノ陳情ニ依リマス、
斤數——政府ノ今ノ答辯ハ封度デアリ
マスガ、斤數デ申シマス、九萬九千二
百二十七斤、斯ウ云フノガ、英國、獨逸、
加奈陀、合衆國カラ輸入サレテ居リマ
ス、價格ハ六十一萬五千五百十九圓ニ
ナツテ居ルノデアリマス、現在ハ無稅デ
アルノニ今回ノ改正サレントスル表ニ
依ルト、毎斤從價二割ヲ加算致シテ百
二十八圓ノ稅率ヲ設ケラレルノデアリ
マス、是ハ私ハ今政府委員ノ説明ヲ聽
イテ居リマシタガ、一會社デアラウト
二會社デアラウト宜シイガ、此關稅ヲ
課スル此重稅ヲ課スルト云フコトニ付
テノ問題ハ後ノ議論ト致シマシテ、此
生産ノナイモノニ甘ンジテ今日直ニ輸
出ノ磁器器ニ於テ七百萬圓又陶磁器ニ
於テ三千四百五十萬圓ノモノヲ造ルニ
是無クテナラヌ所ノ酸化「コバルト」、
之ヲ如何ニシテ此需要者ニ充タシテ行
クコトガ出來ルカ、之ニ付テ御説明ヲ
願ヒタイ

○笹尾商工技師 現在ノ消費額ニ對シ
テ生産量ガ甚ダ少イ、然ルニモ拘ラズ
斯ノ如キ重稅ヲ課スルコトハ不當デハ
ナイカト云フ御尋ト解釋致シマシタ
○奥村委員 輸出工業ニ對シテ如何ニ
此需要ヲ充タシテ行クカト云フコトデ
アリマス、課稅ノ問題ヲ後ニ致シマシ
テ、日本デハ百封度カ五百封度月ニ出
來ル位デ、十何萬斤ヲ要スルモノヲ政
府ハ如何ニシテ補充シテ行クカト云フ
コトノ御説明ヲ願ヒタイ

○笹尾商工技師 御答ヲ申上ゲマス、
產額ハ非常ニ少イ、而シテ此輸入品ニ
關稅ヲ課シタ場合ニ如何ニ此生産事業
ガ發達スル見込ヲ持ッテ居ルカト云フ
コトデアリマスガ、此點ニ付テハ相當
生産力ヲ有シテ居ルト云フ考ヲ持ッテ
居リマス、既ニ技術上ニ於テハ此生産
ト云フコトハ殆ド成功ノ程度ニ達シテ
居ルノデゴザイマスガ、唯經濟上是ガ
引合ハナイ、無論品種ガ外國品ニ幾分
カ劣ッテ居ルト云フコトモ是ハ事實デ
アリマスガ、兎ニ角今相當ノ補助ヲ致
シマシタナラバ、少クトモ内地ノ需要
ヲ充スト云フ機會ハ甚ダ遠イ時期デハ
ナイ位ニ實ハ考ヘテ居ルノデアリマ
ス、元々原料タル礦石ハ極メテ豊富デ
アリマシテ、若シ此方法ガ十分ニ實施
セラレルナラバ、之ニ供給スル餘裕ハ
十分アルノデアリマス、假ニ現在ノ設
備ト云フモノヲ完全ニ運行シテ行ケ
バ一箇年ニ於テ約六萬封度ノ生産量ヲ
持ッテ居ルノデアリマス、一箇月約五千
封度ニ當ルノデアリマス、原料モ豊富
デアアルシマスカラ、相當之ニ付テ補
助ヲ與ヘ、同時ニ品質其他ニ付テノ改
善方法ヲ講ジタナラバ、需要ヲ充スコ
トモ必ズ左程遠キ將來デハナカラウト

云フ考ヲ持ッテ居リマス

○奥村委員 政府當局ノ先程カラノ御説明ニ依リマス、今ハ研究中ニ屬スルモノデアッテ十萬斤ヲ今國內デ需要シツミアルケレドモ、從來ノ經過ニ徴シテ、又目下ノ現狀ヨリシテ、私共ハ近キ内ニハ需要ヲ充サヌスルコトハ出來ルト思フサウ云フ、御説明ニ承リマシタ、而シテ前ニ山本委員ノ人造藍ノ質問ニ對シテ、政府當局ノナサレタ御答ハ、人造藍ヲ現在ノ率ニ止メタノハ、マダ生産狀態ガ完成シナイカラデアル、而シテ生産費ノ方デ研究ハシテ居リマスガ、生産費デ償ハナイコトニナレバ又改正シナケレバナラヌカモ、分ラスト云フコトデ、從來ニ割デアル之ヲ其儘ニシテ置クト云フコトデ、アッタ、此酸化「コバルト」ハ國內デ出來ナイガ爲ニ二割、而モ毎百斤ニ付テ百二十八圓ト云フ重稅デアル、今政府當局ガ御説明ニナッタヤウニ、大阪精煉株式會社ノ社長小島甚太郎ト云フ名前ヲ以テ、貴方程ノ確信ハ持ッテ居ラレナカッカハ知リマセヌガ、兎ニ角「パンフレット」マデ御出シニナッテ居リマス、ソレニ依ルト今ノ生産率デハ逆モ需要ヲ充スコトハ出來ナイト云ッテ居ルノデアリマス、又大阪精煉會社ノ製品ニ對シテハ、之ヲ試驗シテ見イト云フ側カラ陳情書ガ參ッテ居リマス、ソレハ日本金物同業組合聯合會デアリマシテ、瑛瑛鐵器ヲ取扱ッテ居ルモノデアリマス、其

陳情書ノ一節ヲ讀ンデ見マス「原料タル酸化「コバルト」(第七類二四四)ガ從來無稅ナリシモノヲ毎百斤百二十八圓即チ從價約二割ノ課稅サレルコトニナッテ居リマス、私共ハ早速政府當局ニ其ノ不當ナルヲ陳情シマシタガ國產獎勵ノ爲カ暫ク辛抱セヨトノ事デゴザイマシタ、國產品ヲ使用スル事ニ就テハ私共敢テ人後ニ落ルモノデハゴザイマセン、ソコデ問題ハ吾々瑛瑛鐵器製造業者ニ供給シ得ル國產ノ酸化「コバルト」ノ製造者果シテアリヤト云フ事ニナリマス、酸化「コバルト」課稅問題ノ對照トナリマシタ吾國唯一ノ酸化「コバルト」製造業者ハ大阪精煉株式會社デゴザイマス、私共ハ最近ノ同社ノ現狀ヲ實地調査致シマシタ、現ニ同社社員ノ申シマスルニハ「銅精煉ノ廢液ヨリ酸化「コバルト」ノ製造ヲ試ミ居リシモノ、品質ノ不同ト工業的製造困難ノ爲、昨年秋ヲ以テ製造ヲ中止シ、此レニ從業セル技師ヲセ解雇セリ、而シテ酸化「コバルト」ノ製造ヲ再ビ試ルヤ否ヤハ全ク不明ナリ」トノ事デゴザイマシタ、又大阪精煉株式會社ノ實狀ヲ熟知セラシメ農商務省直轄國立大阪工業試驗所ニ就キ聞キ合セマシタル所「同社ノ酸化「コバルト」ノ製造ハ全然失敗ニ終ハシ昨年秋ヨリ中止シタリ、同社ニテ再ビ酸化「コバルト」ヲ製造セントスルナラバ、更ニ幾多ノ研究ヲ要ス、併シ果シテ研究ニ成功スルヤ否ヤハ今ノ處不明

ナリ」國產酸化「コバルト」ノ製造狀態ハ悲哉事實全ク斯ノ通りデ御座イマス」斯様ナ陳情書ヲ出シテ居ルノデアリマス、以上ノヤウナ狀態デアリマス、是ハ大阪ノ瑛瑛鐵器ナドノ製造ヲスル側ノ意見デアリマスガ、今度ハ私ノ信ズル所ヲ申シマス、御承知ノ通り岐阜縣愛知縣ハ輸出陶器ヲ盛シニヤッテ居ル所デアリマシテ、輸出額ノ三千有餘萬圓ノ中、愛知縣、岐阜縣デ其大部分ヲ占メテ居ルノデアリマス、先程政府當局ノ御説明ニ依リマス、酸化「コバルト」ノ生産數量ハ最近五千封度内外デアルト云フ御話デアリマシタガ、岐阜縣ノ陶業者、或ハ愛知縣ノ瀬戸ノ陶業者ナドノ説明ニ依リマス、日本デ酸化「コバルト」ノ出來ルコトハ知リマセヌ、隨テ見タコトモアリマセヌカラ、之ニ對シテ私共ハ説明ヲスルコトハ出來マセヌト云フコトデアリマシタ、ソレカラ東京ヘ來テカラ陶業者ノ説明ヲ聽キマス、大阪精煉會社デヤッテ見タケレドモ失敗ヲシタト云フコトヲ聞キマシタ、斯ウ云フ説明デアリマシタ、サウシテ見ルト外國品ニ俟タナケレバナラヌ、而モ百二十八圓ノ課稅ヲスルト云フコトニナリマス、二割デアリマハ、今迄ハ無稅デアアルノニ今度ハ二割ノ課稅デアアル、一個ニ付テ三毛五毛ノ薄利デ陶業ヲヤッテ居ル其原料タル酸化「コバルト」ニ斯ル高稅ヲ課スルノハ如何ナモノデアアルカ、而モ岐阜縣ニ

於テ陶業ハ家庭工業ノ唯一ナモノデアリマシテ、各陶業者デハ「コバルト」ヲソレノ職工ニ渡シ、家庭ヘ持ッテ歸ラシテ仕事ヲサセル、職工等ハソレデ陶器ノ繪付ヲシテ又持ッテ來ルト云フ狀態デアリマシテ、此百二十八圓ノ稅ヲ課セラレルト云フコトニ付テノ當否ノ論ハ後目ニ讓リマスガ、僅ニ五十封度位ノモノガ出來ルト云フコト位デ、此稅率ヲ御課シニナラウト云フコトハ、甚ダ不當デアルト思ヒマス、出タ以上ハ論議ヲシナケレバナリマセヌ、其論議ハ後日ニ讓リマスガ、併シ先ヅ此實物ヲ見テ戴キタイ、斯ウ云フ瀬戸物デアリマス、ソレカラ大阪精煉會社デ酸化「コバルト」ガ出來ルコトニ付テ、此際當局ノ御意見ヲ承リ參考ニ資シタイト存ジマス

○笹尾商工技師 只今ノ酸化「コバルト」品質ニ付テ御尋ガゴザイマシタガ、是ハ先刻モ一寸申上ゲマシタ通り、品質ハ外國品ト拮抗シ得ル所マデ發達シテ居ルトハ申上ゲラレマセヌ、併ナガラ相當ノ程度マデ優良ナモノヲ生産シテ居ルノデゴザイマス、ソレハ多分御承知カトモ存ジマスガ、普通外國カラ持ッテ參リマスノハ、先ヅ「コバルト」含有量ガ九十「パーセント」内外デアリマス、所ガ英吉利アタリカラ持ッテ參リマス優良品、優良ナル酸化「コバルト」ハ九十七「パーセント」内外デアリマス、岐阜縣ノ陶業者ノ買ッテ居ラレルノ

ハ悉ク九十五「バーセント」乃至九十七「バーセント」ノ含有量ノモノヲ御使ヒニナツテ居ルヤウニ聞イテ居リマス、然ラバ大阪精煉會社デ造ツテ居ルモノハドレ位ノ含有量デアルカト申シマス普通九十「バーセント」内外ノモノヲ產出シテ居リマス、其中デ優良ナモノニナルト九十五「バーセント」位迄ノモノハ出來ルノデアリマス、現ニ私共ガ手ニ入レテ居リマスノモノ、九十五「バーセント」ノ「バーセント」ヲ表示シタ製品デアリマス、品質ノ點ニ於テハ無論極メテ優秀ナモノト云フコトハ出來マセヌガ、相當ノ程度マデハ達シテ居リマス、之ヲ陶器ニ使ヒマシタ場合ニ……

○加藤委員長 要領ニ止メテ貰ヒタイ……奥村君

○奥村委員 政府ノ御抱負トデモ申シマセウカ、洵ニ立派ナコトデアルト申シタイケレドモ、サウ云フ譯ニハ行キマセヌ、兎ニ角御考ノ點ハ分リマシタ、尙ホ其點ニ付テ大阪製煉會社ノ方カラ出タ宣傳的ノ「パンフレット」ヲ讀ムト、輸出品ニ對シテハ免稅サレルヤウニ言ハレテ居ルガ、當局ハ免稅サレマスカ、免稅サレルトスレバドウ云フ風ニ見テ免稅サレマスカラ併セテ御伺シマス

○矢部政府委員 酸化「コバルト」ニ付キマシテハ沿革ガゴザイマス、元ト山口縣ニ多少ノ生産ガアツタ爲ニ、稅率ヲ設ケテ置キマシタガ、產額ガ無イナツタ

爲ニ曩ニ之ヲ無稅ニ致シマシタ、然ル所先年大阪ニ於テ斯々ノ次第デ、只今御説明申上ゲマシタ如ク製造ガ茲ニ開始サレタト云フコトデ、之ヲ保護スル爲ニ今同稅率ガ設ケラレタノデアリマスカラ、之ニ對シマシテ輸出ハドウスルカト斯ウ云フ御尋デアリマスルガ、元ト酸化「コバルト」ニ對シマシテハ稅金ヲ課シテ居リマシタ時代ニハ、珪瑯鐵器ニ對シマシテ免稅ヲ致シテ居リマシタ、是モ珪瑯鐵器ニ付キマシテハ非常ナ困難ガアリマスルガ、大體ニ於テ性分ガ一致シテ居ル所カラ、百斤ニ付テ——即チ珪瑯鐵器百斤ニ付テ何ガシト云フ稅金ヲ免シテ居リマシタ、今回此稅ガ復活サレルト云フコトニナリマスレバ、前ニ免シテ居ッタ關係上、矢張免スコトニナラウカト思フノデゴザイマス、併ナガラ陶器ニ付キマシテハ從來モ免シタコトモナク、之ヲ免スニ付キマシテハ非常ナ困難ガアラウカト思ヒマス、陶器ニ付キマシテ表面描ク所ノ繪ノ模様ニ依リマシテ、分量ガ違ヒマスノデ、ソレデ之ハ査定スル所ノ方法ガゴザイマセヌカラ、免スト云フコトハ餘程攻究ヲ要スル、恐ラク方法ハナカラウカト思ッテ居ル位デゴザイマス、

○奥村委員 ソレデハ二百四十四ニ對シマシテハ打切りマシテ、二百四十五ノ金液ニ付テ當局ニ御尋致シタイ、此金液ハ今マデ無稅デアリマシタモノヲ、毎斤十一圓四十錢、從價一割ト云フ

重稅ヲ掛ケルコトニナルノデアリマスガ、此金液ニ對シテ政府ハ此程度ニ保護スルコト云フト自給自足ガ出來ル——又輸出品殊ニ輸出ニ對シマシテ非常ニ氣ヲ遣ッテ居ルノガアリマス、政府ノ配付サレマシタ十三年ノ國別表ニ依ルト、近年英國カラ一萬二千圓程這入ッテ居ルト示シテアルノデアリマス、之ヲ營業者ニ聞イテ見ルト、英國カラ這入ルモノハ俗ニ青金ト申シマシテ、内地向ノ品ニ使用シテ居ル、外國輸出向ノ物ニ對テハ米國製ヲ使ッテ居ルト申シテ居ル、ソレデ此所ニ矢張實物ヲ持ッテ來テ居ルノデアリマスルガ、此金液ニ對シマシテ、今回稅率ヲ新ニ設ケラレタ、此程度ニ保護政策ヲ執ルト云フト、自給自足ガ出來ルカドウカ、輸出品ニ對シマシテ影響アリヤ否ヤト云フコトニ付テノ御見解ヲ承リタイ

○宮内政府委員 金液ニ付キマシテハ「セングバイル」商會ニ付キマシテ既ニ研究ヲ致シマシテ、サウシテ製品ヲ出シテ居ルノデアリマス名古屋ノ「セングバイル」商會デゴザイマス、又一面ニ於テハ大阪工業試驗場ニ於テ既ニ研究ヲ了シマシテ、サウシテ之ハ特許ヲ取ッテゴザイマス、其品質ニ於テハ米國ノ「ハノールヤ」會社ナドノモノト匹敵致シテ、敢テ遜色ガナイノデアリマス、大阪工業試驗場ニ於キマシテハ、既ニ之ヲ宣傳致シマシテ、サウシテ使用サシタイト云フ爲ニ、營業者ノ有力ナ十人

バカリノ團體ヲ造リマシテ、金ヲ集メマシタ、サウシテ既ニ着々其方ニ向ッテ進ンデ居ル、而シテ是ハ方法ガ少シ違ヒマスルサウデアリマスルガ、此方デ餘程良イ物ガ出テ居ルノデゴザイマス、此點ハ營業者諸君ノ方ニハマダ分ラナイカモ知レマセヌガ、何レ「セングバイル」商會ニ於テ造ツテ居リマス所ノ物ハ、之ヲ使用致シテ居リマスル所ガゴザイマシテ、唯ソレヲ使用スル上ニ於キマシテ外國品ニ較ベマスルト初メ生ノ場合ニハ少シ色ガ黒イ、使用ニ慣レヌ結果ト致シマシテ、少シ色ヲ薄メルト云フヤウナコトヲ致シテ、兩方ノ生ノ場合ヲ比較致シマシテ、同ジヤウナ色ニナリマシタトキニソレヲ使フト云フヤウナコトヲヤッテ居ルサウデゴザイマスルガ、ソレハ使用法ニ慣熟致シマセヌカラ出テ來ルノデアリマシテ、生ノ場合ニ於キマシテ色ヲ比較致シマシテ——向ヲノ色ト此方ノ色ト比較致シマシテ、生ノ場合ニ色ガ黒イカラト言ッテアルベキモノデハナイノデアリマス、實際ニ於キマシテハソレヲ燒上ゲマシタ上デ品質ヲ比較スベキガ當然デアアルノデアリマス、其點ニ於キマシテハ、外國ノ品ト比ベマシテ何等遜色ガナイト申シテ居リマス、殊ニ大阪試驗場ニ於テ拵ヘテ居リマシテ、現ニ大阪ニ於テ十人程ノ有力ナル團體ガ出來マシテ、サウシテ金ヲ集メマシテ、將ニ其事業ヲシヤウト着々致シテ居ルヤ

ウナ關係ニナッテ居リマス、而シテ其生産ノ額カラ申シマシテモ、之ハ金ガアレバ則チ出來ルノデアリマシテ、設備ニ致シマシテモ大シタ設備ヲ要スルモノデハナイノデアリマスカラ「セングバイル」商會ノ設備ヲ持チマシテモ、政府ニ於キマシテハ日本ノ需要ニ應ズルダケノ生産ガ優ニ在ルコト確信ヲ致シテ居ル次第デアリマス、或ハ此品質等ニ付キマシテ色ニ誤解ガアルカノヤウニ思ハレルノデアリマスルガ、大阪工業試驗場ニ於テモソレヲ十分試驗ヲ致シマシテ、且又京都ノ帝國大學ニモ相談ヲ致シマシテ、試驗ヲ致シテ品質ニ於テハ劣ラナイト云フ確信ヲ得テ居ルノデゴザイマス、唯要ハ之ヲ宣傳普及セシメルト云フコトノ國產主義ヲ獎勵スルト云フ其點ニ在ルコト考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ價格ノ點ニ於キマシテモ約一割ノ程度ノ稅ヲ以テ行キマシタナラバ、日本ノ需ニ應ジマシテ、サウシテ自給自足スルコトガ十分ニ出來ルコト考ヘテ居ルノデアリマス、唯此金液ヲ使用スル職工等ニ於キマシテ、色ミト——其所マデ申上ゲテハ如何カト存ジマスルガ、色ミノ關係ガアルヤウデゴザイマシテ、或ハ出來ナイノデアルトカ、或ハ品質ガ惡イノデアルトカ云フヤウナコトヲ申シヤウデゴザイマスケレドモ、此試驗研究ノ結果ト致シマシテハ、外國品ニ比シテ何等遜色ガナイト云フヤウニ考ヘテ居リ

マス、而シテ是ガ輸出品ニ對スル影響ハドウデアアルカト云フ最後ノ御尋デゴザイマスルガ、是モ當局ト致シマシテハ調査致シマシタ結果ニ依ルト、大シタ影響ハナイト信ジテ居リマス、況ヤ此金液ハ戰時中ニ於キマシテハ、御承知ノ通り出來テ居リマセヌノデ、非常ナ困難ヲ感ジマシタ、金ト交換ヲスルト云フコトニ付キマシテ、餘程ノ困難ヲ感ジテ、サウシテヤット亞米利加カラ之ヲ貰ッタト云フヤウナコトモアリマ斯诺デ、日本ニ於テ此國產ガ若モ成立スルト云フコトニナリマスレバ、將來ニ於テ安ンジテ永久ニ互テ此國產ノ使用ヲスルコトガ出來ルト信ジテ居リマス、唯一時ノ短イ間ヲ見テ見マスルト、多少ノ負擔ハ免レナイト考ヘマスケレドモ、日本ニ若シ此國產ガナカリセバ、必ズ課稅セラレルト云フコトニナルノデアリマス、既ニ最早餘程ノ分量ヲ増シテ居ルト云フコトデアアル、或ハ此「セングバイル」商會バカリデハイケナイ、又外國カラ「デシャール」ト云フ技師ヲ雇ッテ居ルト云フヤウナコトダケデハマダイケナイト言ハレルカモ知レマセヌガ、既ニ大阪ノ試驗場ニ於キマシテモ、實業家モ大ニ力ヲ入レテ協力シテ此事業ニ盡サウト云フヤウナコトヲ言ッテ居ル時デアリマスルノデ、此處暫ク關稅ノ保護ヲ以テ國產ノ進展ヲ期シタイト云フ考デアリマス

○奥村委員 只今政府委員ノ御答辯ニ依ルト米國ノ「ハノビーヤ」會社一會社ト云フ御話デアリマスガ、日本ニ輸入サレテ居ル所ノ金液ノ會社ハ尙ホ其外ニ米國ノ「ドラング・フイルト」ト云フ會社ガアリ、佛蘭西デハ「マーレット・ポシ」ラック・ロアト云フノガアリ、英國ニハ「ウエンガー」メリー「イー・エーチ・タスカー」ト云フ會社ガアッテ、日本ガ其處カラ輸入シテ居ルデハナイカ、又獨逸ニハ「ヘラウス」ト云フノガアルガ、是ハ此金液ヲ發明シタ會社ダサウデス、是ハ政府ニ於テモ御承知デアラウ、併シ量ガ小サイカラ小包郵便デ來タノデ知ラナカッタ、左様ナ御話ヲ爲サッタガ、サウ云フヤウナコトハ十分御注意ヲ御願ヒ致シタイ、ソレカラ大阪工業試驗場ノコトヲ繰返シテ仰セニナリマシタガ、染料ニ付テハ政府ガ國立試驗場ヲ信用セズニ、營利會社ナル日本染料會社ノ答申ニ依テ扱ッテ居ラルルニ反シ、金液ニ對シテハ國立大阪工業試驗場ニ於テ試驗サレアルコトハ是ハ結構デアアル、併ナガラソレハ大阪工業試驗場デ試験ヲ受ケタルモノデアアルカドウカ知リマセヌガ、此陶器ニ愛知縣ヤ岐阜縣ノ製陶業者ガ使ッテ居ルモノハ内地ノ金液デアアル、政府委員ガ言フ如ク「セングバイル」會社デ造ッタ此金液ハ、澤山着ケレバ金ノ艶ガ宜イ、併ナガラ遺憾ナコトニハ耐久力ガナイトデモ申シマセウカ、脱落シ易イノデス、此金ビカノヤツガ政府御推薦ノ「セングバイル」會社ノ

製品デアルト云フコトヲ特ニ此處ニ申上ゲテ置ク、是ハ日本陶器會社名古屋支店長デアリ、森村商事會社ノ重役デアアル山地君ノ話ニ依ルト、同社デ製造サレテ居ル金液ハ「セングバイル」會社製品ヨリモ品質ガ上位ニ在リマス、ソレハ市價ニ於テ日本陶器會社ノ製品ガ高價ニ扱ハレテ居ルノヲ見テモ明白デアリマス、然ルニ日本陶器會社デハ自製ノ十萬餘圓ノ生産品ヲ一萬二千圓程自社デ使用シ、八萬餘圓ノ品ハ市場ニ賣出シテ居ッテ、輸出品ニ用フル二十萬圓程ノ金液ハ米國ヨリ直輸入シテ使用サレツツアルノデアリマス、此點カラ見マシテモ政府ガ申サレル如キ國產ニ優等品ガアレバ、何ヲ苦シンデ輸入品ヲ使用シマセウカ、政府委員ニ於カレテハ十分ニ此邊ノ事情ヲ顧ミラレテ立案シテ貫ヒタイノデアリマス、尙ホ一言英金ニ付テ申シマスガ、ソレハ當業者ハ青金ト稱シテ内地向ノ品ニ使用シテ居ルノデアリマス、是ハ(實物ヲ示ス)日本陶器會社ノ製品デアリマシテ、亞米利加カラ這入ッテ來ル所ノ金液デ書イタモノデアリテ、日本ノ方デ出來ル金液ヨリ當業者間デ宜シイト申シテ居リマス、併ナガラ日本陶器會社デハ責任ヲ重ンジテ、輸出スル品物ハ即チ輸出品ニ要スル金液ハ約二十萬圓程デアアルガ、全部米國ヨリ輸入セル此金液ヲ使ッテ居ルト云フ狀態デアアル、工業試驗場其他ニ於テ色ミ調査ノ結果、政府

ガ御確信ガアリマシテモ此通り現在事實ガ證明シテ居ルノデアリマスカラ政府ニ於カレマシテハ今一段ノ御研究ヲ願ヒタイ、然ラバ斯ウナツテ來ルト税番二百四十四ノ酸化「コバルト」ニ對シマシテモ、二百四十五ノ金液ニ對シマシテモ、洵ニ其御説明ハ巧ミニサレマスガ、其基礎ガ極メテ薄弱デアル、極メテ杜撰デアル、斯ウ云フコトニ解スルヨリ外仕方ガアリマセヌ、然ルニ政府ガ尙ホ此解釋ヲ維持サレルト云フコトハ、洵ニ國策上冒險デハナイカト思フノデアリマス、此點ハ特ニ參考ニ爲サルヤウニ申上ゲテ置キマス、御答辯ハ極ク簡單デ宜シウゴザイマス

○宮内政府委員 酸化「コバルト」ハ私ノ所管デハゴザイマセヌ、併シ金液ニ付キマシテ先程來纏々申上ゲマシタガ、其中ニ「ハノービヤ」會社一アルノミト申上ゲテハ居リマセヌ、獨逸ニモ其他ニモ色々ゴザイマス、「ハノービヤ」會社一社ガ亞米利加ニ在ルト云フコトハ申上ゲテ居リマセヌ、ソレハ「ハノービヤ」會社ニ比較シテ遜色ナイト云フコトヲ申上ゲタノデアッテ、決シテ吾々ニ於テハ杜撰デモ何デモゴザイマセヌ

○加藤委員長 ソレデハ此際申上ゲテ置キマスガ、實ハ委員課ノ方デハ豫算委員ノ分科會ガ明日アルカラ、明日ハ休ンデ明後日ヤッテ貰ヒタイト云フ希望デアリマスガ、政友會側ノ委員諸君ノ事情ヲ伺ヒマスト、明日ハ是非休ン

デ貰ヒタイト云フコトデアリマスルカラ、政友會側ノ委員諸君ノ御要求ヲ尊重シテ、明日ハ休會致シマス、明後日ハ午前十時カラ開會致シマス

○太田委員 明日休會ハ結構ト存ジマスガ、跡ハ一ツ續イテ成ベク進行セレルヤウニ願ヒマス

○加藤委員長 無論明日休會ヲ致シマシタ以上ハ、皆様ノ御辛抱ヲ願ハナケレバナリマセヌ、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後六時十一分散會

大正十五年二月十六日印刷

大正十五年二月十七日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社